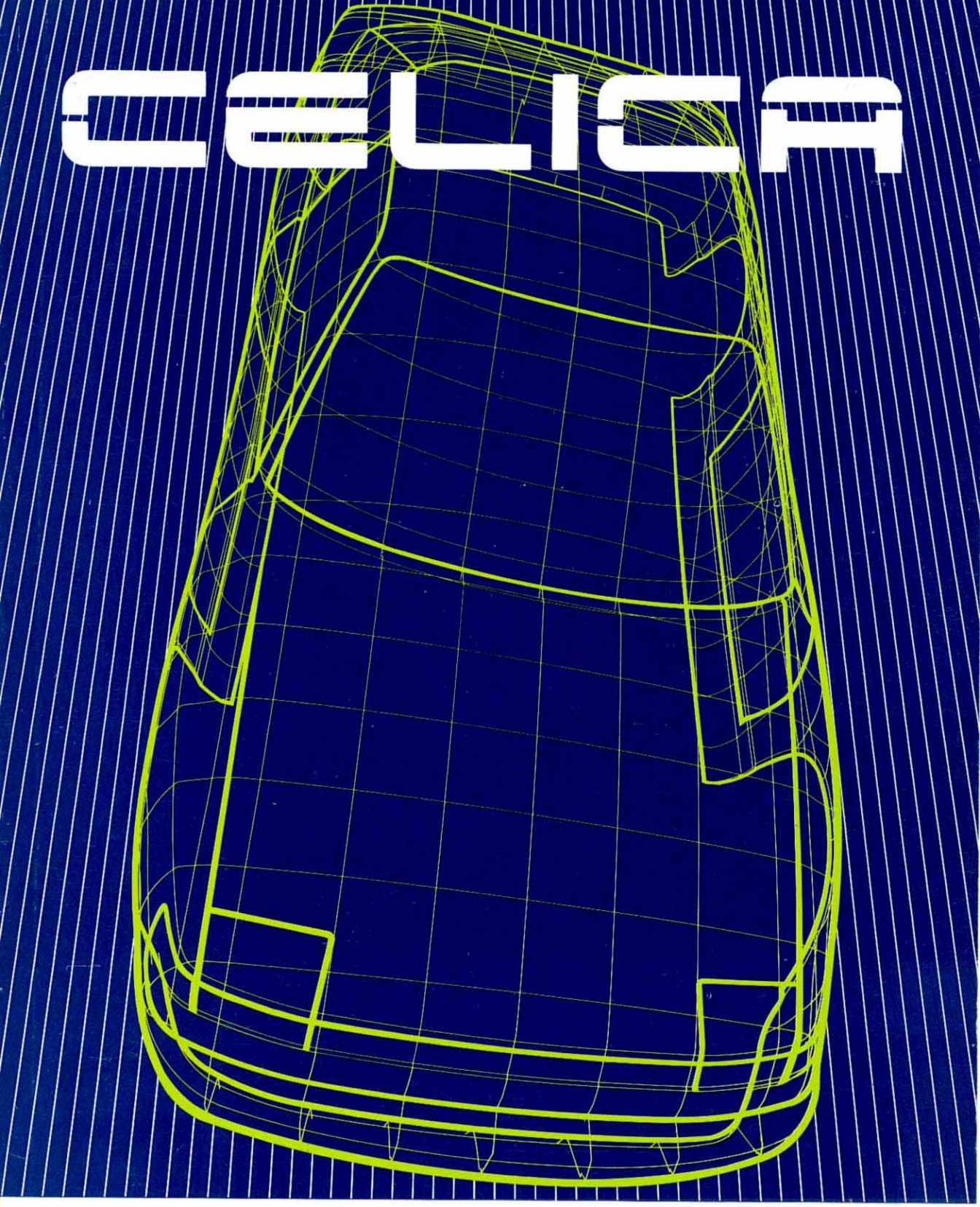
CELICA



取　扱　書

よくお読みになってご使用ください。 取扱書は車の中に保管しましょう。

このたびはトヨタ車をお買いあげいただきありがとうございます。

車は万一取り扱いを誤ると故障や事故の原因になります。ご使用前に本書を必ずお読みください。

- お買いあげいただきましたセリカならではの装備や取り扱い方法もあります。はじめてセリカをお選びいただいたかたはもちろん、これまでもセリカにお乗りいただいていた皆さまも、ぜひご精読ください。
- 本書では、車の正しい取り扱い方法や手入れ法のほか、ドライバーとして最低限必要な心がまえについてもふれていますので、ぜひご一読いただき、安全・快適なカーライフをお楽しみください。
- とくに「必読！これだけは知っておきましょう」と、

および

は、しっかりとお読みください。

※車をゆずられる場合、次のオーナーのために本書を車につけておいてください。

- 本書はGT-FOUR、GT-R、GT、SX、ST、SVについて説明しています。
- 説明に際してはGT-Rを基本とし、GT-Rと取り扱いが異なる場合はそのつど追加説明してあります。
- 販売店で取りつけられた注文装備品(ステレオ、エアコン等)の取り扱いについては、添付されている取扱書をご覧ください。

あなたのお車の

キー・ナンバーは	
エンジン型式は	
グレードは	

です。

※ご不明な点は、担当セールスマンにお聞きください。

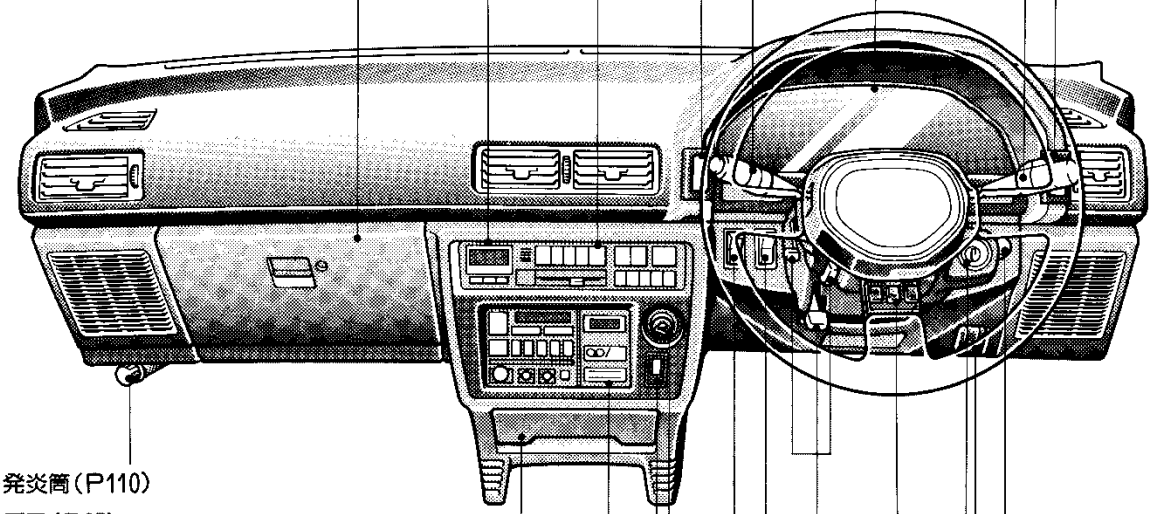
無断複製禁止

目　次 CONTENTS

必読!これだけは知っておきましょう。〔基本操作要領、安全・快適走行のチェック・ポイント等〕	6
ドア、ウインドゥ等各部の開閉〔ドア、パワー(電動)・ウインドゥ、ボンネット、フューエル・リッド(燃料補給口)、バック・ドア等〕	20
シート、シート・ベルト、チルト・ステアリング、ミラーの調整	26
運転装置の使い方〔エンジンのかけ方、ギヤ・チェンジ、パーキング(駐車)・ブレーキ等〕	27
スイッチの使い方〔ライト・スイッチ、ワイパー、リヤ・ウインドゥ・デフォッガー(曇り取り)等〕	50
メーターの見方〔計器類、表示灯、警告灯〕	56
ヒーターの使い方	67
ラジオ、ステレオの使い方	74
室内装備の使い方〔時計、シガレット・ライター、灰皿、各部照明、小物入れ、サン・バイザー等〕	94
注文装備の使い方〔オート・ドライブ、電動サン・ルーフ〕	99
万一のときの処置〔工具とジャッキ、パンクしたときは、万一のときの処置、こんな故障の応急処置は〕	104
車の手入れ、経済運転のコツ、寒冷地での取り扱い、タイヤ・チェーン	117
さくいん ●知りたいことが見つからないときは、さくいんもご利用ください。	126

無断複製禁止

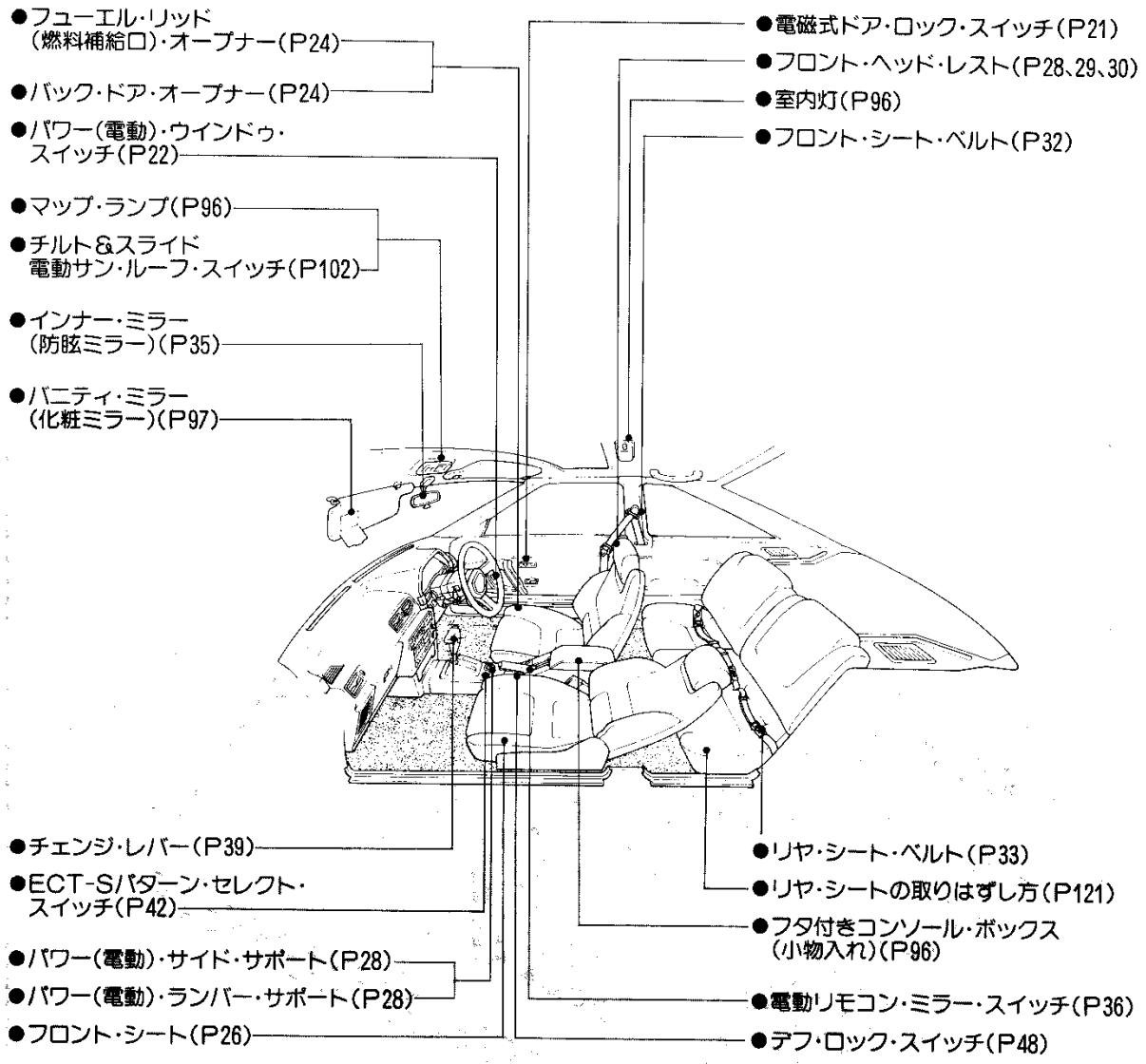
ILLUSTRATED CONTENTS 《イラスト目次》

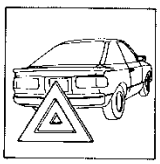


●リヤ・ウインドゥ・デフォッガー(曇り取り)・スイッチ(P54)
●ライト・スイッチ&方向指示レバー(P50)
●メーター類(P56)
●フロント・ワイパー&ウオッシャー・スイッチ(P52)
●リヤ・ワイパー&ウオッシャー・スイッチ(P54)
●非常点滅灯スイッチ(P55)
●ヒーター(P57)
●時計(P94)
●グローブ・ボックス(小物入れ)(P96)
●発炎筒(P110)
●灰皿(P95)
●ラジオ、カセット・ステレオ(P74)
●オート・ドライブ(自動定速走行装置)・
メイン・スイッチ(P99)
●シガレット・ライター(P95)
●駐車灯スイッチ(P55)
●フォグ・ランプ・スイッチ(P55)
●メモリー付きチルト&テレスコピック・ステアリング・レバー
(記憶装置付き上下・前後調整式ハンドル)(P34)
●メモリー付きチルト・ステアリング・レバー
(記憶装置付き上下調整式ハンドル)(P35)
●オート・ドライブ(自動定速走行装置)・
コントロール・スイッチ(P99)
●エンジン・スイッチ(P38)
●ボンネット・オープナー(P23)
●レオスタット(計器照度調整スイッチ)(P55)

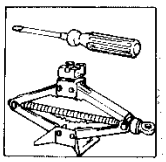
※装備のちがい、注文装備等も含んでいますので装置の有無は本文を参照してください。

無断複製禁止

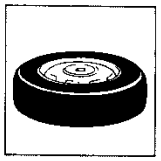




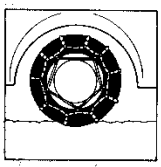
万一のときの処置(P109)



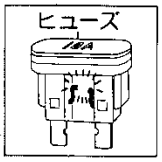
工具、ジャッキ(P104)



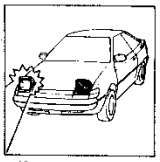
スペア・タイヤ(P105)



タイヤ・チェーンのつけ方(P125)



ヒューズが切れたときは……(P113)

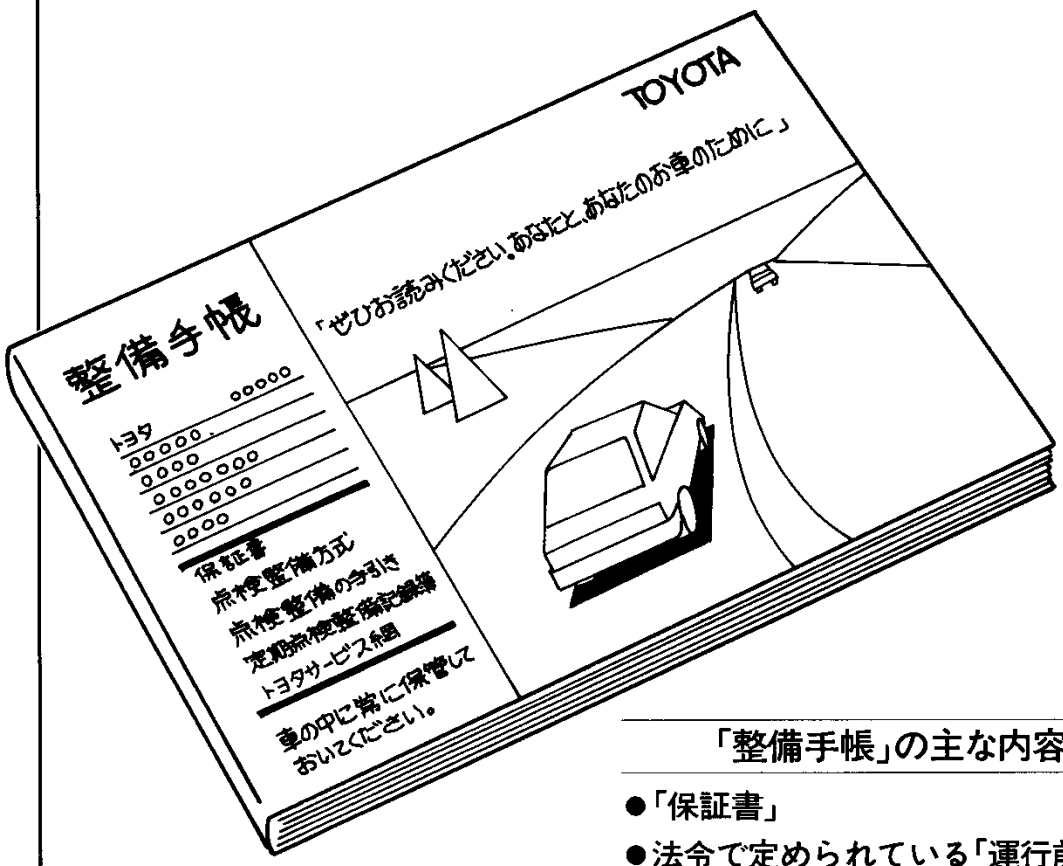


ランプ類が点灯しないときは……(P116)

無断複製禁止

「整備手帳」もあわせてお読みください。

お車の取り扱いについては「取扱書」を、
点検・整備については、別冊の「整備手帳」をご利用いただき、
安全・快適なカーライフをお楽しみください。

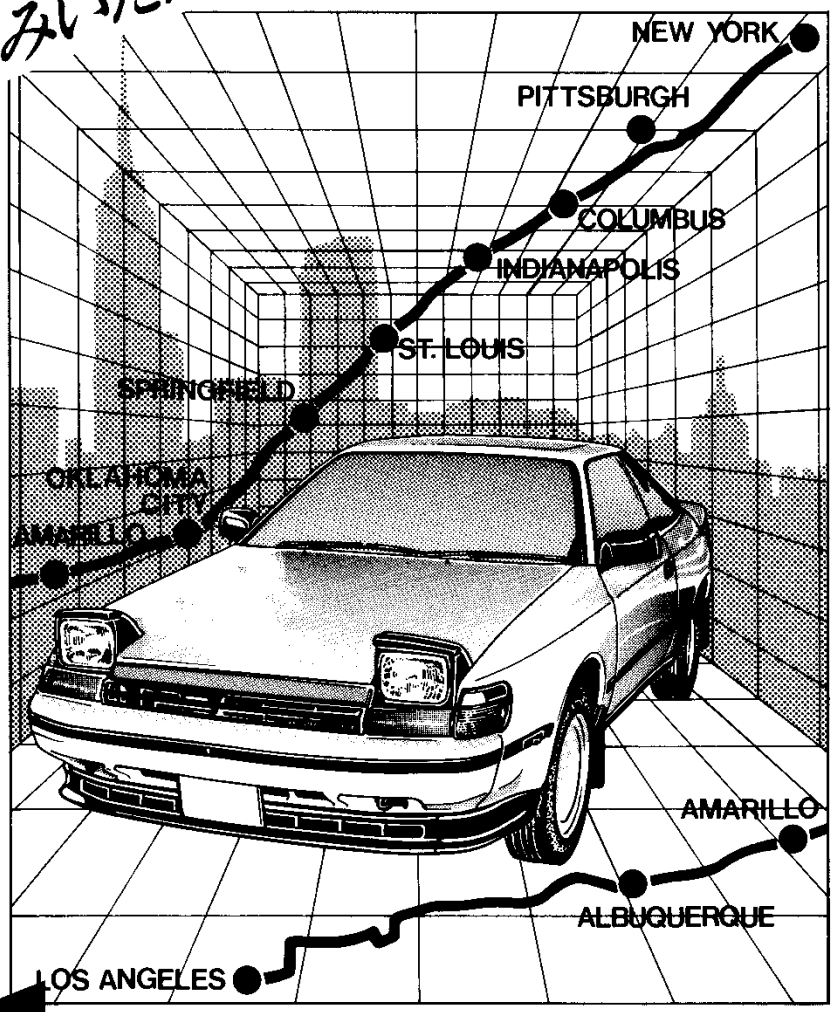


「整備手帳」の主な内容

- 「保証書」
- 法令で定められている「運行前点検」「定期点検」の方法
- 「定期点検整備記録簿」（法令により携行が義務づけられています）
- あなたのお車が、万一故障したときにお役立ていただける「トヨタ・サービス網」

無断複製禁止

セリカとともに、より安全・快適なカーライフをお楽しみいただくために



必読 これだけは知っておきましょう。

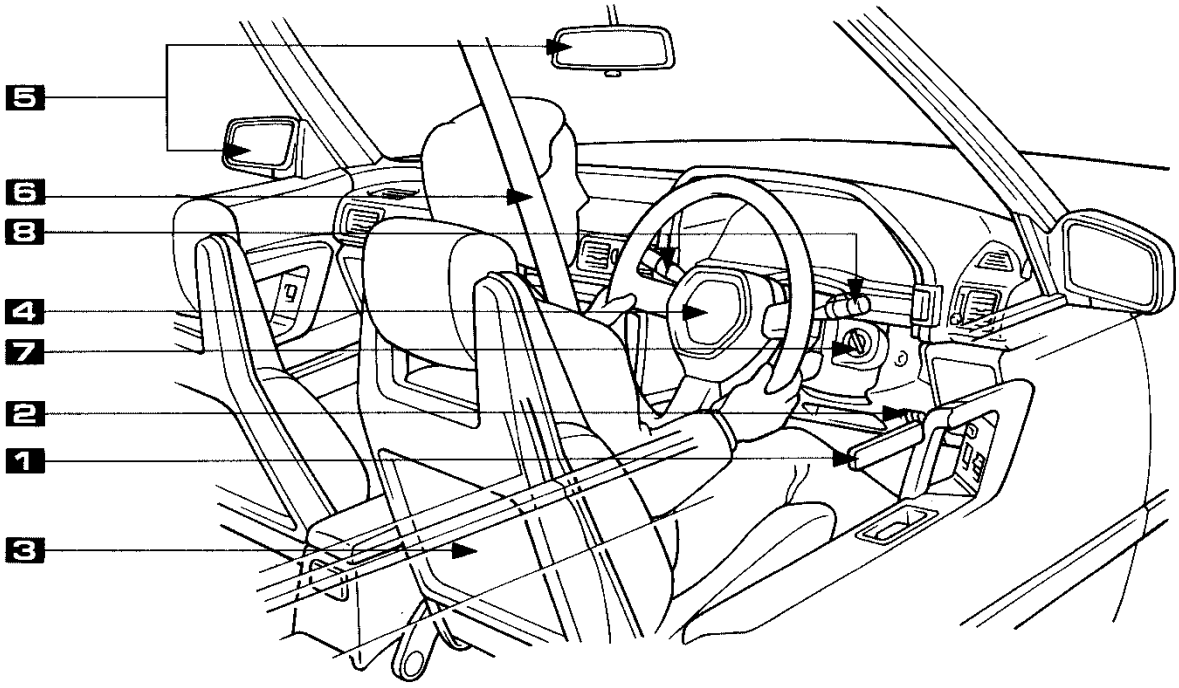
セリカ独自の装備、取り扱い方法もあります。
ドライバーとしての義務・マナーを大切に、以下のカラー・ページを
「安全・快適走行」のためのチェック・リストとして
ぜひともご活用ください。

無断複製禁止

セリカの基本操作要領

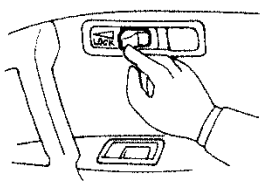
(詳しくは、本文をご参照ください。)

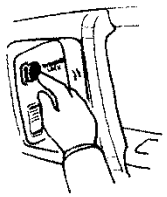
まずは、あなたの指定席「ドライバー・シート」に腰をおろして…



1 ドア、ウインドゥ(20ページ)

走行中は必ずドアをロックしましょう。
また、GT-FOUR、GT-R、SXのウインドゥは各ドアのスイッチ操作で開閉できるパワー(電動)・ウインドゥです。

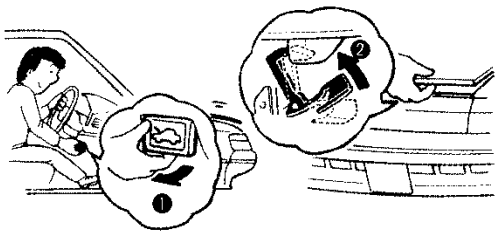




お子さまを乗せたときは
LOCKにしましょう。

2 ボンネット(運行前点検)(23ページ)

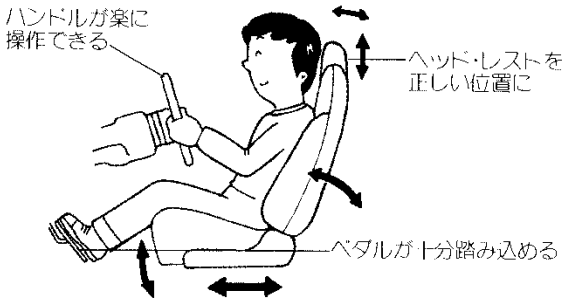
ボンネットの開け方は
❶計器盤右下のレバーを引く。
❷ボンネット・ロックをはずす。



無断複製禁止

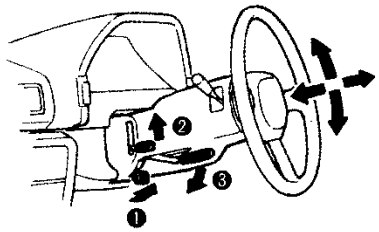
3 シート調整(26ページ)

❶ペダルが十分踏み込める。
❷ハンドルが楽に操作できる。
❸ヘッド・レストが耳の後方になるように、走行前に調節してください。



4 ハンドル位置調整(34ページ)

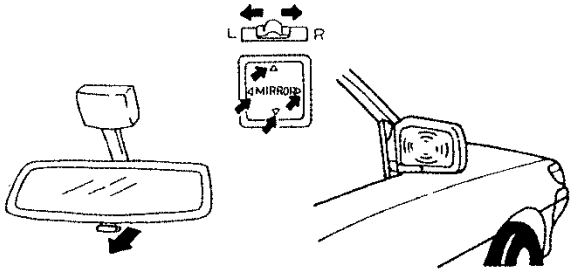
チルト・ステアリング付き車のハンドルは、角度調整ができます。
走行前にハンドル操作がもっとも楽な位置に調整してください。



❶のレバーを引いている間、ハンドル位置を上下にかえられます。
❷のレバーを引くと、ハンドル全体が上段までハネ上がります。
❸のレバーを押し下げている間、ハンドル位置を前後にかえられます。

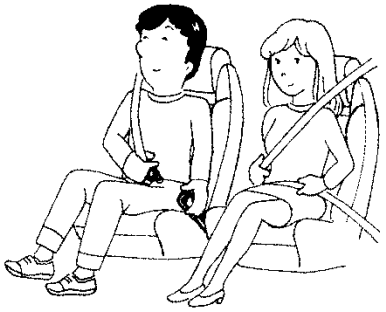
5 ミラー調整(35ページ)

走行前に、後方、左右がもっとも確認しやすい角度に調整してください。



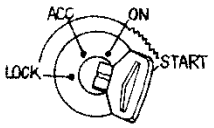
6 シート・ベルト(32ページ)

シート・ベルトは必ず装着してください。装着のときは、腰部ベルトを必ず腰骨の位置に装着してください。妊婦、疾患のあるかたおよびお子さまの装着は危険な場合があります。

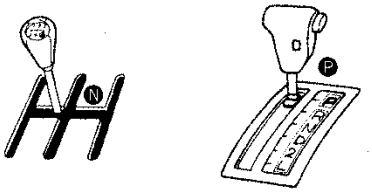


7 エンジン始動(38ページ)

エンジン・スイッチの各位置は図のとおりです。

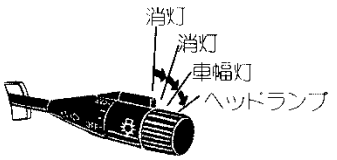


❶エンジンを始動する前に必ずブレーキ・ペダルを踏むか、パーキング(駐車)・ブレーキをかける。
❷マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車は🅝(中立)、オートマチック・トランスミッション車は🅟(駐車)にはいっていることを確認してください。



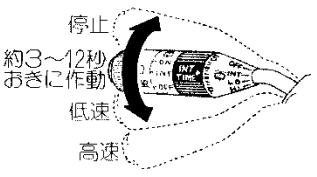
8 ライト、ワイパー・スイッチ(50ページ)

ライト・スイッチ

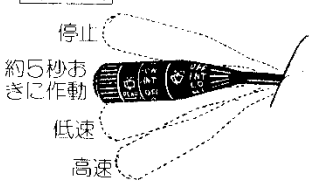


ワイパー・スイッチ

間けつ時間調整式



間けつ式

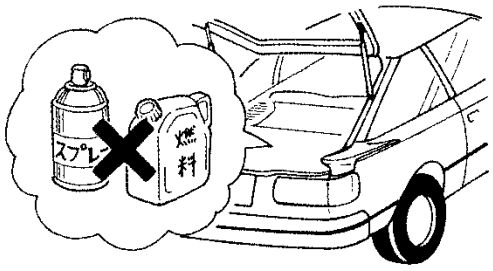


無断複製禁止

「準備よし！」までの Check Point

積んでいませんか？

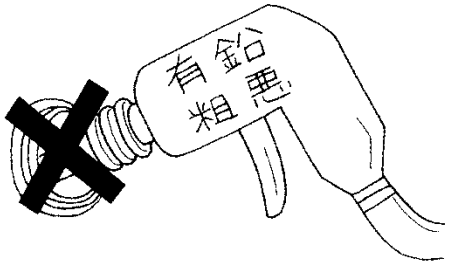
危険物は持ち込み禁止です。



車内およびデッキ・ルーム内に燃料がはいった容器やスプレー缶を持ち込まないでください。蒸発ガスに引火したり容器が破損すると非常に危険です。

いれていませんか？

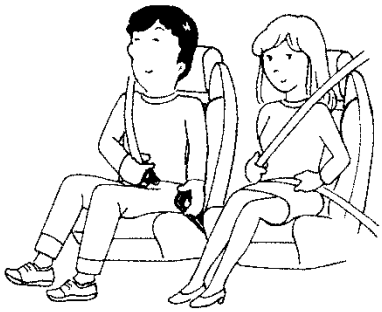
有鉛ガソリン、粗悪ガソリンお断りです。



ガソリンの補給は、必ず無鉛ガソリンにしてください。有鉛ガソリンやトヨタ純正品以外のガソリン添加剤を使用すると、触媒装置を損ないます。
また、粗悪ガソリンを使用すると、エンジン各部に悪影響をあたえますので注意してください。

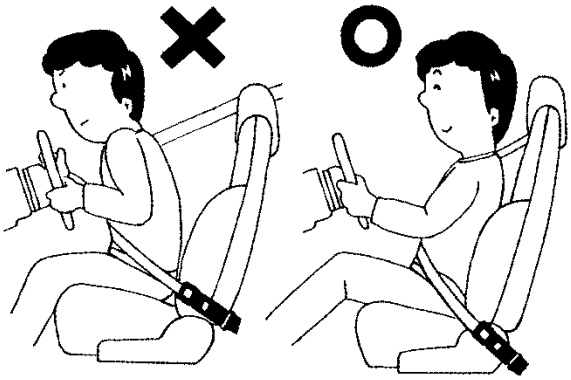
忘れていませんか？

シート・ベルトは必着です。



正しい装着方法は⇨32ページを参照してください。

ヘッド・レストは高すぎず、低すぎず、頭との間はあけすぎず。

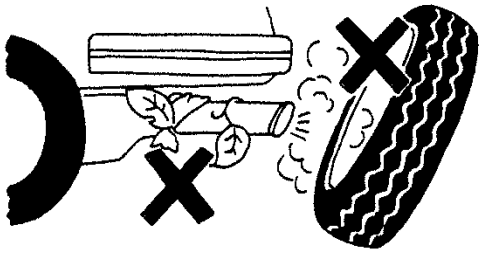


無断複製禁止

「エンジン始動、さあ出発！」までの Check Point

確認しましたか？

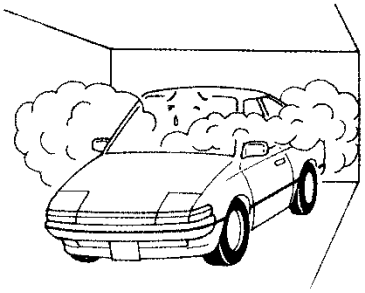
車両後方、排気管にからんだ
可燃物は危険です。



始動前に車両後方に燃えやすいものがないか、排気管に枯れ草などが巻きついていないか確かめてください。

危険はありませんか？

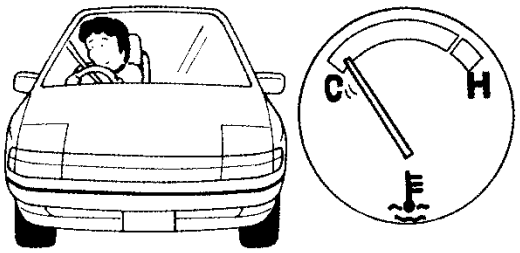
密閉した車庫内で
エンジンをかけたままにしない。



ガス中毒を起こす危険があります。やむをえない場合は、必ず換気をよくしてください。

暖機は適切ですか？

水温計の針(または表示)が
動き出す程度で十分です。



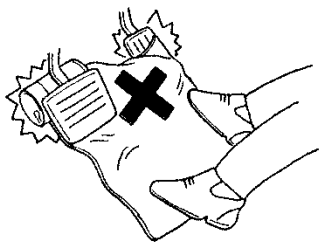
長すぎると燃料のムダになります。



暖機運転中はもちろん、エンジンが回っているときは車から離れないでください。

運転席の足元はすっきりと！

運転席付近に物を置くと危険です。
フロア・マットは正しく敷いてください。



フロアに物がころがってブレーキ・ペダルの下にはさまり、ブレーキ操作ができなくなるなど危険です。
また、フロア・マットがアクセル・ペダルに引っかからないように注意してください。

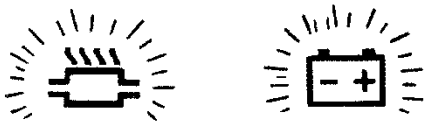
無断複製禁止

「安全・快適走行」のための Check Point

こんなときは要注意！

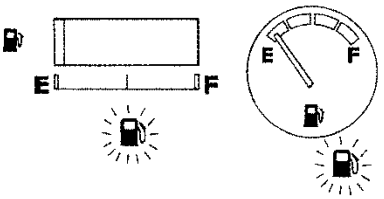
次のような警告灯、計器の警告を無視して運転を続けると、触媒装置を焼損するおそれがあります。

排気温警告灯または充電警告灯が点灯したら、安全な場所へ停止。



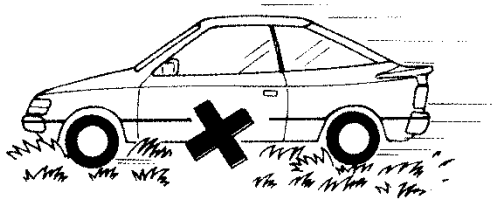
触媒装置の温度が異常に高くなっています。
必ず⇨56、62ページを参照して、点灯時の処置を行ってください。

燃料計がE以下になる前に補給。



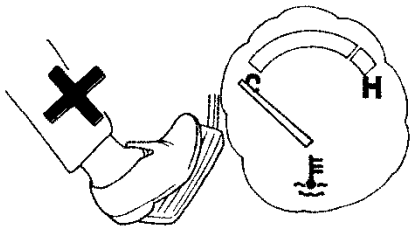
走らないで！

枯れ草、紙くずなど燃えやすいものの上は走行拒否。



あおらないで！

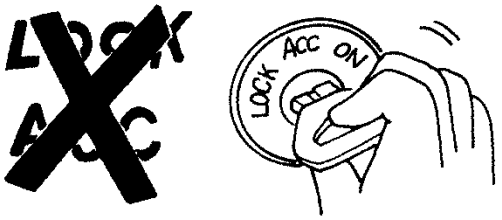
暖機不足の発進時、極端にアクセル・ペダルをあおらないでください。



未燃焼ガスが触媒装置に流れ、触媒装置を焼損するおそれがあります。

切らないで！

走行中はもちろん、高回転直後でもエンジン・スイッチを切らないでください。

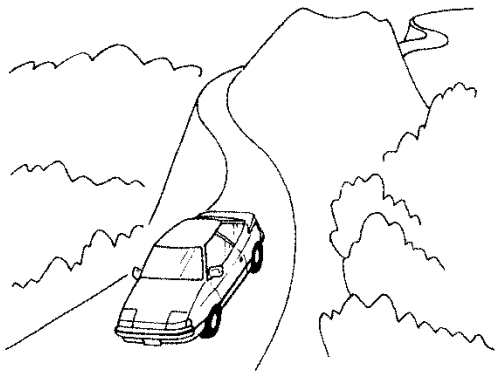


1. 触媒装置を焼損するおそれがあります。
2. 走行中エンジン・スイッチをACCまたはLOCKの位置にすると、
   - ●ブレーキの効きが悪くなります。
   - ●パワー・ステアリング(ハンドル操作力軽減装置)付き車はパワー装置が作用しないため、ハンドル操作が非常に重くなります。
   - ●LOCK位置にするとキーが抜けることがあり、キーが抜けるとハンドルがきれなくなり危険です。
   - ●各種警告灯が作用しなくなり危険です。

無断複製禁止

必ず知っておきたいドライブ・テクニック

●長い坂道を下るときは



フット・ブレーキと エンジン・ブレーキ※1を併用。

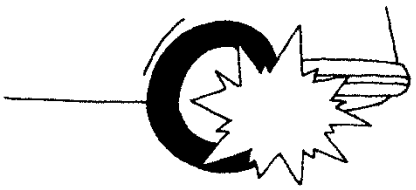
1. フット・ブレーキを踏み続けると「ベーパー・ロック」※2や「フェード現象」※3を起こし、ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。
2. ぬれた路面または氷雪路での急激なエンジン・ブレーキの使用はさけてください。スリップの危険があります。

※1「エンジン・ブレーキ」とは、走行中アクセル・ペダルから足を離したときにかかるブレーキ力。低速ギヤほどエンジン・ブレーキはよく効きます。

※2「ベーパー・ロック」とは、ブレーキの摩擦熱によりブレーキ液が加熱されて、沸騰し泡が発生し、ブレーキ・ペダルを踏み込んでも、気泡を圧縮するだけで、ブレーキ力とはならない現象。

※3「フェード」とは、ブレーキの摩擦面が、加熱されると摩擦力が減るので、同じ力でブレーキ・ペダルを踏んでもブレーキの効きが悪くなる現象。

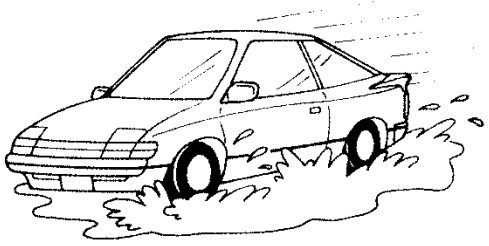
●高速走行中に パンクやバースト(破裂)したときは



ハンドルをしっかりもって、 徐々にブレーキをかけてスピードを 落としてください。

急ブレーキをかけるとハンドルを強くとられ危険です。

●洗車後や水たまりを 走行した後は



ブレーキ・ペダルを軽く踏んで 効き具合を確認してください。

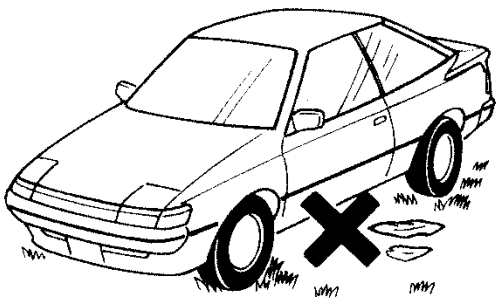
洗車後あるいは水たまり走行後は、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。
効きが悪い場合は、前後の車に十分注意して低速で走行しながら、効きが回復するまで数回ブレーキ・ペダルを軽く踏んで、ブレーキの湿りをかわかしてください。

無断複製禁止

駐停車時の Check Point

必ず確認「可燃物なし」

枯れ草、わら、紙、布、樹脂、油、古タイヤなど要注意。



ちょっと一言

1. 走行後の排気管は高い温度になりますので、燃えやすいものが近くにあると着火する危険があります。
2. エンジンを空ふかししたり、高回転を長く続けたりした場合には、排気ガスが燃えやすいものに当たり着火する危険があります。

車庫内停車は後方確認を第一に。



あらかじめ、燃えやすいものがないことを確かめてから停車してください。

ちょっと一言

1. 排気ガスは、場合によっては高い温度になるので、万一の場合わらなど燃えやすいものに着火するおそれがあります。
2. 木材、ベニヤ板などが車両後方にある場合は、車両後端を30cm以上離して止めてください。
   すき間が少ないと排気ガスによって変色や変形したり、万一の場合着火する危険があります。

仮眠するときは？

必ずエンジンを停止してください。

エンジンをかけたまま仮眠すると、無意識にチェンジ・レバーを動かしたりアクセル・ペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあり危険です。

必ずエンジンを始動させて！

坂道などで車をちょっと動かすときにも必ずエンジンを始動してください。

エンジン停止時は

- ブレーキ・ペダルが重く、いつもよりブレーキの効きが悪くなります。
- パワー・ステアリング（ハンドル操作力軽減装置）付き車はパワー装置が作用しないため、ハンドル操作が非常に重くなります。

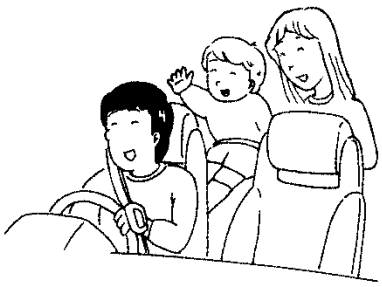
無断複製禁止

お子さまを乗せるときの Check Point

お子さま専用席は？

なるべく大人と一緒にリヤ・シート。

フロント・シートだと万一のとき放り出される心配があります。



助手席ではお子さまの動作が気になり、安全運転のさまたげになります。
お子さまが、運転装置、装備などにさわると思いがけない事故が起きるおそれがあります。

車から離れるときは？

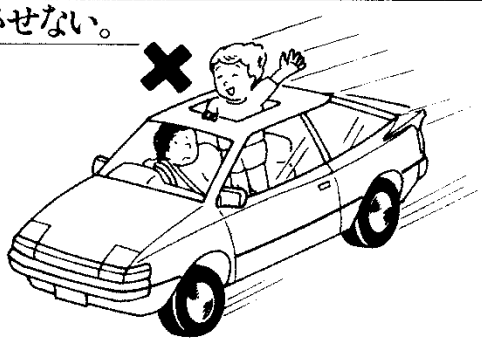
お子さまは必ず一緒に連れて出る。



お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの事故が起きるおそれがあります。また炎天下での車内はたいへん高温となり危険です。

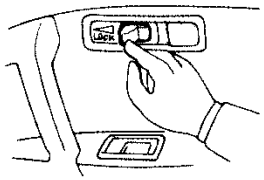
危険です。迷惑です。

窓やサン・ルーフから、手や顔などを出させない。



開閉、確認大人の仕事！

ドアは確実に閉じ、必ず施錠。



ドア、ウインドゥ、サン・ルーフの開閉は必ず大人がしましょう。



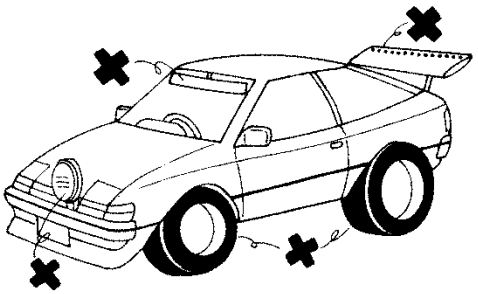
お子さまが手などをはさむ場合があり、危険です。
また、パワー(電動)・ウインドゥのスイッチは必ず大人が操作してください。お子さまがウインドゥ・スイッチをいたずらして、手や首をはさむと危険です。お子さまを乗せるときは必ずウインドゥ・ロック・スイッチ(22ページ参照)をご使用ください。

無断複製禁止

お車をダメにしないための Check Point

触れないで！

走行装置など重要個所の改造はしない。



車の性能や機能に適しない部品を装着すると、思いがけない事故が発生する場合があります。



ちょっと一言　トヨタが運輸省に届け出をした部品以外のものを装着すると違反になることがあります。アクセサリーを取りつけるときは、トヨタ販売店にご相談ください。

ウインドウ・ガラスなどにはアクセサリーを取りつけないで。

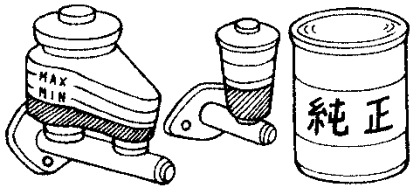
安全運転のさまたげになるとともに、アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災など思わぬ事故の原因となります。

自己流のエンジン調整、電装品の取りつけ、部品の取りはずしは行わない。

エンジン調整、電装品の取りつけなどはトヨタ販売店におまかせください。
電装品の間違った取りつけは、故障や火災など思わぬ事故の原因になります。

愛車はいつも健康ですか？

こんなときはトヨタ販売店で点検を受けてください。



1.いつもと違うおかしな音や臭いがするとき。
2.ブレーキ液、クラッチ液が不足しているとき。
3.駐車してあった地面に油が漏れたあとが残っているとき。

タイヤを新品と交換するときは。

1.トヨタ販売店で相談してください。
2.異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは車の安全走行に悪影響をおよぼしますので絶対にさけてください。

無線装置を取りつけるときは。

1.トヨタ販売店で相談してください。
2.取りつけ方法が適切でない場合、電子制御部品に悪影響をおよぼすことがあります。

続けないで！

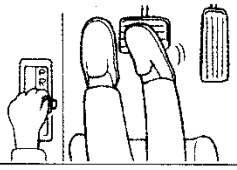
パワー・ステアリング(ハンドル操作力軽減装置)付き車はハンドルをいっぱいに回した状態を長く続けないでください。

オイルの潤滑不良を起こし、パワー・ステアリング・ポンプを損傷するおそれがあります。

無断複製禁止

おっと危ない気をつけて！

●発進時オートマチック車のシフト・チェンジは必ずブレーキを踏んだまま!!

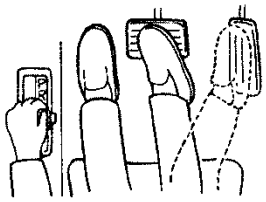




エンジン回転が高いとき（始動直後、エアコン作動時）は、ブレーキ・ペダルを十分に踏んでいないと車が動き出すことがあります。

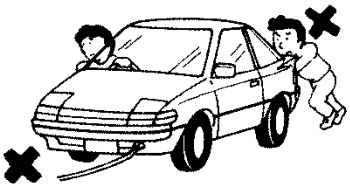
シフト位置を確かめ、まわりの安全を確認してから発進します。

●ブレーキ操作は必ず右足で行ってください。



右足をアクセル・ペダルにのせたまま、左足でブレーキ操作をすると、ブレーキの効きが悪くなったり、ブレーキの摩耗を早めるおそれがあります。

●バッテリーあがりのとき車を押したり、けん引したりしてエンジン始動をしないでください。



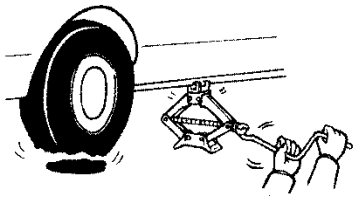
触媒装置の温度が異常に高くなり焼損するおそれがあります。⇨111ページの「**バッテリーあがりの処置**」を参照してください。

●凍結、積雪路等ではオート・ドライブを使用しないでください。

また下記のような道路状況でもオート・ドライブを使用しないでください。

- ●交通量の多い道路
- ●急な下り坂、急なカーブ
- ●その他すべりやすい路面

●ジャッキを使用するときは正しい位置にセットしてください。



またパーキング（駐車）・ブレーキ、輪止め（搭載工具に含まれています）を忘れないようにしてください。⇨104ページの「**ジャッキ**」を参照してください。

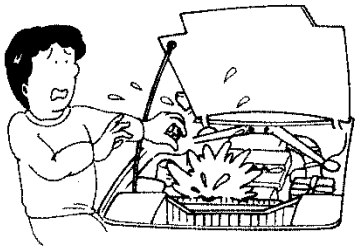
●灰皿を使用したあとは必ず閉めてください。

開けたままにしておくと、タバコの火が他の吸いがらに燃えひろがり、火災になるおそれがあります。



1. マッチ、タバコの火は消してから灰皿の中へいれてください。
2. 灰皿には吸いがらをためすぎないでください。
3. 灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものをいれないでください。

●ラジエーター・キャップが熱いときはずさないでください。



蒸気や熱湯が吹き出し、危険です。

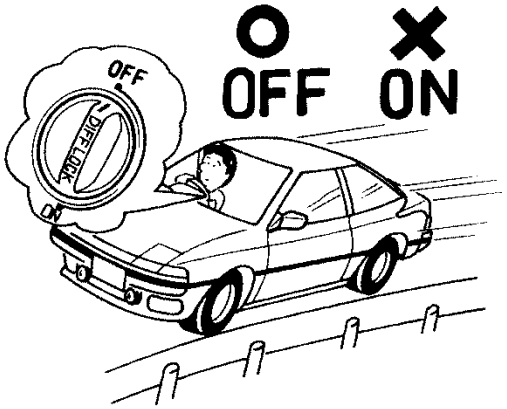
無断複製禁止

フルタイム4WD車の取り扱い

Check Point

GT-FOURは、エンジンの動力を常に4輪のすべてに伝えるため、舗装路や乾燥路のみでなく、氷雪路やぬれた路面などのすべりやすい路面においてもすぐれた走破性を発揮します。
フルタイム4WD車のすぐれた走行性能を発揮させるために次の事項をよくお読みいただき、安全・快適な走行をお楽しみください。

●デフ・ロックは脱出時以外使用しないでください。脱出時以外、デフ・ロック・スイッチはOFFの位置で。



デフ・ロックをONにしたまま、急旋回や車庫入れをすると、タイト・コーナー・ブレーキング現象（前・後輪の回転差のために起きるブレーキがかかったような状態になる現象）を起こし、運転しにくくなります。
脱出時以外、デフ・ロック・スイッチはOFFの位置で。

●オフロード走行やラリー走行の専用車ではありません。



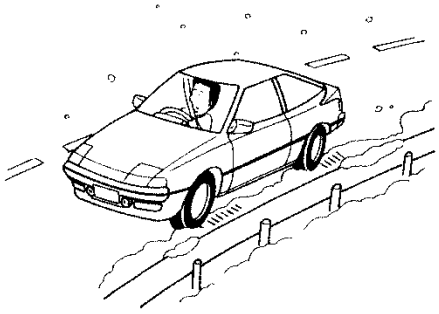
路面から車体床下までの高さは一般の車と同じく低くなっています。
オフロード走行はしないでください。

●渡河などの水中走行はしないでください。

一般の車と同じく水中走行はできません。
渡河などの水中走行はしないでください。

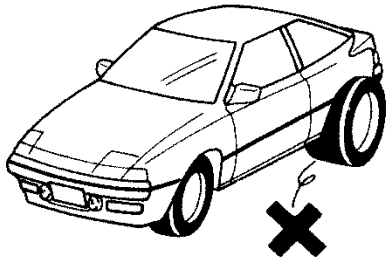
無断複製禁止

●氷雪路やすべりやすい路面での走行は慎重に。



アクセル、ハンドル、ブレーキ操作は一般の車と同じく慎重に行ってください。急な操作は思いがけない事故やスタック(立ち往生)のおそれがあります。
とくに、タイヤ・チェーン装着時は速度を十分に落として慎重に運転してください。

●応急用タイヤ以外のサイズや種類の異ったタイヤおよび摩耗したタイヤは装着しないでください。



サイズや種類の異ったタイヤおよび摩耗したタイヤを装着すると、車の性能が十分に発揮できなくなります。
タイヤを交換するときは下記事項を厳守してください。

- ●摩耗したタイヤは装着しない。
- ●4輪とも同一サイズ、同一種類のタイヤを装着する。(スノー・タイヤを装着するときも、4輪とも同一サイズのものを装着してください。)
- ●指定サイズ以外のタイヤは装着しない。

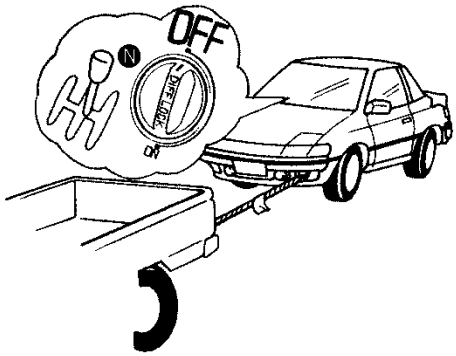
●タイヤ位置交換は必ず5,000kmごと。

前後のタイヤの摩耗差が著しくなると、デフ・ロック・スイッチを操作しても、デフ・ロック機構の切り替えがスムーズに行えなくなる場合があります。

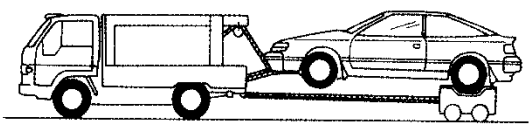
●応急用タイヤを装着しているときは、デフ・ロック・スイッチをONの位置に回さないでください。

●けん引してもらうときはデフ・ロック・スイッチはOFFの位置で。

1. ロープでけん引してもらうときは、下記事項を厳守してください。
   - ●デフ・ロック・スイッチがOFFの位置で、デフ・ロック作動表示灯が消灯していることを確認する。
   - ●チェンジ・レバーをⓃの位置にする。



2. 下記の場合は、ロープでけん引せずに4輪を持ち上げてけん引してもらうか、トヨタ販売店にご連絡ください。
   - ●デフ・ロック・スイッチをOFFにもどしても、デフ・ロック作動表示灯が消灯しないとき。
   - ●デフ・ロック機構がロック状態で故障したとき。
   - ●トランスアクスル内部に故障があると思われるとき。



無断複製禁止

ターボ車の取り扱いCheck Point

ターボ装置の故障を防ぐため、必ず以下の点をお守りください。

定期的なオイル交換はターボ車の絶対条件！

●エンジン・オイルは必ず5,000km
ごとに交換（ただし6カ月をこえない
こと）してください。



●オイル・フィルターは必ず10,000km
ごとに交換してください。

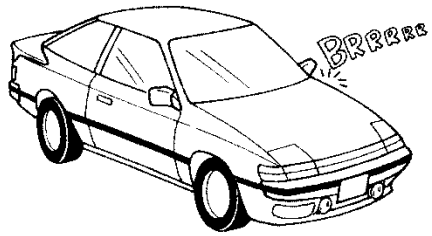

ちょっと一言

ターボ装置は、エンジンに大量の空気を過給してエンジンから、より大きな馬力を引き出すもので、非常に精密に作られています。毎分10万回転におよぶ高回転、700℃以上の高温下で使われ、その潤滑と冷却はエンジン・オイルによってなされています。したがって、定められたエンジン・オイル、オイル・フィルター交換をお守りいただかないと、劣化したエンジン・オイルにより、ターボ軸受部の固着、異音の発生など故障の原因となります。

●エンジン・オイルはAPI基準SF,
SE,SD相当で粘度分類10W-30
以上のオイルを使用してください。

トヨタ純正キヤッスル・モーター・オイル・クリーン・ターボ（SF）をおすすめします。
詳しくは**「整備手帳」**をご覧ください。

高速走行・登坂走行直後エンジンを止めないで！

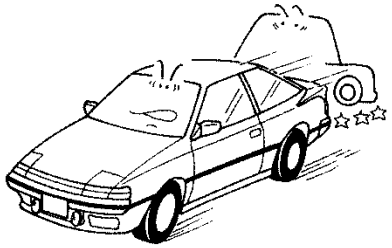


高速走行、登坂走行直後にエンジンを停止するときは、下表にしたがって必ずアイドル運転を行い、ターボ装置を冷却してください。

エンジン停止前のアイドル運転時間

運転状況		アイドル運転時間
市街地、郊外などの一般走行		必要なし
高速走行	約80km/h定速	約20秒
	約100km/h定速	約1分
山岳ドライブ・ウェイなどの急な登坂路走行およびレース場など100km/h以上の連続走行		約2分

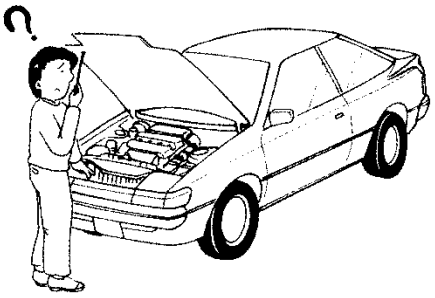
エンジンが冷えているときの空ふかし・急加速は絶対ダメ！



●マフラー、プラグなどには
指定以外の部品を
使わないでください。

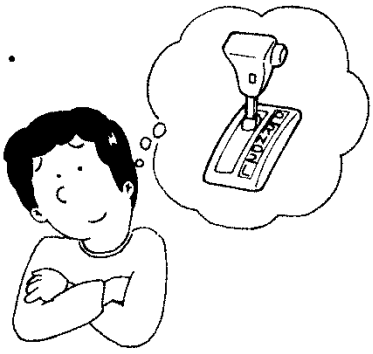
無断複製禁止

こんなときは……



●朝エンジンがかからないときは……111
●走行中エンジンが止まったときは……109
●バッテリーがあがったときは……111
●オーバーヒートしたときは……111
●警告灯が点灯したときは……56、62
●ランプ類が点灯しないときは(ヒューズ切れ、電球切れ)……113、116
●踏切で故障したときは……110
●高速道路で故障したときは……109
●一般道路で故障したときは……109
●発炎筒を使うときは……110
●床下に強い衝撃を受けたときは……110
●パンクしたときは……105
●けん引するとき、してもらうときは……112
●タイヤ・チェーンをつけるときは……125
●事故・故障のときの修理連絡先は……「整備手帳」参照

こんな装備のお車に乗られているかたは……

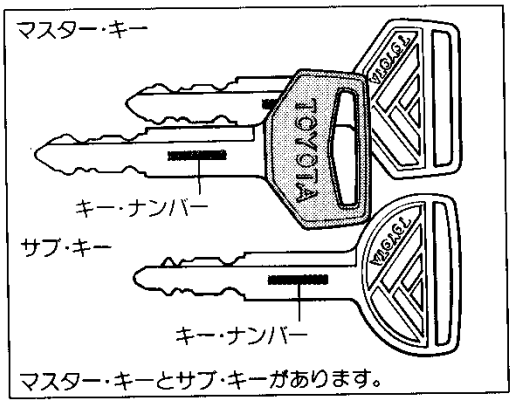


●オートマチック・トランスミッション車に乗られているかたは……39
●4WD車に乗られているかたは……48
●オート・ドライブ装着車に乗られているかたは……99
●サン・ルーフ装着車に乗られているかたは……102

無断複製禁止

⑳ ドア、ウインドゥ等各部の開閉

キー……20
ドア……20
電磁式ドア・ロック……21
パワー(電動)・ウインドゥ……22
ボンネット……23
フューエル・リッド(燃料補給口)……24
バック・ドア……24



マスター・キーとサブ・キーがあります。

キー

■マスター・キー

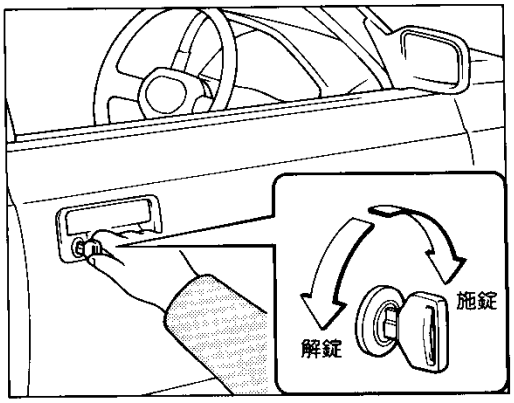

ちょっと一言

キー・ナンバーをひかえておいてください。万一、キーを紛失した場合には、ナンバーをトヨタ販売店へご連絡いただければ、専用カッターにより純正のキーを作ることができます。

■サブ・キー

サブ・キーでは、バック・ドアおよびグローブ・ボックス（小物入れ）を施錠・解錠することはできません。

ドア

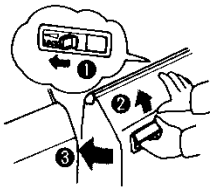


■車外からの施錠と解錠

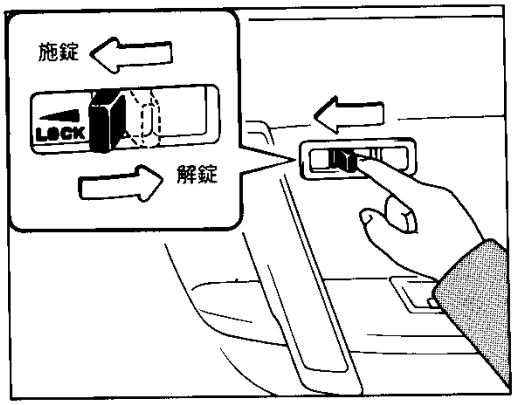
▶キーを使った施錠と解錠

キーを前に回すと施錠、うしろに回すと解錠されます。

▶キーを使わずに施錠するには



❶ロック・レバーを押し
❷ドア・ハンドルを引き上げたまま
❸ドアを閉めます。



■車内からの施錠と解錠

▶施錠するには

ロック・レバーを押すと施錠できます。

▶解錠するには

❶ロック・レバーを引き
❷ドア・レバーを引くとドアが開きます。

※ただし電磁式ドア・ロック付き車の運転席ドアは、ロック・レバーの位置に関係なくドア・レバーを引くとドアが開きます。



無断複製禁止

注意！

1. 車から離れるときは、エンジンを止め、ドアを必ず施錠してください。法的にも義務づけられます。
2. ドアを閉めたときは、確実に閉まっていることを確認してください。半ドアは危険です。
3. キーなしでドアをロックするときは、キーを持っていることを確認してから行ってください。
4. 車から離れるときは、車内に貴重品を置いたままにしないでください。

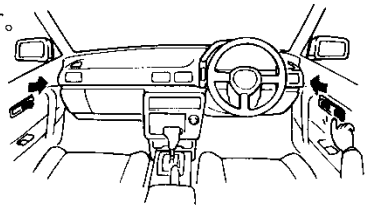


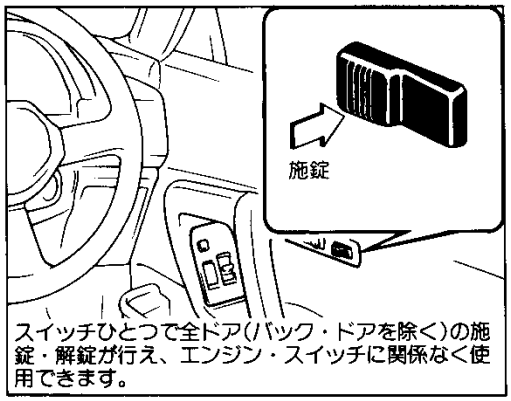
電磁式ドア・ロック

GT-FOUR、GT-Rに標準装備　GTに注文装備

■施錠

スイッチの前側を押すとすべてのドア(バック・ドアを除く)が施錠されます。





スイッチひとつで全ドア(バック・ドアを除く)の施錠・解錠が行え、エンジン・スイッチに関係なく使用できます。

ちょっと一言

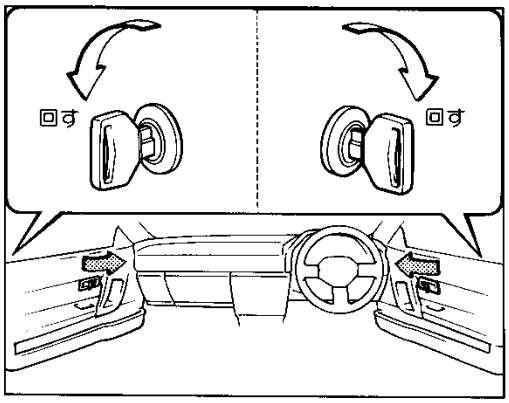
スイッチを押し続けると作動しないことがあります。いったんスイッチから指を離し、押しなおしてください。

▶運転席および助手席ドアをキーで施錠すると

すべてのドア(バック・ドアを除く)が同時に施錠されます。

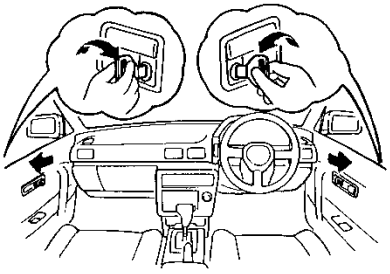
■解錠

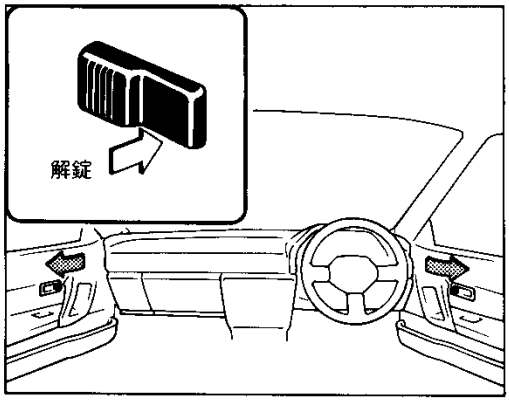
スイッチのうしろ側を押すとすべてのドア(バック・ドアを除く)が解錠されます。



▶運転席および助手席ドアをキーで解錠すると

すべてのドア(バック・ドアを除く)が同時に解錠できます。

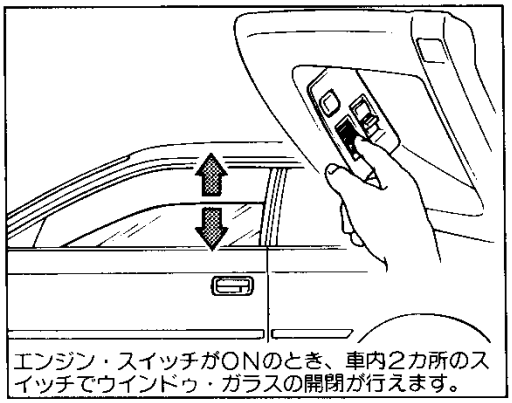




■キー閉じ込み防止装置

エンジン・スイッチにキーが差し込まれているとき、運転席ドアを開けて、スイッチまたはロック・レバーで施錠しても自動的に解錠になります。

無断複製禁止

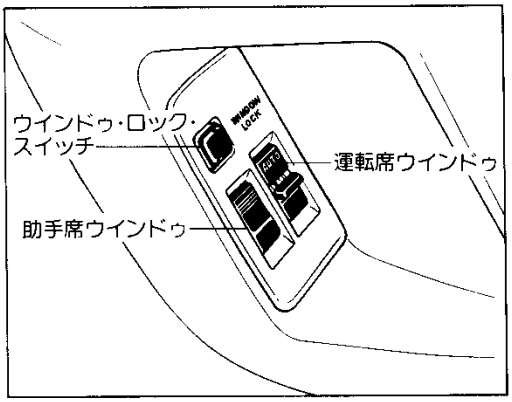

エンジン・スイッチがONのとき、車内2カ所のスイッチでウインドウ・ガラスの開閉が行えます。

パワー(電動)・ウインドウ

GT-FOUR、GT-R、SXに標準装備　GTに注文装備


ちょっと一言

ウインドウ・ガラスの開閉は、バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっているときに行ってください。

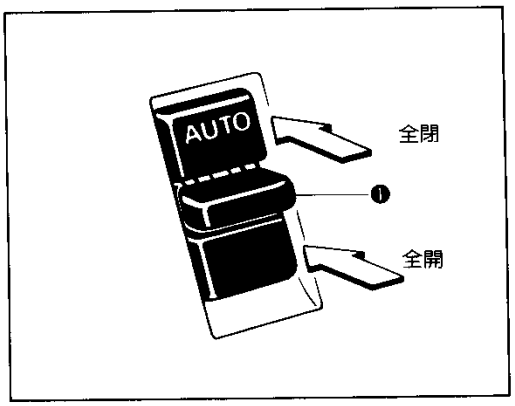


■運転席スイッチ

運転席スイッチですべてのドアのウインドウ・ガラスの開閉が行えます。

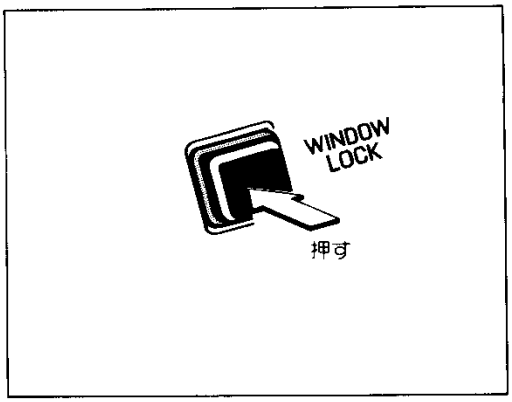

注意！

1. ウインドウ・ガラスを閉じるときに、他の人の手や首などをはさまないように注意してください。
2. 運転席スイッチと他のスイッチを同時に逆方向に動かさないでください。



▶運転席ウインドウ・ガラスの開閉

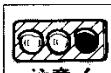
- 自動で全開するときは、AUTOスイッチの下側を押して手を離します。途中で止めたいときは、反対側をカチッと音がするまで押します。
- 自動で全閉するときは、AUTOスイッチの上側を押して手を離します。途中で止めたいときは、反対側をカチッと音がするまで押します。
- スイッチ❶を上側に押している間は閉じ、下側に押している間は開きます。スイッチから手を離すと、その位置で停止します。



▶ウインドウ・ロック・スイッチ

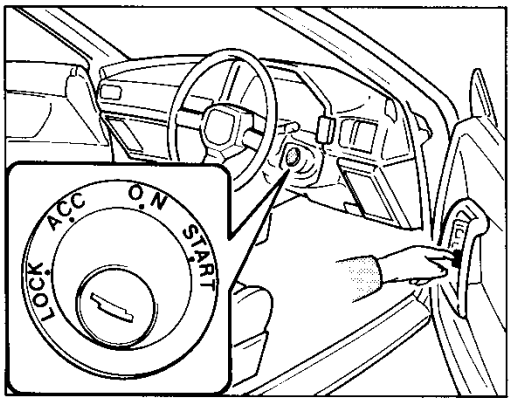
1. ウインドウ・ロック・スイッチを押すと、運転席のウインドウ・ガラス以外は開閉できません。
2. もう一度押すと解除されます。




注意！

お子さまがウインドウ・スイッチをいたずらしてウインドウ・ガラスで手や首をはさむと危険です。お子さまを乗せているときなどは、必ずウインドウ・ロック・スイッチをLOCKにしてご使用ください。

無断複製禁止



▶キーOFF後作動可能ウインドウ

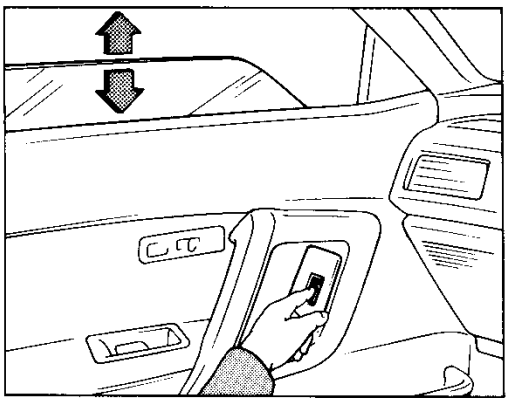
降車時、ウインドウ・ガラスを閉め忘れたときに、もう一度エンジン・スイッチをONにしなくても操作できます。

1.運転席ドアを開けます。

2.スイッチを操作するとウインドウ・ガラスの開閉ができます。

ちょっと一言

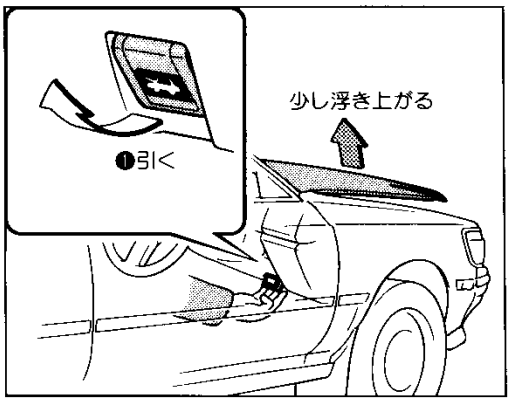
運転席ドアを一度閉じると、スイッチ操作をしても、ウインドウ・ガラスの開閉はできません。



■助手席スイッチ

スイッチから手を離すと、ウインドウ・ガラスの動きは、その位置で停止します。

ただし、ウインドウ・ロック・スイッチがＬＯＣＫになっているときは、スイッチを押しても作動しません。

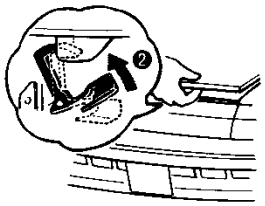


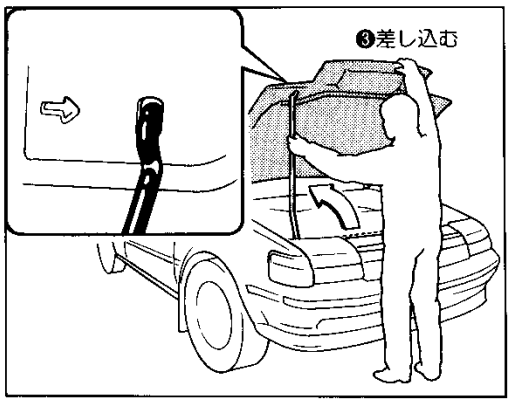
ボンネット

▶開け方

❶計器盤右下にあるレバー(ボンネット・オープナー)を引くと、ボンネットが少し浮き上がります。

❷ボンネットのすき間に手をいれ、ボンネット・ロックをはずして持ち上げます。





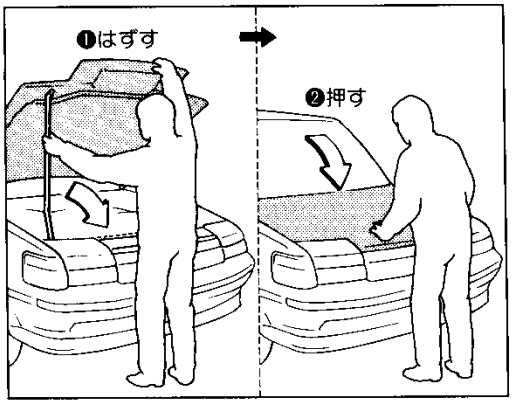
❸ボンネットをいっぱい開け、ボンネット・ステーをステー穴に差し込んでボンネットを固定します。

ちょっと一言

風の強いときにボンネットを開けると、風にあおられ危険な場合があります。
十分注意して開けてください。

無断複製禁止

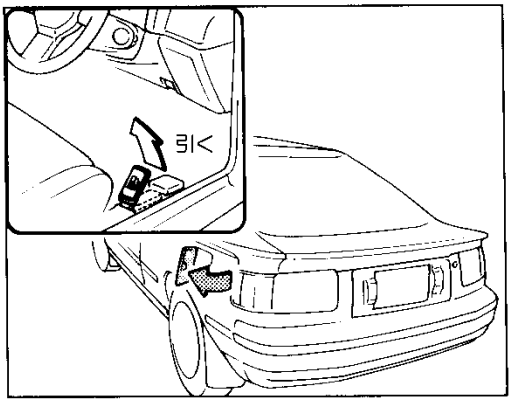
ボンネット／フューエル・リッド（燃料補給口）／バック・ドア



▶閉じ方

❶ボンネットを手でささえ、ボンネット・ステーをはずします。
❷ボンネットを閉じ、前端をガチッという音がするまで押さえつけるとロックされます。
❸ボンネット先端を持ち上げてガタついていないことを確認します。

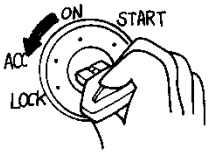
注意！ ボンネットが確実にロックされていないままで走行すると非常に危険です。走行前に必ずロックされていることを確認してください。

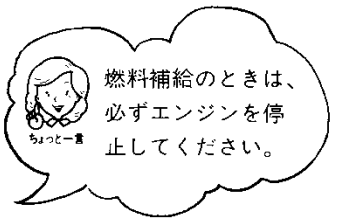


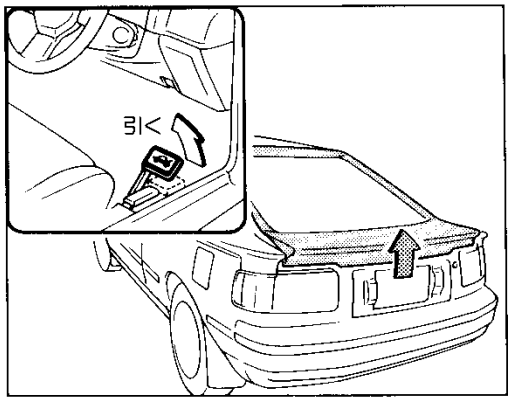
フューエル・リッド（燃料補給口）

▶カバーの開け方

運転席右下のレバー（フューエル・リッド・オープナー）を引き上げるとカバーが開きます。







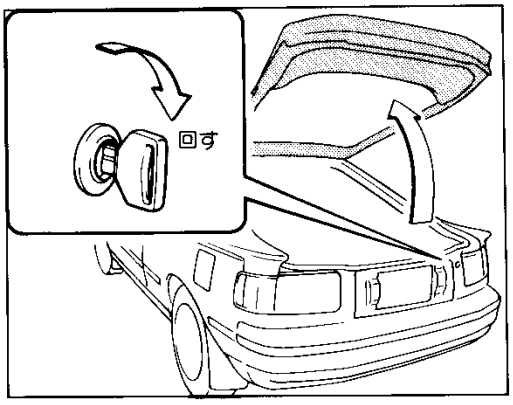
バック・ドア

注意！ 車から離れるときは、デッキ・ルーム内に貴重品をいれたままにしないでください。

▶開け方

〈車内から〉

運転席右下のレバー（バック・ドア・オープナー）を引き上げると開きます。



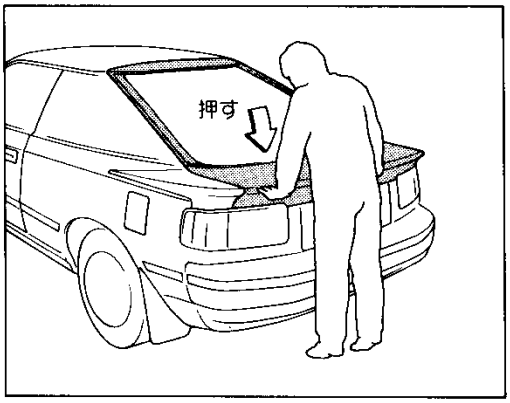
〈車外から〉

1.キーを差し込み右に回すと開きます。
2.サブ・キーで開けることはできません。



いっぱい持ち上げて、降下しないことを確認してください。

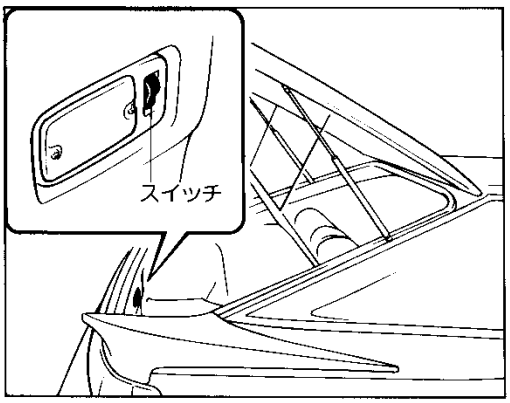
無断複製禁止



▶閉じ方

バック・ドアをおろして押さえつけます。

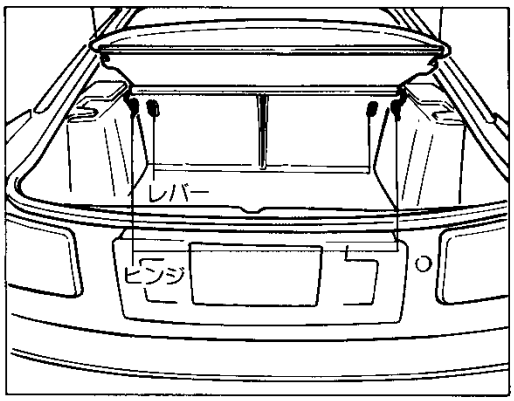
ちょっと一言
1.閉じるときに、他の人の手などをはさまないように注意してください。
2.デッキ・ルーム内にキーを忘れないように注意してください。



▶デッキ・ルーム灯

スイッチをONにしておけば、バック・ドアを開けると点灯し、閉じると消灯します。

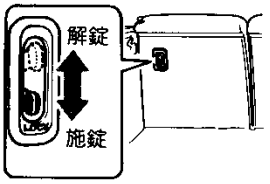
ちょっと一言
エンジン停止時、デッキ・ルーム灯を長時間点灯したままにしておくとバッテリーあがりを起こすおそれがあります。



▶駐車場などでキーを預けるときは

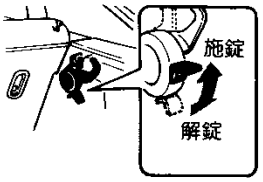
1.リヤ・シート裏側にあるレバーを施錠側にすると、車内からリヤ・シートを倒すことができません。

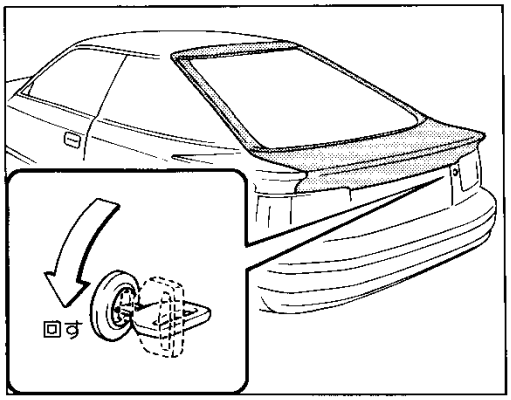
〈リヤ・シート〉



2.パッケージ・トレイ前側のヒンジを施錠側にすると、車内からパッケージ・トレイを開けることができません。

〈パッケージ・トレイ〉



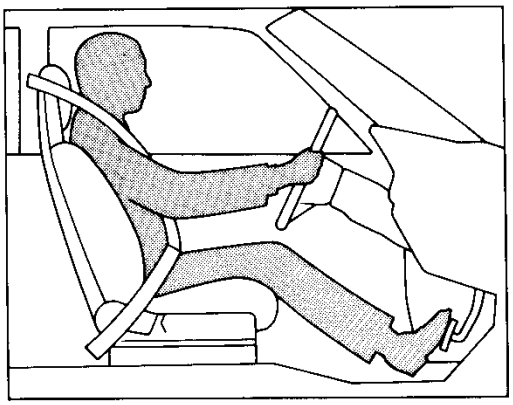


3.バック・ドアを閉じ、マスター・キーを差し込み左に回して、キーを抜くとバック・ドア・オープナーで開けることができません。

4.キーを預けるときは、サブ・キーを渡してください。

無断複製禁止

フロント・シート……26
リヤ・シート……31
シート・ベルトの装着……32
メモリー付きチルト&テレスコピック・ステアリング
（記憶装置付き上下・前後調整式ハンドル）……34
メモリー付きチルト・ステアリング
（記憶装置付き上下調整式ハンドル）……35
インナー・ミラー(防眩ミラー)……35
可倒式ドア・ミラー……35
電動リモコン・ミラー……36



フロント・シート

■シートの調整

正しい姿勢で運転するため、次の事項に注意して調整します。

- ペダルが十分踏み込めること
- ハンドル操作が楽にできること
- 背もたれから背を離さないこと
- シート・ベルトが正しく装着できること

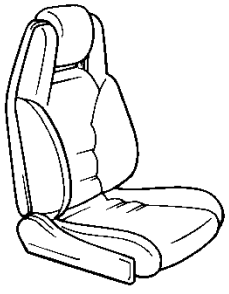
⇨32ページの「**シート・ベルトの装着**」を参照してください。

注意！
1. 調整は、必ず走行前に行ってください。
2. 調整後、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。

※シート形状別に説明してありますので該当するシートのページをご覧ください。

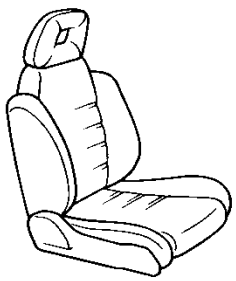
スポーツ・シート……27

GT-FOUR、GT-R、GT

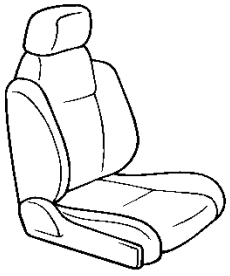


ノーマル・シート……29

SX、ST



SV

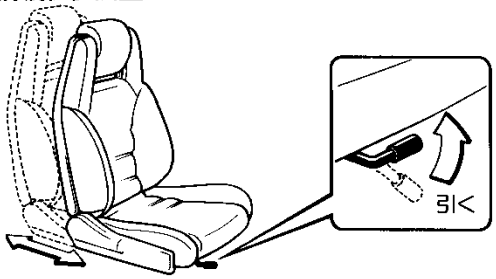


無断複製禁止

スポーツ・シート

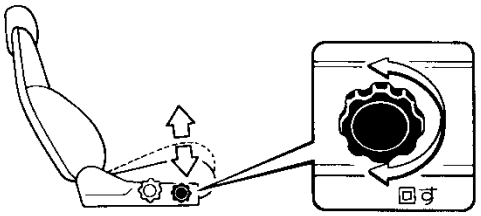
GT-FOUR、GT-R、GT

▶前後位置調整



調整後、シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

▶シート上下アジャスター〈運転席のみ〉（シート・クッション前部の高さ調整）



ハンドルを前に回すとシート・クッション前部が下がり、うしろに回すと上がります。

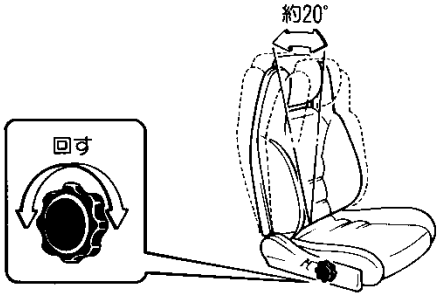
▶ワンタッチ・メモリー付きシート・リクライニング調整

角度の調整は角度調整ハンドルと角度切り替えレバーで行えます。



- ●角度調整ハンドル……通常の姿勢はこのハンドルを回すことで調整できます。
- ●角度切り替えレバー……背もたれを前に倒したいときや、角度調整ハンドルで調整できる角度よりもうしろに倒したいときに使います。

1.角度調整ハンドルを前に回すと前側に、うしろに回すとうしろ側に背もたれ角度を調整できます。



※角度調整ハンドルで調整できるのは約20°です。

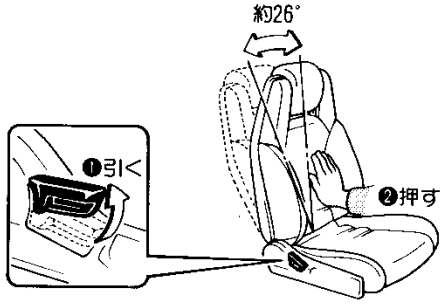
2.角度切り替えレバーを引けば前に倒すことができます。

3.背もたれをうしろに倒すときは

❶角度切り替えレバーを引いて

❷背もたれを押します。

背もたれを倒したあと、1.と同様に角度を調整できます。

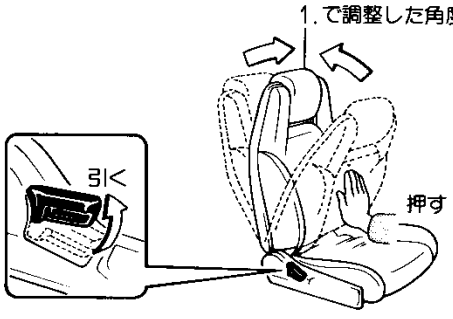


※うしろに倒すことができるのは、1.で調整された角度から約26°です。

〈記憶装置〉

1.で調整された角度が記憶できます。

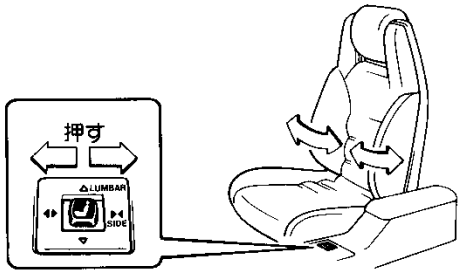
背もたれを倒してから、もう一度起こすと1.で調整した角度で背もたれを固定できます。



無断複製禁止

▶パワー(電動)・サイド・サポート〈運転席のみ〉(背もたれ両側のクッション位置調整)

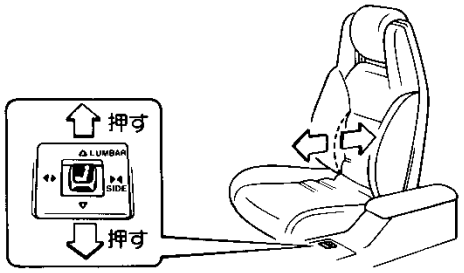
GT-FOUR、GT-R



1.エンジン・スイッチがONのときに使用できます。
2.スイッチを右に押している間クッションが内側に、左に押している間外側に移動します。スイッチから手を離せばその位置で固定されます。

▶パワー(電動)・ランバー・サポート〈運転席のみ〉(背もたれ腰部硬さ調整)

GT-FOUR、GT-R



1.エンジン・スイッチがONのときに使用できます。
2.スイッチを前側に押している間、背もたれの腰部の硬さがかわります。スイッチから手を離せばその位置で固定されます。
3.腰部の当たりが強すぎる場合は、スイッチをうしろ側に押します。(スイッチを押している間硬さがかわります。)

▶ヘッド・レスト



1.上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。ヘッド・レストの高さが耳の後方になるように調節してください。
2.前後位置を4段階に調節できます。
ヘッド・レスト上部を前方に動かすとカチッという音がし、手を離せばその位置で固定されます。
後方にもどすときは、一度前方に止まるまで引いて手を離します。

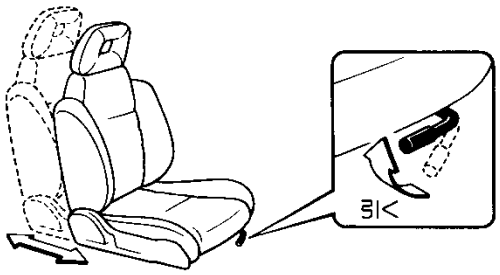
注意!
1.正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
2.背もたれと背中の間にクッションなどをいれると危険防止に役立ちません。

無断複製禁止

ノーマル・シート

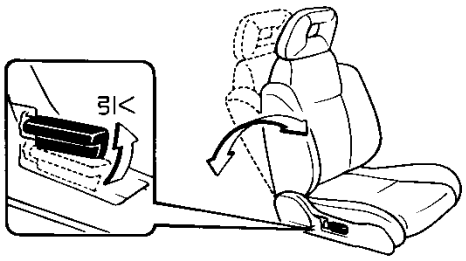
SX、ST

▶前後位置調整



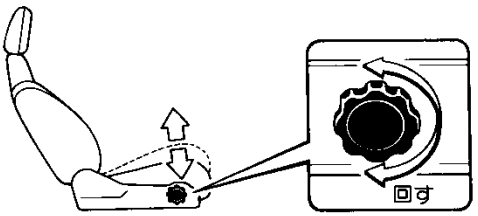
調整後、シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

▶リクライニング調整



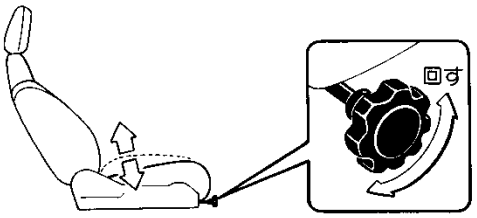
調整後、背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

▶シート・クッション前部の高さ調整
〈運転席のみ〉



ハンドルを前に回すとシート・クッション前部が下がり、うしろに回すと上がります。

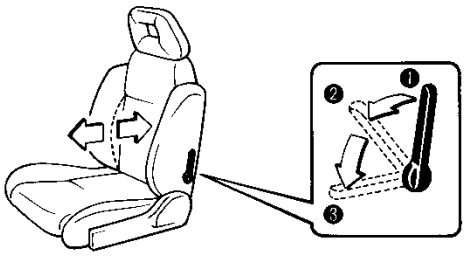
▶シート・クッション後部の高さ調整
〈運転席のみ〉



ハンドルを右に回すとシート・クッション後部が上がり、左に回すと下がります。

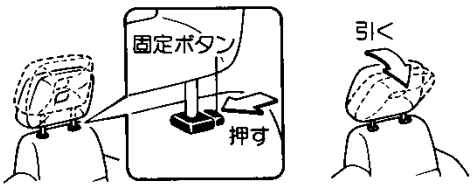
▶ランバー・サポート〈運転席のみ〉
（背もたれ腰部硬さ調整）

SX



レバーを❶→❷→❸へ動かすと背もたれの腰部の硬さを3段階に調整できます。

▶ヘッド・レスト



1. 上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。ヘッド・レストの高さが耳の後方になるように調節してください。
2. SXは前後位置を5段階に調節できます。
   ヘッド・レスト上部を前方に動かすとカチッという音がし、手を離せばその位置で固定されます。
   後方にもどすときは、一度前方に止まるまで引いて手を離します。

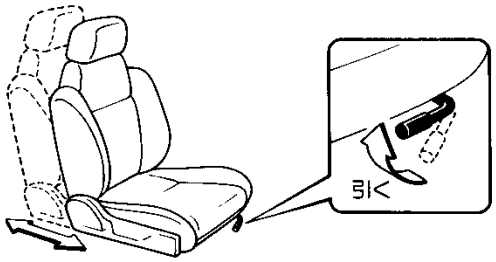
注意！
1. 正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
2. 背もたれと背中の間にクッションなどをいれると危険防止に役立ちません。

無断複製禁止

フロント・シート

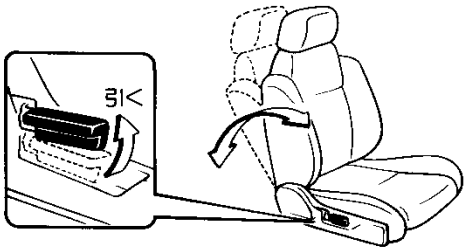
SV

▶前後位置調整



調整後、シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

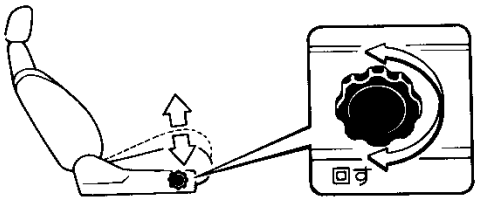
▶リクライニング調整



調整後、背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

▶シート・クッション前部の高さ調整

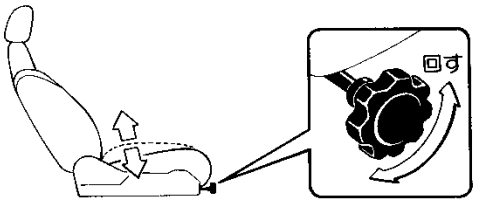
〈運転席のみ〉



ハンドルを前に回すとシート・クッション前部が下がり、うしろに回すと上がります。

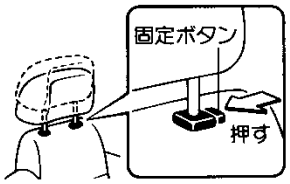
▶シート・クッション後部の高さ調整

〈運転席のみ〉



ハンドルを右に回すとシート・クッション後部が上がり、左に回すと下がります。

▶ヘッド・レスト



上げるときはそのまま引き上げ、下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。ヘッド・レストの高さが耳の後方になるように調節してください。

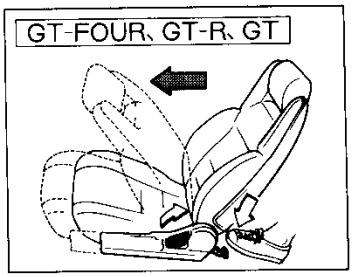
注意!

1.正しい位置で使用しないと危険防止に役立ちません。
2.背もたれと背中の間にクッションなどをいれると危険防止に役立ちません。

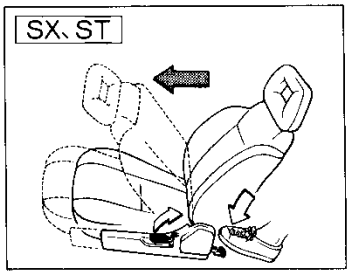
リヤ・シートへの乗り降り

1.助手席のリクライニング調整レバーを引き上げるか、またはうしろ下側のペダルを踏むと背もたれが倒れ、シートが自動的に前へ移動します。
2.背もたれを起こしてシート全体を後方へ押すと、中央の位置で固定されます。
3.シートを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。

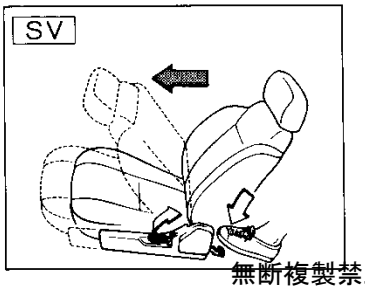
GT-FOUR、GT-R、GT



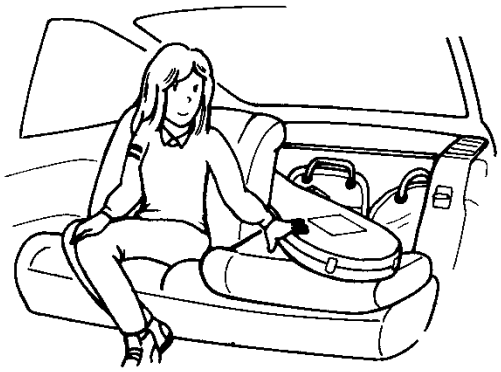
SX、ST



SV



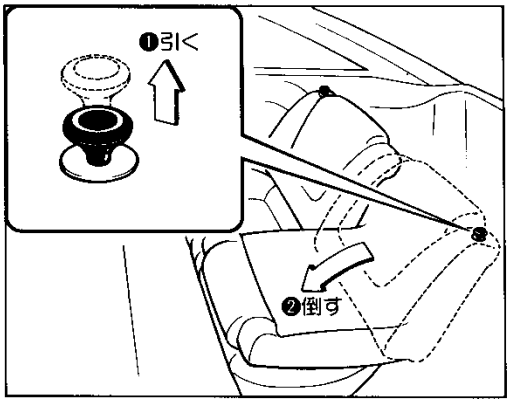
無断複製禁止



リヤ・シート

■ロック機構付き分割可倒式シート

背もたれを前方に倒せば、長い物(ギターなど)も積むことができます。

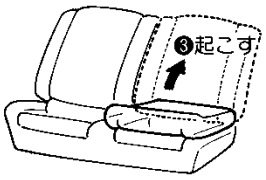


〈倒し方〉

❶固定用ボタンを引き上げて

❷背もたれを倒します。

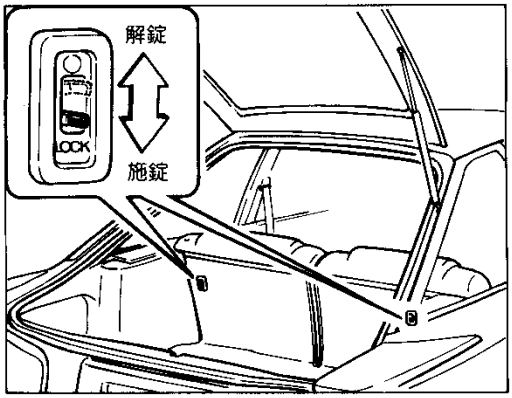
❸もどすときは、背もたれを起こしてうしろに押さえつけると自動的に固定されます。



❹背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



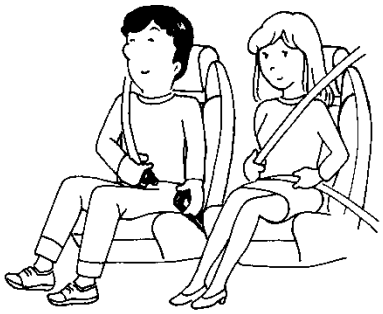
シートを倒すときは、ロック・レバーが解除になっていることを確認してください。次の〈ロックのしかた〉を参照してください。



〈ロックのしかた〉

ロック・レバーを施錠側にすれば、リヤ・シートを倒すことはできません。

無断複製禁止

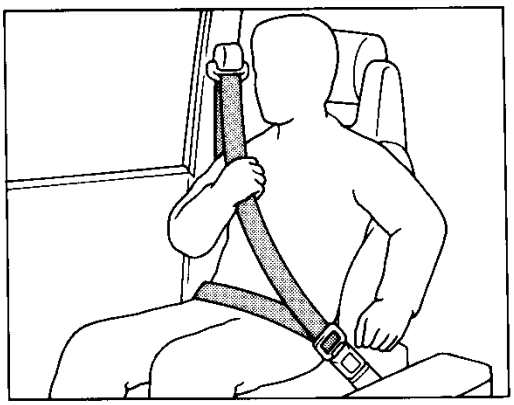


シート・ベルトの装着

シート・ベルトは正しく装着しないと効果が半減したり危険な場合があります。次の使用方法、注意にしたがってシート・ベルトの正しい取り扱いを身につけてください。

ちょっと一言

1. 走行前に必ずシート・ベルトを装着してください。
2. シート・ベルトは上体を起こし、シートに深く腰かけた状態で使用されたときに、最大の効果を発揮できます。
3. 腰部ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったりと装着してください。やわらかい腹部にかけると万一のとき強い圧迫を受け危険な場合があります。⇨次の「装着のしかた」を参照してください。



■フロント・シート・ベルト

▶ELR付き（緊急時固定式）3点式シート・ベルト

身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃で身体が前に倒れそうなときには、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

また、運転席はシート・ベルト装着時に、ベルトによる肩への圧迫感が少なくなるベルト圧迫感減少装置がついています。

〈装着のしかた〉

シートを調整し、上体を起こし、深く腰かけてすわります。

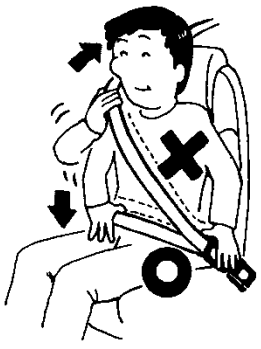
1. プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。





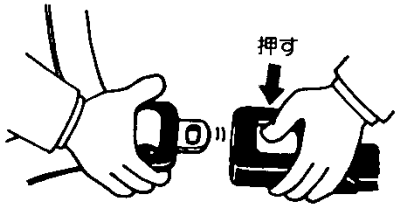
2. プレートをカチッと音がするまで確実にバックルに差し込みます。

3. 腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。



〈取りはずし方〉

1. バックルのボタンを押すとはずれます。
2. プレート側のベルトは自動巻き取り式ですので、ベルトをはずすと自動的に格納されます。
3. ベルトが自動的に格納されないときは、いったんベルトを引き出し、ねじれなどがないことを確かめます。ベルトを手に持ちながら、ゆっくりと巻き取らせてください。



無断複製禁止

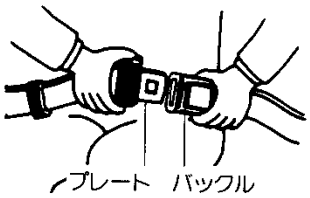
■リヤ・シート・ベルト

▶長さ調整式２点式シート・ベルト

〈装着のしかた〉

上体を起こし、深く腰かけてすわります。

1.ベルトがねじれていないことを確かめてから、プレートをバックルに差し込みます。



2.ベルトが短いときは、プレート側のベルトを下図の要領で伸ばしてください。

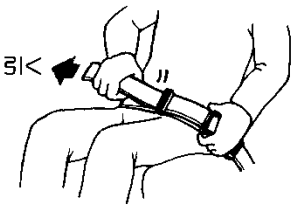


プレートとベルトを直角に

3.ベルトが必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにします。

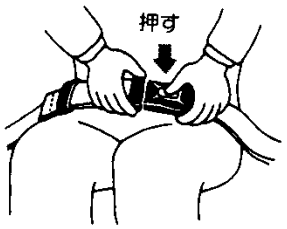


4.下図のようにプレート側のベルトを引いてベルトのゆるみをなくし腰部に密着させます。



〈取りはずし方〉

1.バックルのボタンを押すとはずれます。



2.はずしたベルトは、プレートをバックルにはめておいてください。

注意！

1.シート・ベルトは上体を起こし、シートに深く腰かけ腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置で、ぴったりと装着してください。また、シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。そうしないと万一の場合、身体が前方にすべり腹部にベルトがかかり強い圧迫を受け危険な場合があります。

2.フロント・シート・ベルトを装着した状態で、肩ベルトが首、あご、顔などに当たるようなお子さまの場合は、万一のとき危険ですからリヤ・シートにすわり、リヤ・シート・ベルト（２点式）を装着してください。
なお、乳幼児（６カ月～４才ぐらい）のために、トヨタ販売店では**チャイルドシート**（注文装備）を扱っておりますので、ご使用をおすすめします。



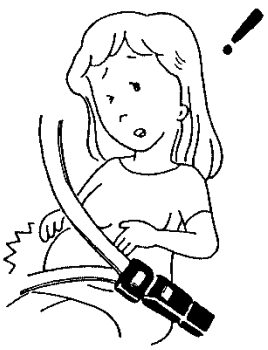
3.ベルトは１人用です。２人以上で１本のベルトを使用しないでください。

4.妊娠中の女性や疾患のあるかたのシート・ベルト装着は、万一の場合腹部などに強い圧力を受けるおそれがありますので医師に相談のうえご使用ください。

5.ベルトのよごれは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を使いブラシをかけて落としてください。薬剤などを使用するとベルトが弱くなり、万一のとき正常な働きをしないことがあります。

6.ベルトをドアなどではさまないようにしてください。万一のとき正常な働きをしないことがあります。

7.ベルト各部の損傷、作動状態を点検してください。
ほつれ、すり切れができたり、金具部などが正常に作動しなくなった場合は、ベルトを交換してください。



無断複製禁止

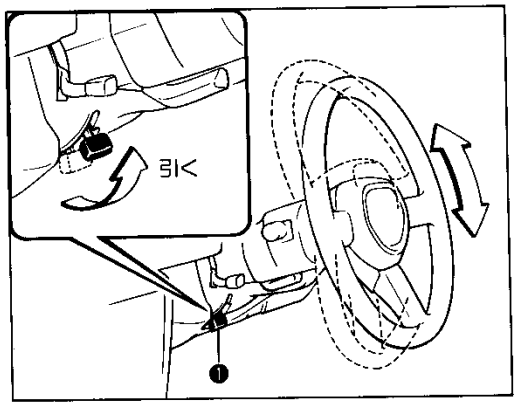
メモリー付きチルト&テレスコピック・ステアリング(記憶装置付き上下・前後調整式ハンドル)



メモリー付きチルト&テレスコピック・ステアリング(記憶装置付き上下・前後調整式ハンドル)

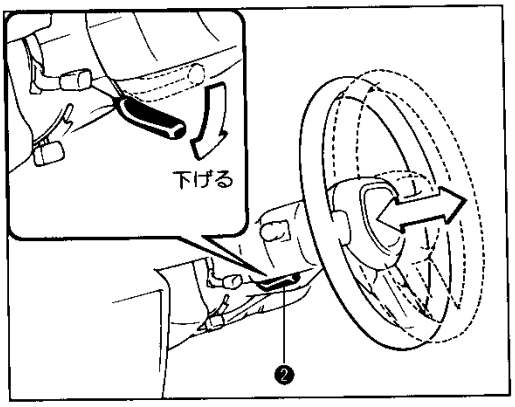
GT-FOUR、GT-R、SX

注意! ハンドルの位置調整は、走行前に行ってください。車が動いているときの調整は危険です。



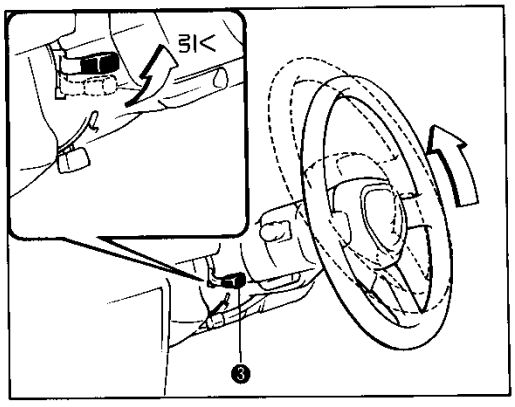
▶上下調整のしかた

1.❶のレバーを引いている間、ハンドル位置を上下6段階に調整できます。
2.適切な位置でレバーを離せば、ハンドルはその位置で固定され、同時に固定された位置を記憶します。
3.調整後、ハンドルを上下に動かして固定されたことを確認します。



▶前後位置調整のしかた

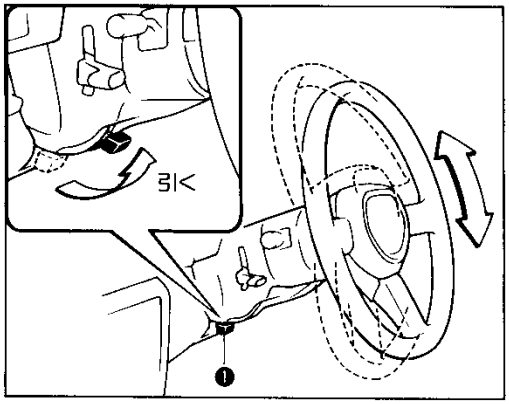
1.❷のレバーを押し下げている間、ハンドル位置を前後にかえられます。
2.適切な位置でレバーを押し上げれば、ハンドルはその位置で固定されます。
3.調整後、ハンドルを前後に動かして固定されたことを確認します。

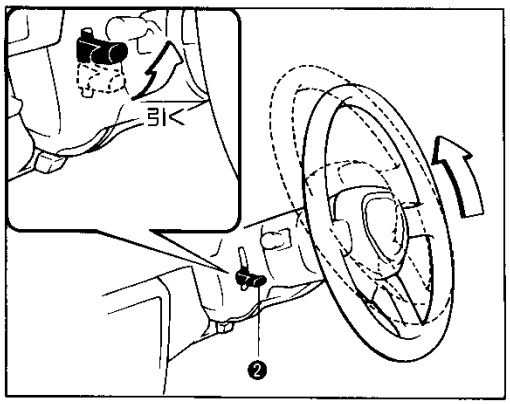


▶ハネ上げのしかた

1.乗降がスムーズに行えるよう❸のレバーを引くとハンドル全体が最上段までハネ上がります。
2.もどすときは、ハンドルを引き下げれば記憶された位置にもどります。

無断複製禁止





メモリー付きチルト・ステアリング(記憶装置付き上下調整式ハンドル)

GT

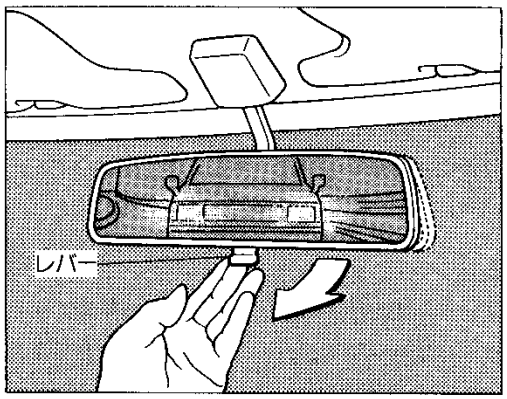
注意！ ハンドルの位置調整は、走行前に行ってください。車が動いているときの調整は危険です。

▶上下調整のしかた

1.❶のレバーを引いている間、ハンドル位置を上下6段階に調整できます。
2.適切な位置でレバーを離せば、ハンドルはその位置で固定され、同時に固定された位置を記憶します。
3.調整後、ハンドルを上下に動かして固定されたことを確認します。

▶ハネ上げのしかた

1.乗降がスムーズに行えるよう❷のレバーを引くとハンドル全体が最上段までハネ上がります。
2.もどすときは、ハンドルを引き下げれば記憶された位置にもどります。



インナー・ミラー(防眩ミラー)

ちょっと一言 走行前に後方が十分確認できる位置に調整してください。

1.ミラー調整はレバーを前方の位置にして、ハンドルをにぎる通常の姿勢で行ってください。
2.夜間走行時など、後続車のヘッドランプがミラーに反射してまぶしいときは、レバーを手前に引いてください。

可倒式ドア・ミラー

SV

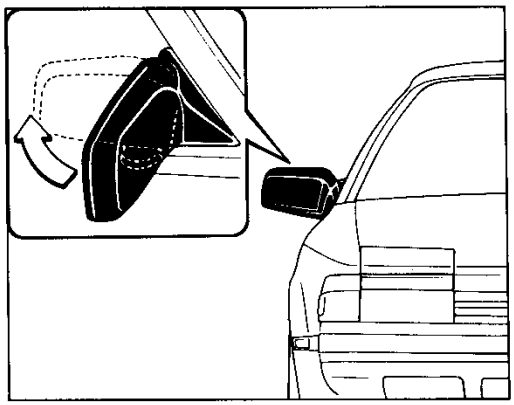
ちょっと一言

1.ドア・ミラーはフェンダー・ミラーに比べて、ミラーの張り出しが約10cm大きくなります。また、ミラーに映る像の距離感覚も異なりますので、ドア・ミラーに慣れるまでのしばらくの間、次の事項に注意して運転してください。
- 狭い道でのすれ違いや車庫入れ時、あるいは歩行者などに対してミラーの張り出しに気を配りながら運転してください。
- 運転席側と助手席側では鏡面の曲率半径が異なるため像の大きさが異なります。
- 助手席側のミラーを見るときに視線移動が大きくなりますので前方不注意とならないよう注意してください。

2.走行前に後方が十分確認できる位置に調整してください。

無断複製禁止

可倒式ドア・ミラー／電動リモコン・ミラー



▶ミラーの倒し方

狭い駐車場に車を止めるときや、立体駐車場、自動洗車機などを利用するときにミラーを保護するため、必要に応じてミラーを後方に倒すことができます。

1. ミラーのカバーの端を車両後方に押すと、ミラーが後方に倒れたまま固定されます。

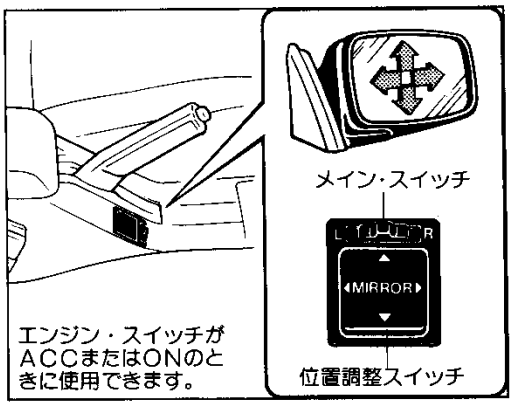


ミラーを強い力（約30kg以上）で押さないでください。

2. もとにもどすときは、カバーを車両前方に"カチッ"という音がするまで起こします。



ミラーを倒したまま走行しないでください。



電動リモコン・ミラー

GT-FOUR、GT-R、GT、SX、ST



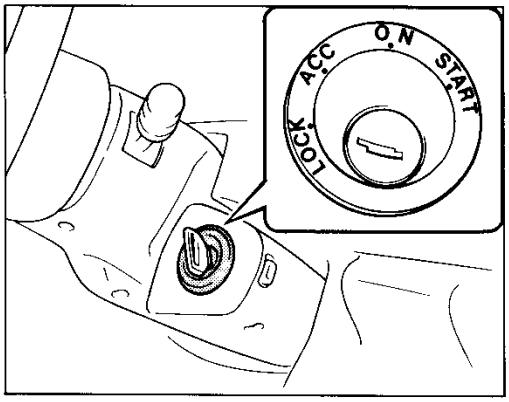
走行前に後方が十分確認できる位置に調整してください。

■可倒式電動ドア・ミラー

1. メイン・スイッチをRの位置にすると右側、Lの位置にすると左側のミラーを位置調整スイッチで調整することができます。
2. 使用しないときは、メイン・スイッチをOFF（中央）の位置にしてください。

無断複製禁止

エンジン・スイッチ……37
エンジンのかけ方……38
エンジンの止め方……38
マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション……39
オートマチック・トランスミッション……39
デフ・ロック……48
パーキング(駐車)・ブレーキ……49



エンジン・スイッチ

■各位置の働き

LOCK……キーを抜き差しできる位置。キーを抜くとハンドルがロックされます。

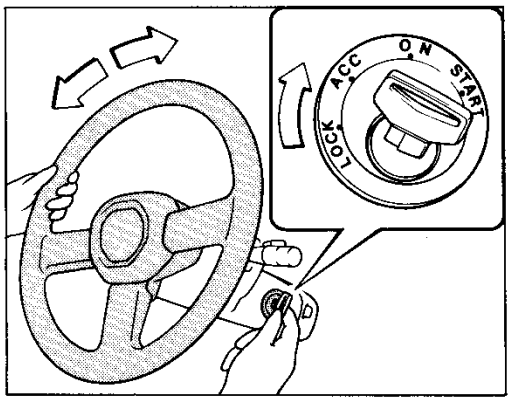
ACC……エンジン停止時、下記のものが使用できます。
ラジオ、カセット・ステレオ、シガレット・ライター、電動リモコン・ミラー

ON……エンジン回転中の位置。

START……エンジンを始動する位置。

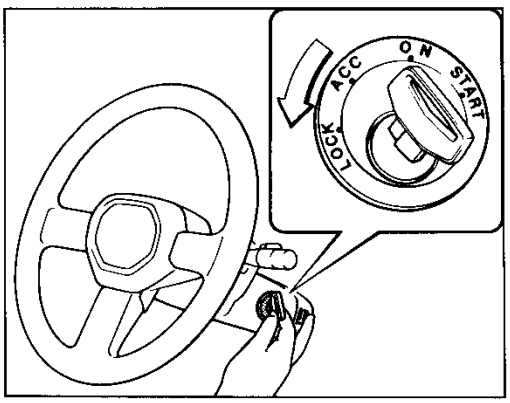


エンジンが始動したら手を離してください。
START位置のままにしているとエンジンを損傷するおそれがあります。
また、エンジンがかからないとき、15秒以上STARTの位置へ回したままにしないでください。バッテリーあがりを起こすおそれがあります。



▶LOCKからACCに回すとき

キーが回りにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。



▶ACCからLOCKに回すとき

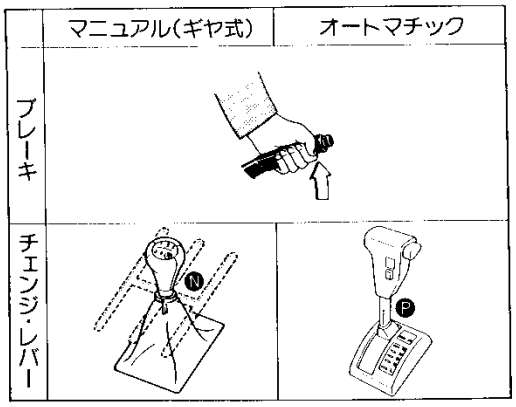
ボタンを押しながらキーを回します。キーを抜くとハンドルがロックされ車両盗難防止に役立ちます。



バッテリーあがりを起こさないために、次の事項を必ず守ってください。
1. エンジン停止時はスイッチをLOCKまたはACCにする。長時間停止する場合はキーを抜く。
2. エンジンを止めた状態(ONまたはACC)で、ラジオ、カセット・ステレオを長時間使用しない。

無断複製禁止

エンジンのかけ方／エンジンの止め方



エンジンのかけ方

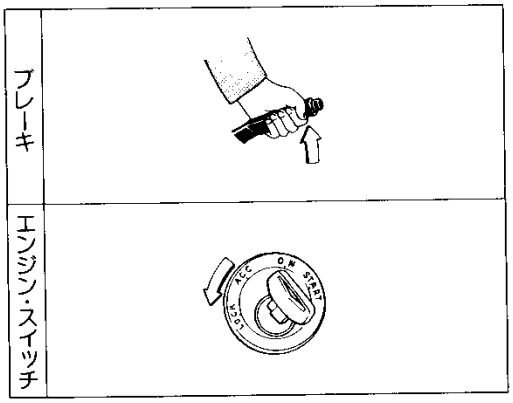
始動するときは必ずブレーキ・ペダルを踏むか、パーキング(駐車)・ブレーキをかけ、チェンジ・レバーは左図の位置で。

1.アクセル・ペダルから足を離したままエンジン・スイッチをSTARTの位置に回しエンジンを始動します。

2.そのままで、しばらく暖機運転をします。暖機が終われば自動的にエンジン回転が下がります。



注意！ ターボ車の場合、始動直後は、エンジンの急激な空ふかし、または急加速をしないでください。ターボ機能を損なうおそれがあります。



エンジンの止め方

1.パーキング(駐車)・ブレーキをかけます。

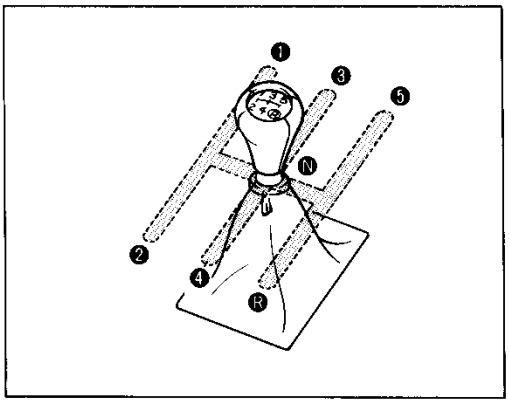
2.エンジン・スイッチをACCまたはLOCKの位置にします。

注意！ ターボ車は、ターボ機能を損なうおそれがありますので、高速走行、登坂路走行直後にエンジンを停止するときは、右の表にしたがって必ずアイドル運転をしたうえで停止してください。

〔参考〕エンジン停止前のアイドル運転時間

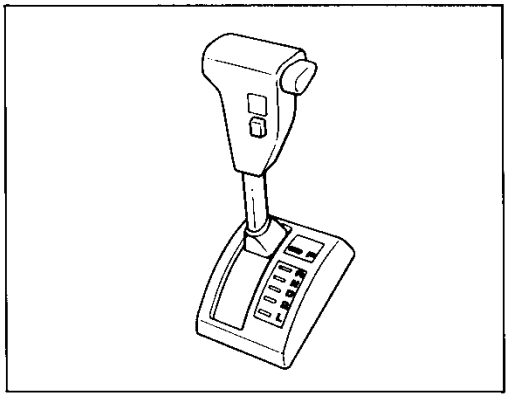
運転状況		アイドル運転時間
市街地、郊外などの一般走行		必要なし
高速走行	約80km/h定速	約20秒
	約100km/h定速	約1分
山岳ドライブ・ウェイなどの急な登坂路走行およびレース場など100km/h以上の連続走行		約2分

無断複製禁止



マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション

1.Ⓡはリバース(後退)を示します。
2.❺→Ⓡへは直接いれることができません。いったんⓃにしてからⓇへいれてください。



オートマチック・トランスミッション

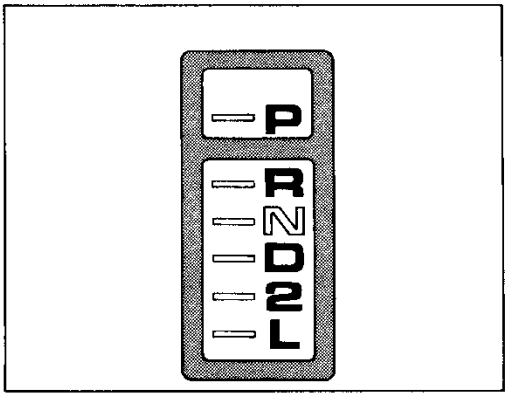
SX、ST に乗られているかたは、このまま続けてお読みください。

GT-R、GT に乗られているかたは、42ページ3コマ目からお読みください。

■2ウェイ・オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッション

SX、ST

3速フル・オートマチック・トランスミッションにオーバードライブ装置を加え4速フル・オートマチック・トランスミッションとし、さらにロック・アップ機構を追加して燃費を向上させたものです。



▶各位置の働き

Ⓟパーキング(駐車)……駐車およびエンジン始動の位置。
Ⓡリバース(後退)……バックさせるときの位置。
Ⓝニュートラル(中立)……この位置でもエンジンを始動することができますが、安全のためにⓅ位置で始動してください。
Ⓓドライブ……通常走行の位置。※1
❷セカンド(2速)……エンジン・ブレーキが必要なとき使う位置。※2
Ⓛロー(1速)……強力なエンジン・ブレーキが必要なとき使う位置。※3

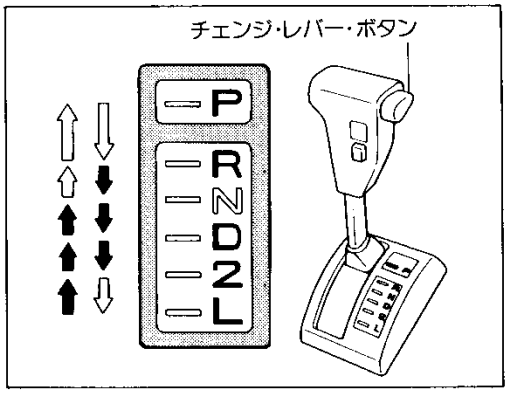


Ⓛローは60km/h以上では使用しないでください。

※1 速度に応じてロー・ギヤからオーバードライブ・ギヤまで自動的にギヤが切り替わります。
※2 速度に応じてロー・ギヤとセカンド・ギヤが自動的に切り替わります。
※3 ロー・ギヤに固定されます。

無断複製禁止

オートマチック・トランスミッション



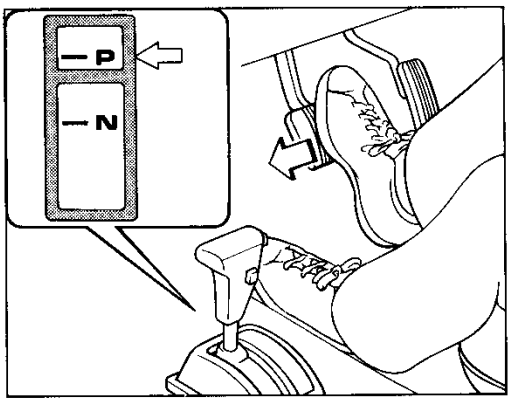
▶レバーの動かし方

➡そのまま動かします。

⇨チェンジ・レバー・ボタンを押して動かします。



➡の操作は誤操作を防ぐため、そのまま動かす習慣をつけてください。

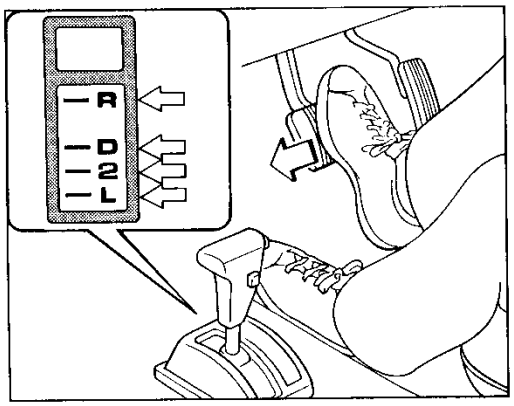


▶運転のしかた

1.エンジン始動

エンジンの始動は、必ずパーキング(駐車)・ブレーキをかけ、ブレーキ・ペダルを踏んだままⓅで行います。

(Ⓝでも始動できますが、安全のためⓅで行ってください。)



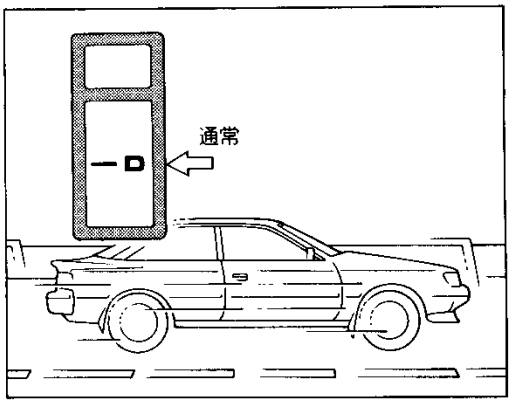
2.発進

発進は必ず右足でブレーキ・ペダルを踏んだまま、前進はⒹ(またはⓁ、❷)、後退はⓇにチェンジ・レバーを操作し、レバー位置を確認します。周囲の安全を確認した後、パーキング(駐車)・ブレーキを解除し、ブレーキ・ペダルから足を離してアクセル・ペダルを踏み発進します。



1.アクセル・ペダルを踏み込んだまま、チェンジ・レバーを操作しないでください。急発進し、危険です。

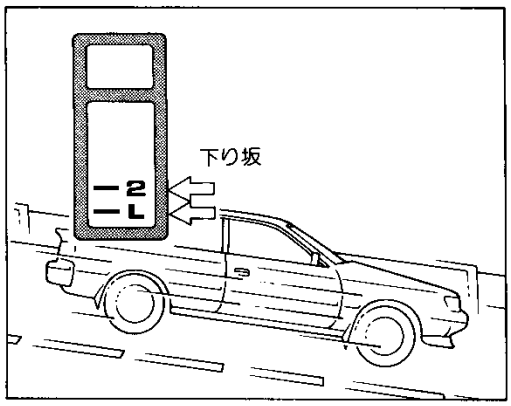
2.エンジン回転数が高いとき(始動直後、エアコン作動時)は、ブレーキ・ペダルを十分踏んでいないと車が動き出すことがあります。



3.走行

- 通常はⒹで使用します。発進するとスピードにより自動的にギヤが切り替わります。
- マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車と同様、Ⓛから発進し、❷からⒹへと手動の操作でも運転できます。
- 追いこしなど急加速したいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、チェンジ・レバーはⒹのままでもスピードにより自動的にギヤが切り替わって急加速できます。

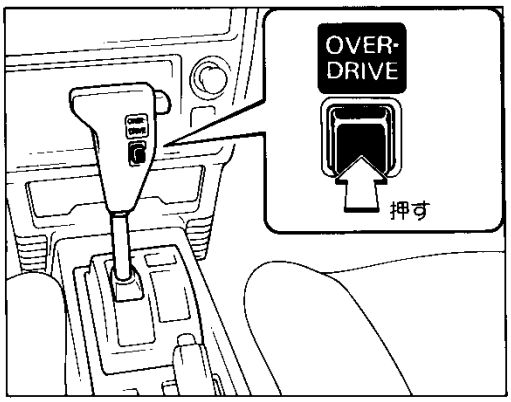
無断複製禁止



●ドり坂では路面状態やスピードに応じオーバードライブ・スイッチをOFFにしたり、チェンジ・レバーを❷または❶にいれてエンジン・ブレーキをかけます。

注意！

1. 走行中Ⓝにいれることはやめてください。エンジン・ブレーキが効かなくなります。
2. 前進から後退、後退から前進にチェンジ・レバーを操作するときは、車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
3. ❶にいれるときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
4. 山間路などの急な坂道を下るときは、オーバードライブ・スイッチをOFFにするか❷レンジにしたりして車速に適したエンジン・ブレーキを使用してください。
5. 強力なエンジン・ブレーキが必要な場合は、スピードに応じて❶レンジにいれてください。ただし、すべりやすい路面では、タイヤがスリップして危険ですので急激なエンジン・ブレーキをかけることはさけてください。



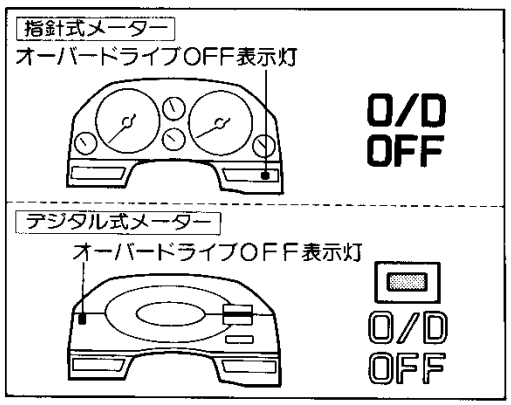
〔オーバードライブ・スイッチの使用法〕

●通常走行時は、スイッチをONにしておいてください。4速フル・オートマチック・トランスミッションとして働きます。

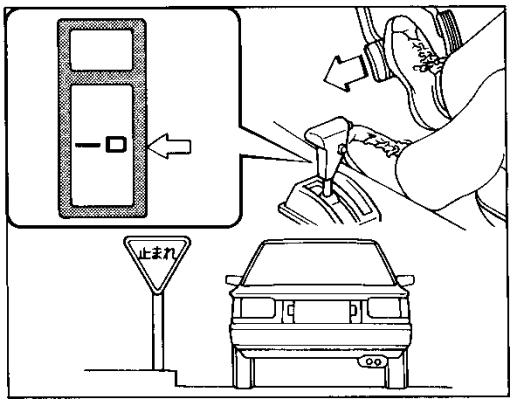
●スイッチをOFFにすると同時にオーバードライブOFF表示灯が点灯し、3速フル・オートマチック・トランスミッションとして働きます。

ちょっと一言

1. エンジンの冷却水が冷えている場合には、オーバードライブ装置が作動しません。
2. 山道などの長い坂道を走行するときは、エンジン・ブレーキの効きをよくするため、スイッチをOFFにしておいてください。
   - ●下り坂ではエンジン・ブレーキの効きがよくなります。
   - ●上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。



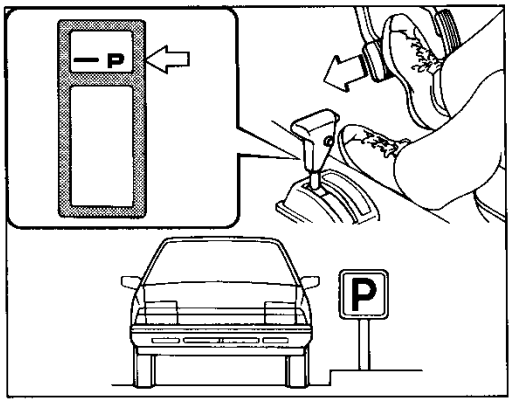
無断複製禁止



4.一時停止

一時停止のときは、Ⓓ、②、Ⓛ、Ⓡのまま、ブレーキ・ペダルを確実に踏むか、そのつどⓃにしてブレーキ・ペダルを確実に踏みます。

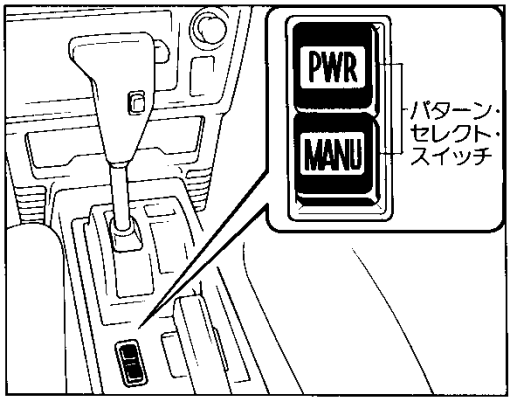
注意！
1.上り坂で停止するときには、アクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転はしないでブレーキを使用して確実に止めてください。
2.パーキング(駐車)・ブレーキがかけてあっても、念のため右足でブレーキ・ペダルを踏み続けてください。



5.駐停車

駐停車するときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだままパーキング(駐車)・ブレーキを確実にかけ、チェンジ・レバーをⓅにいれます。

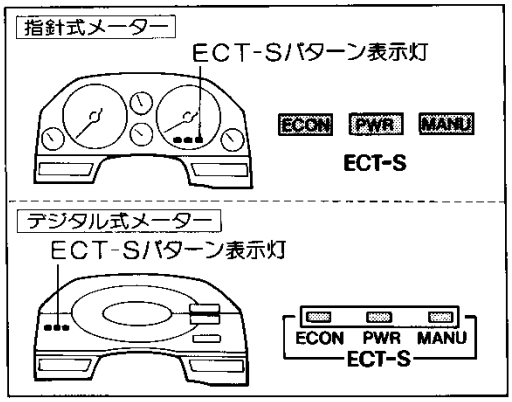
注意！
1.駐停車中は、むやみにエンジンを高回転にしないでください。
2.駐停車中にⓅに確実にはいっていないと、外部からのショックなどで、車が動くおそれがあります。



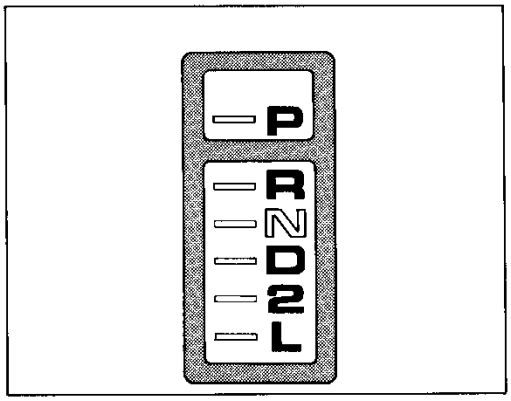
■ＥＣＴ-Ｓ（電子制御式２ウェイ・オーバードライブ付き４速フル・オートマチック・トランスミッション）

GT-R、GT

ＥＣＴ-Ｓは、２ウェイ・オーバードライブ付き４速フル・オートマチック・トランスミッションにマイクロ・コンピューターを組みあわせ、適切なギヤの切り替えを行います。また、パターン・セレクト・スイッチで、運転条件に応じた走行パターンを選択できる機能を持たせたものです。



無断複製禁止



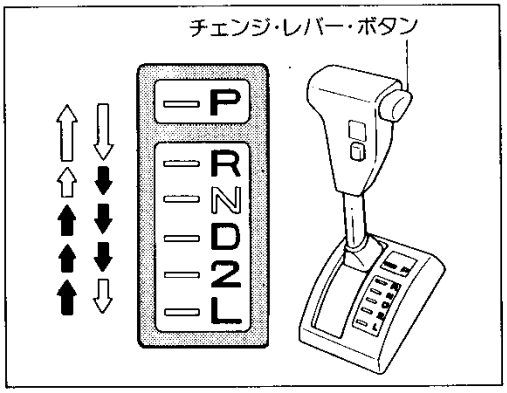
▶各位置の働き

Ⓟパーキング(駐車)……駐車およびエンジン始動の位置。
Ⓡリバース(後退)……バックさせるときの位置。
Ⓝニュートラル(中立)……この位置でもエンジンを始動することができますが、安全のためにⓅ位置で始動してください。
Ⓓドライブ※1……通常走行の位置。パターン・セレクト・スイッチでマニュアル走行、エコノミー(経済)走行、パワー走行が選択できます。
❷セカンド(2速)※2……エンジン・ブレーキが必要なとき使う位置。マニュアル・パターンを選択した場合は、2速発進ができます。
Ⓛロー(1速)※3……強力なエンジン・ブレーキが必要なとき使う位置。



Ⓛローは65km/h以上では使用しないでください。

※1 速度に応じてロー・ギヤからオーバードライブ・ギヤまで自動的にギヤが切り替わります。
※2 速度に応じてロー・ギヤとセカンド・ギヤが自動的に切り替わります。(マニュアル・パターン選択時を除く)
※3 ロー・ギヤに固定されます。

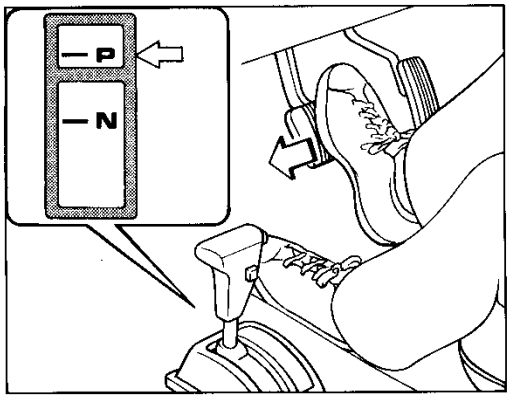


▶レバーの動かし方

➡そのまま動かします。
⇨チェンジ・レバー・ボタンを押して動かします。



➡の操作は誤操作を防ぐため、そのまま動かす習慣をつけてください。



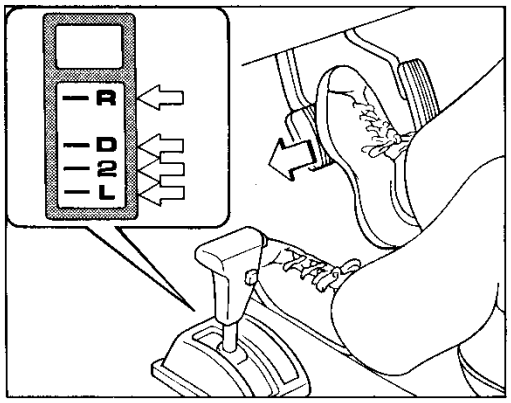
▶運転のしかた

1.エンジン始動

エンジンの始動は、必ずパーキング(駐車)・ブレーキをかけ、ブレーキ・ペダルを踏んだままⓅで行います。
(Ⓝでも始動できますが、安全のためⓅで行ってください。)

無断複製禁止

オートマチック・トランスミッション



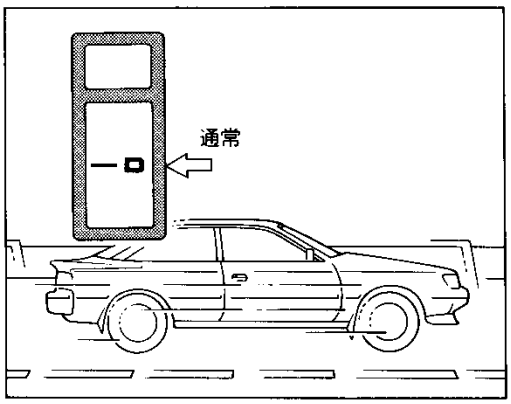
2.発進

発進は必ず右足でブレーキ・ペダルを踏んだまま、前進はⒹ(またはⓁ、❷)、後退はⓇにチェンジ・レバーを操作し、レバー位置を確認します。周囲の安全を確認した後、パーキング(駐車)・ブレーキを解除し、ブレーキ・ペダルから足を離してアクセル・ペダルを踏み発進します。

注意！

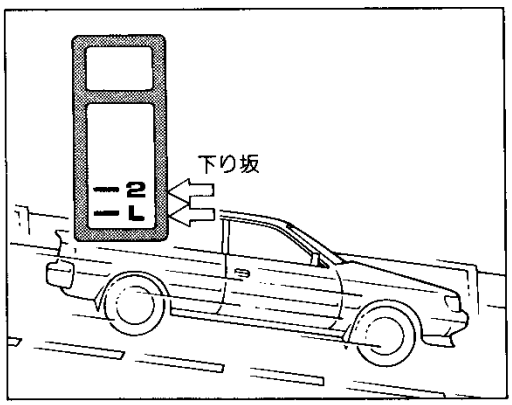
1.アクセル・ペダルを踏み込んだまま、チェンジ・レバーを操作しないでください。急発進し、危険です。

2.エンジン回転数が高いとき(始動直後、エアコン作動時)は、ブレーキ・ペダルを十分踏んでいないと車が動き出すことがあります。



3.走行

- 通常はⒹで使用します。発進するとスピードにより自動的にギヤが切り替わります。
- マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車と同様、Ⓛから発進し、❷からⒹへと手動の操作でも運転できます。
- 追いこしなど急加速したいときは、アクセル・ペダルをいっぱい踏み込むと、チェンジ・レバーはⒹのままでもスピードにより自動的にギヤが切り替わって急加速できます。



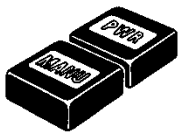
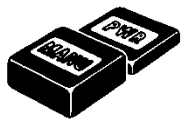
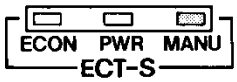
- 下り坂では路面状態やスピードに応じオーバードライブ・スイッチをＯＦＦにしたり、チェンジ・レバーを❷またはⓁにいれてエンジン・ブレーキをかけます。
- 走行・使用条件にあわせて、パターン・セレクト・スイッチで走行パターンを選択できます。
  次ページの〈**走行パターン選択の目安**〉を参照してください。

ちょっと一言

走行中でも走行パターンを切り替えることができます。

無断複製禁止

〈走行パターン選択の目安〉

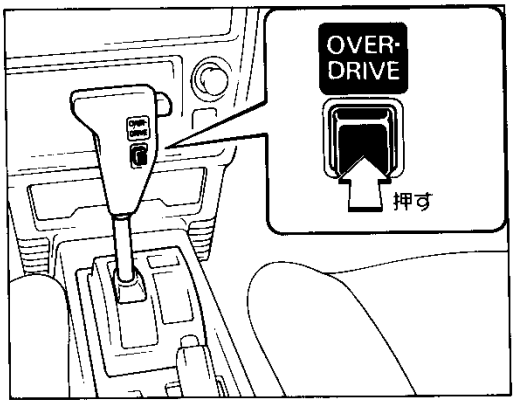
走行パターン	パターン・セレクト・スイッチの状態(※)	パターン表示灯	使　用　条　件
エコノミー		ECON PWR MANU ECT-S 	通常走行の場合に使用します。 燃費のよい経済的な走行ができるパターンで、スイッチ操作は不要です。
パ　ワ　ー		ECON PWR MANU ECT-S 	パワフルな運転や山間地で運転するときに使用します。
マニュアル		ECON PWR MANU ECT-S 	1.Ⓛから発進し、❷から❶へと手動の操作で運転するのに適したパターンです。 2.雪道などのすべりやすい路面では、チェンジ・レバーを❷の位置にすると、2速発進ができスムーズな発進が可能となります。 3.市街地を❶位置で走行しているときにギヤの切り替わりが気になるときは、このパターンを選択するとギヤの切り替わる回数が少なくなります。

※同一ボタンを再度押すと設定パターンは解除され、エコノミー・パターンになります。



1.走行中Ⓝにいれることはやめてください。エンジン・ブレーキが効かなくなります。
2.前進から後退、後退から前進にチェンジ・レバーを操作するときは、車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
3.❶にいれるときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだまま、確実に行ってください。
4.山間路などの急な坂道を下るときは、オーバードライブ・スイッチをＯＦＦにするか❷レンジにしたりして車速に適したエンジン・ブレーキを使用してください。
5.強力なエンジン・ブレーキが必要な場合は、スピードに応じてⓁレンジにいれてください。
ただし、すべりやすい路面では、タイヤがスリップして危険ですので急激なエンジン・ブレーキをかけることはさけてください。

無断複製禁止



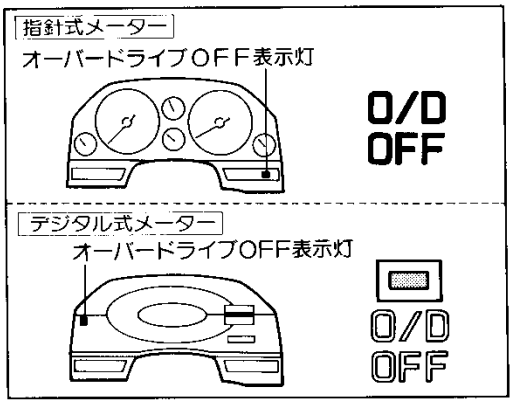
〔オーバードライブ・スイッチの使用法〕

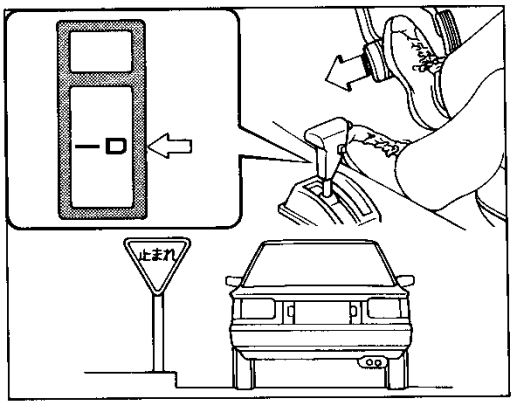
●通常走行時は、スイッチをONにしておいてください。4速フル・オートマチック・トランスミッションとして働きます。

●スイッチをOFFにすると同時にオーバードライブOFF表示灯が点灯し、3速フル・オートマチック・トランスミッションとして働きます。


ちょっと一言

1. エンジンの冷却水が冷えている場合には、オーバードライブ装置が作動しません。
2. 山道などの長い坂道を走行するときは、エンジン・ブレーキの効きをよくするため、スイッチをOFFにしておいてください。
   - ●下り坂ではエンジン・ブレーキの効きがよくなります。
   - ●上り坂では変速回数の少ないなめらかな走行ができます。
3. 走行中オーバードライブOFF表示灯が点滅した場合は装置の異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。



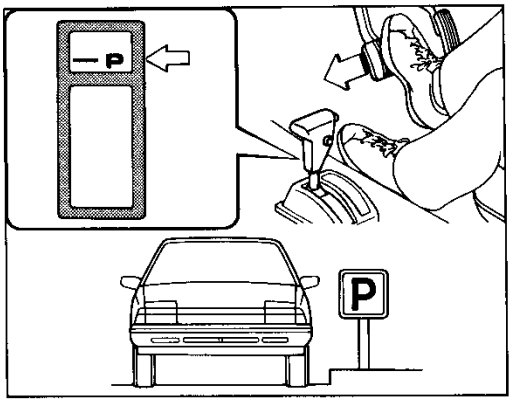


4. 一時停止

一時停止のときは、Ⓓ、②、Ⓛ、Ⓡのまま、ブレーキ・ペダルを確実に踏むか、そのつどⓃにしてブレーキ・ペダルを確実に踏みます。


注意！

1. 上り坂で停止するときには、アクセル・ペダルを踏みながら車を止めておくような運転はしないでブレーキを使用して確実に止めてください。
2. パーキング(駐車)・ブレーキがかけてあっても、念のため右足でブレーキ・ペダルを踏み続けてください。



5. 駐停車

駐停車するときは車が完全に止まってから、ブレーキ・ペダルを踏んだままパーキング(駐車)・ブレーキを確実にかけ、チェンジ・レバーをⓅにいれます。


注意！

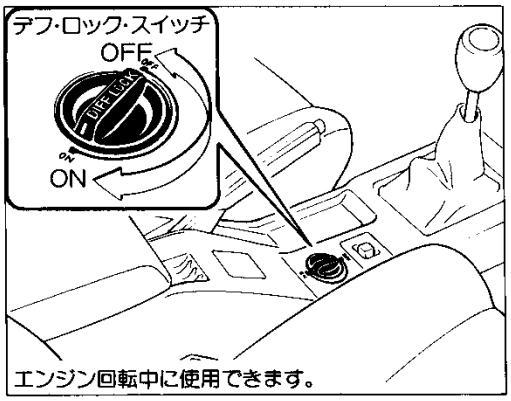
1. 駐停車中は、むやみにエンジンを高回転にしないでください。
2. 駐停車中にⓅに確実にはいっていないと、外部からのショックなどで、車が動くおそれがあります。

無断複製禁止

デフ・ロック

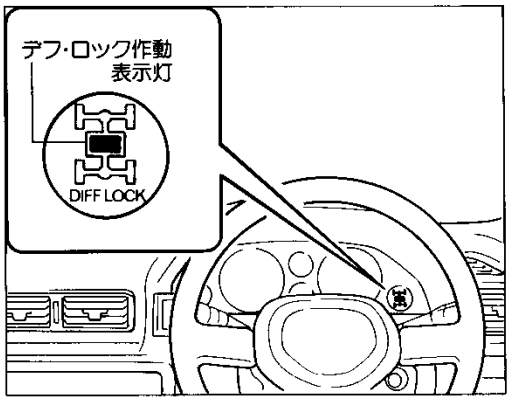
GT-FOUR

デフ・ロックは氷雪路や泥地などで車輪が空転して、車両が動けなくなった時に脱出を容易にする装置です。



■デフ・ロック・スイッチ

1.スイッチをONの位置に回すと、デフ・ロック機構が作動し、ロック状態になります。
2.スイッチをOFFの位置にもどすと、デフ・ロック機構が解除されフリー状態になります。



■デフ・ロック作動表示灯

1.デフ・ロック機構が作動し、ロック状態になると点灯します。
2.デフ・ロック機構が解除され、フリー状態になると消灯します。

注意！

1.脱出時以外、デフ・ロック・スイッチは操作しないでください。
2.脱出後は必ずデフ・ロック・スイッチをOFFの位置にもどし、デフ・ロック作動表示灯が消灯していることを確認してください。
3.空転している車輪の回転を止めてから、デフ・ロック・スイッチをONの位置に回してください。空転したままでスイッチを操作すると、車両が思わぬ方向へ飛び出すおそれがあります。
4.応急用タイヤ装着時は、デフ・ロック・スイッチを操作しないでください。
5.旋回中は、デフ・ロック・スイッチを操作しないでください。


ちょっと一言

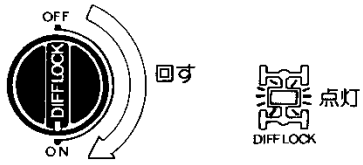
前後のタイヤ・サイズのちがいまたは摩耗差が著しいとき、スイッチを操作してもデフ・ロック機構の切り替えがスムーズに行えなくなる場合があります。

無断複製禁止

操作のしかた

▶ONの位置に回すとき

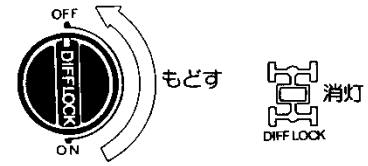
1.ブレーキを踏み、空転している車輪の回転を止めます。
2.ハンドルを操作し、車輪を直進状態またはできるだけ直進状態に近い状態にします。
3.デフ・ロック・スイッチを右に回してONの位置にし、デフ・ロック作動表示灯が点灯していることを確認します。（デフ・ロック機構が作動し、ロック状態に切り替わると、作動表示灯が点灯します。）



ちょっと一言 デフ・ロック・スイッチを操作しても、作動表示灯が点灯するまでに少し時間がかかることがあります。

▶OFFの位置にもどすとき

1.ハンドルを操作し、車輪を直進状態またはできるだけ直進状態に近い状態にします。
2.デフ・ロック・スイッチを左に回してOFFの位置にもどし、デフ・ロック作動表示灯が消灯したことを確認します。（デフ・ロック機構が解除され、フリー状態になると、作動表示灯が消灯します。）



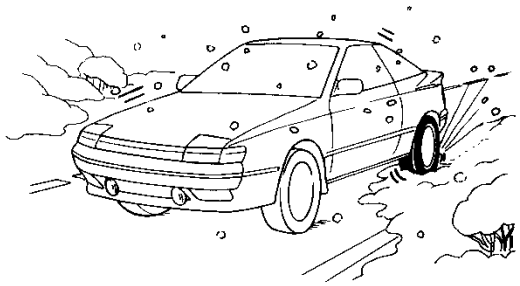
ちょっと一言 解除後、すぐに作動表示灯が消灯しない場合があります。このようなときは、少し直進走行すれば解除しやすくなります。

デフ・ロックの効果的な使い方

デフ・ロックは車輪が空転して、車両が動けなくなったときの脱出に効果があります。

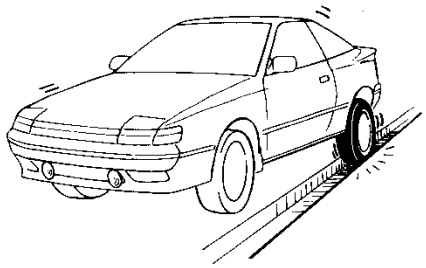
注意！
1.車輪が空転しているときは、デフ・ロック・スイッチをONの位置に回さないでください。
2.脱出後は必ずデフ・ロック・スイッチをOFFの位置にもどして、作動表示灯が消灯したことを確認してください。

〈すべりやすい路面での脱出〉



1輪が雪上で他の車輪がアスファルトなどで脱出できない場合。

〈脱輪時〉



1輪が宙に浮き空転して脱出できない場合。

無断複製禁止

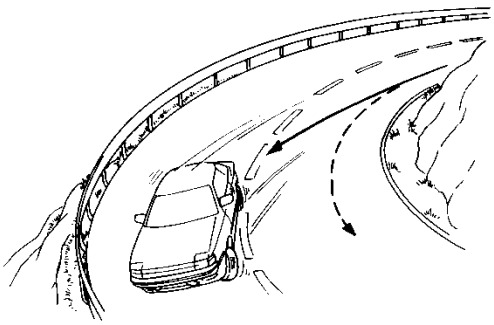
デフ・ロックの誤った使い方

デフ・ロックは脱出用の装置です。脱出時以外は使用しないでください。
脱出後は必ずスイッチをOFFの位置にもどして、作動表示灯が消灯したことを確認してから走行してください。

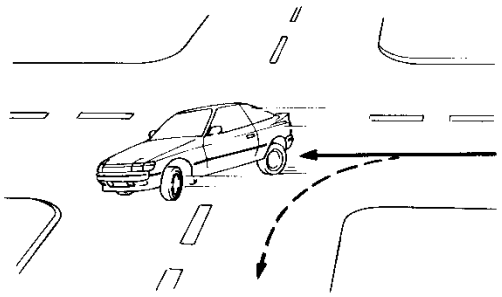
デフ・ロック走行は危険です。
脱出時以外は使用禁止。

デフ・ロック時は直進性が非常に強くなり、スムーズな旋回ができなくなるおそれがあります。

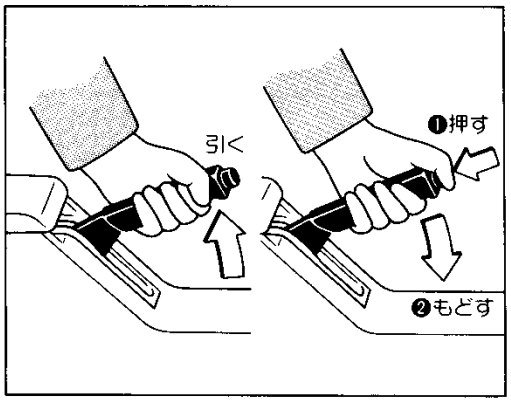
●カーブを曲がるとき



●交差点での右左折



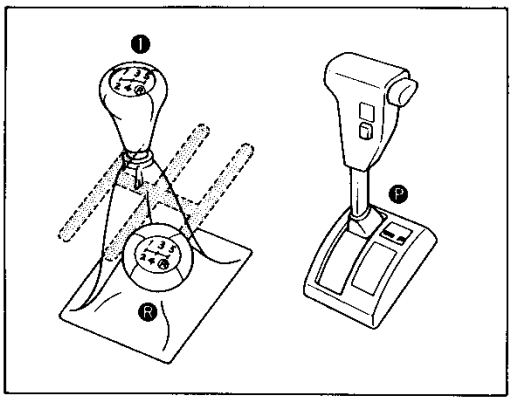
このような状態でカーブや交差点にはいると非常に危険です。絶対にデフ・ロックを使用しないでください。



パーキング(駐車)・ブレーキ

注意！ パーキング(駐車)・ブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

1.駐車するときは、ボタンを押さずにレバーをいっぱい引きます。
2.もどすときはレバーを少し引き上げながら、❶先端のボタンを押さえて、❷もどします。



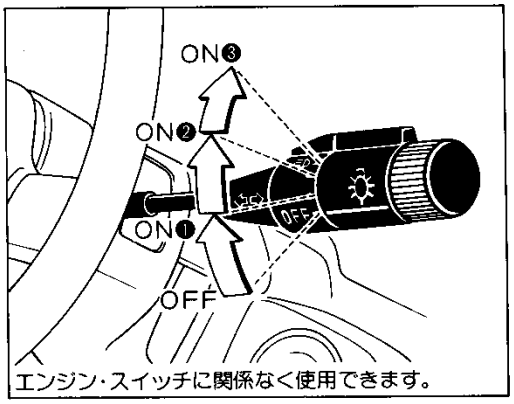
■駐車のしかた

1.パーキング(駐車)・ブレーキをかけます。
2.チェンジ・レバーを、マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車は❶(1速)または Ⓡ(後退)、オートマチック・トランスミッション車は Ⓟ(駐車)の位置にします。

ちょっと一言
1.坂道では輪止め(搭載工具に含まれています)を忘れず使用してください。
2.急な坂道での駐車はしないでください。

無断複製禁止

ライト・スイッチ……50
方向指示レバー……52
フロント・ワイパー&ウオッシャー・スイッチ……52
リヤ・ワイパー&ウオッシャー・スイッチ……54
リヤ・ウインドゥ・デフォッガー(曇り取り)・スイッチ……54
レオスタット(計器照度調整スイッチ)……55
フォグ・ランプ・スイッチ……55
駐車灯スイッチ……55
非常点滅灯スイッチ……55



エンジン・スイッチに関係なく使用できます。

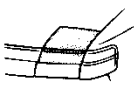
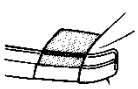
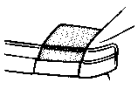
ライト・スイッチ

ツマミを回すとON❷、ON❸の位置でランプ類が点灯します。詳しくは、次表の**「ツマミの位置と灯火の関係」**を参照してください。

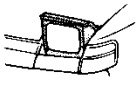
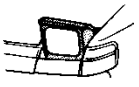
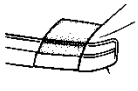

ちょっと一言 エンジン停止時、ヘッドランプなどのランプを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

▶ツマミの位置と灯火の関係

〈OFFから≡Dに回すとき〉

ツマミの位置		ヘッドランプ		車幅灯／尾灯／番号灯／計器照明灯
OFF			消灯	消　灯
ON❶	●		消灯	消　灯
ON❷	▬		消灯	点　灯
ON❸	≡D		点灯	点　灯

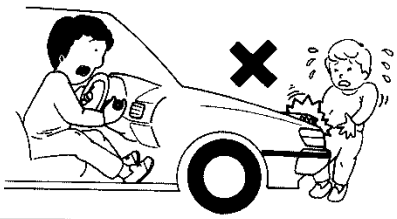
〈≡Dからに回すとき〉

ツマミの位置		ヘッドランプ		車幅灯／尾灯／番号灯／計器照明灯
ON❸	≡D		点灯	点　灯
ON❷	▬		消灯	点　灯
ON❶	●		消灯	消　灯
OFF			消灯	消　灯

無断複製禁止

注意！

ライト・スイッチを操作するときは、ヘッドランプ付近に人がいないことを確かめてから操作してください。ヘッドランプが起き上がったり、下がったりするときに手をはさむおそれがあります。



▶寒冷地などでヘッドランプ昇降装置が凍結するおそれがある場合または凍結したときは

1.走行時に支障のないようライト・スイッチを●の位置にしてレバーを手前に引き、ヘッドランプを起こしておきます。

2.昇降装置が凍結してヘッドランプが下がらないときは、氷が溶けてからライト・スイッチをＯＦＦにしてヘッドランプを格納してください。

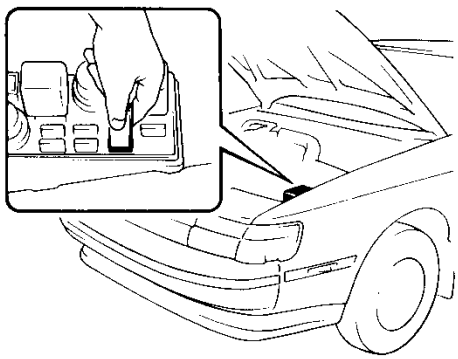
注意！

寒冷地などで、ヘッドランプが起き上がったまま(または格納状態)のときに昇降装置が凍結し、作動しないときは、スイッチを操作する前に必ず氷を溶かしてください。凍結した状態のままでスイッチ操作を何度も繰り返すとバッテリーあがりを起こすおそれがあります。

▶ライト・スイッチを ≡D にしてもヘッドランプが起き上がらないとき、またはＯＦＦにしても下がらないときは

1.ライト・スイッチをＯＦＦにします。

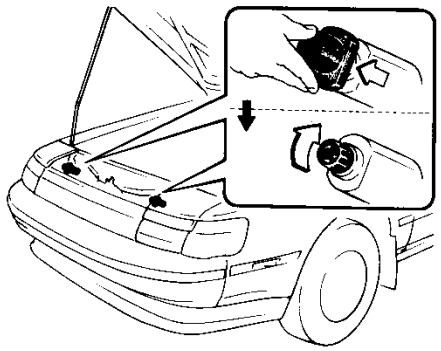
2.エンジン・ルーム内ヒューズ・ボックスのグリーン色のヒューズ(30A)をはずします。



ちょっと一言

ヒューズは必ずはずしてください。はずさないで次の作業をすると、電源がはいったりヘッドランプが急に起き上がったり下がったりすることがあるため、手などをはさむおそれがあります。

3.モーター上部のゴム・カバーをはずし赤色のツマミを回すとヘッドランプが起き上がるか、または下がります。なお、ツマミを下図の反対方向に回すことは絶対にやめてください。



4.2.ではずしたヒューズを取りつけます。

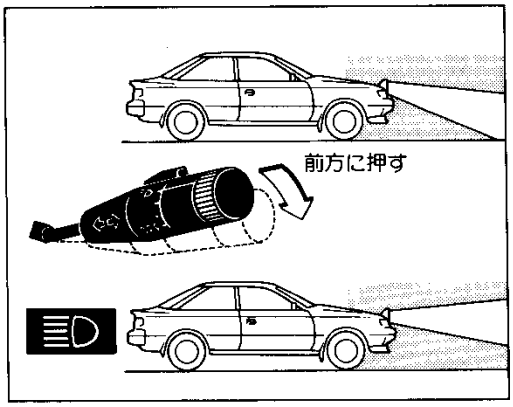
ちょっと一言

1.ヘッドランプを下げたときに車体のラインと平行になれば正しい格納状態です。

2.ヘッドランプを上げたときは、一度ライト・スイッチを≡Dの位置にして点灯することを確認してください。

3.ライト・スイッチを操作したときヘッドランプが正常に作動しない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

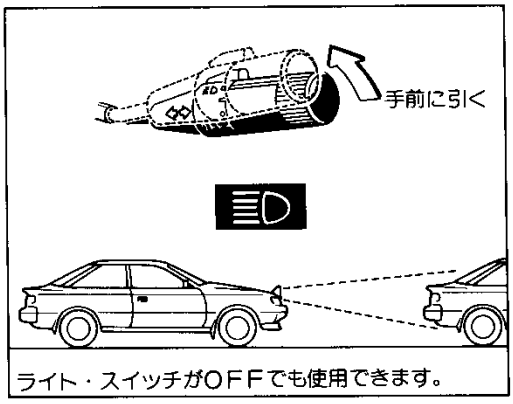
無断複製禁止



■ヘッドランプの上下切り替えと追いこし合図のしかた

▶ヘッドランプの上下切り替え

1. レバーを前方に動かすとヘッドランプが上向きになります。
2. ヘッドランプが上向きのときは、計器内のヘッドランプの上向き表示灯が点灯します。

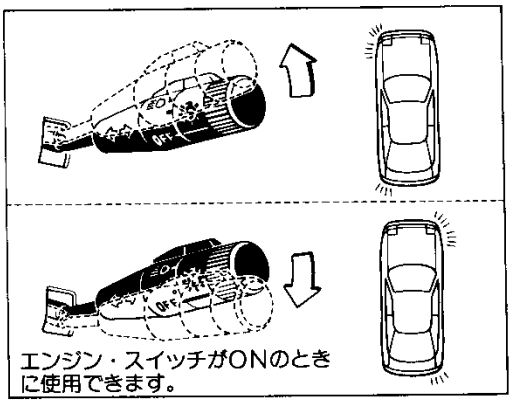


▶追いこし合図のしかた

1. レバーを手前に引いている間、ヘッドランプが起き上がり点灯します。このとき同時に、計器内のヘッドランプの上向き表示灯が点灯します。
2. レバーから手を離すと、約2秒後にヘッドランプは自動的に格納されます。

■ランプ消し忘れ警告ブザー GT-FOUR、GT-R、SX

車幅灯が点灯したままでエンジン・スイッチをLOCKの位置にすると、ブザーが鳴りランプ類の消し忘れを警告します。



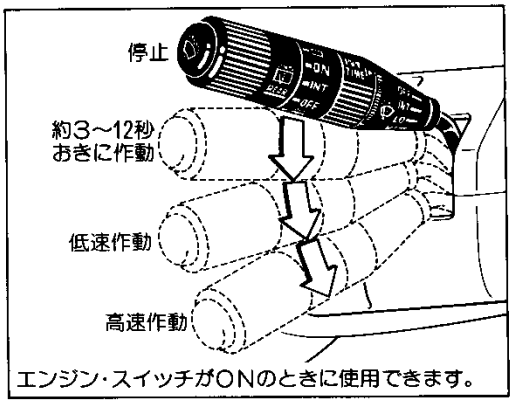
方向指示レバー

1. レバーを上またはドへ操作すると、左または右側の方向指示灯および計器内の方向指示灯表示灯が点滅します。
2. レバーはハンドルをもどすと自動的にもどります。もどらないときは、手でもどしてください。
3. 車線変更などのときには、レバーを軽く上または、下へ操作している間、それぞれの方向指示灯および方向指示灯表示灯が点滅し、手を離すと消灯します。

フロント・ワイパー&ウォッシャー・スイッチ



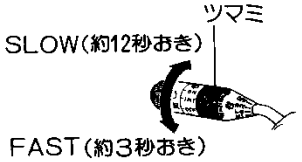
凍結のおそれがあるときや長期間ワイパーを使用しなかったときは、走行前にワイパー・ゴムがガラスに張りついていないことを点検してください。ガラスに張りついたまま作動させると損傷したり、モーターが故障することがあります。



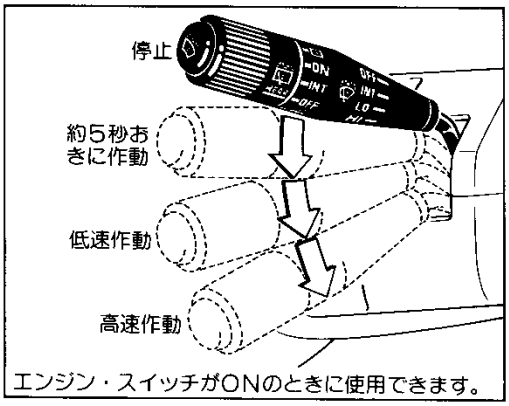
■間けつ時間調整式ワイパー

GT-FOUR、GT-R、SX

1. レバーを図のように操作するとワイパーが作動します。
2. INT TIMEのツマミを右図のように操作すると間けつ時間（作動から次の作動までの停止時間）を、約3~12秒の間で調整できます。



無断複製禁止

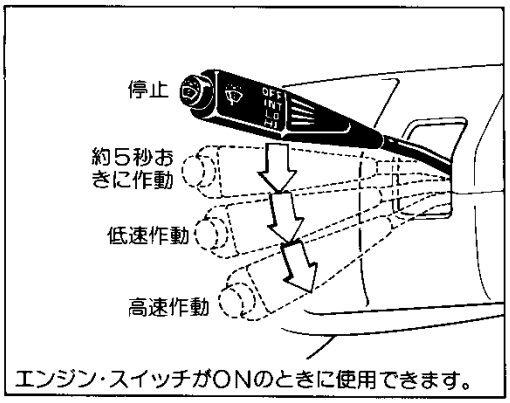


■間けつワイパー

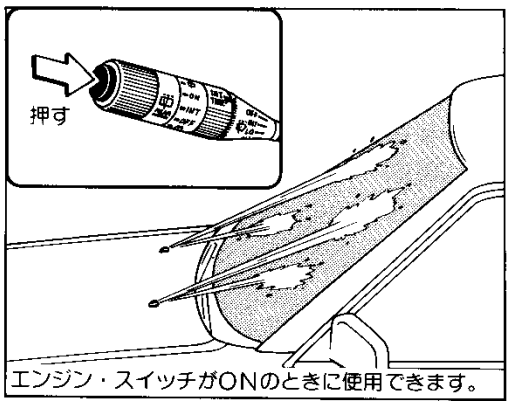
GT、ST(スポーツ・パッケージ)に標準装備

ST(スポーツ・パッケージを除く)に注文装備

レバーを図のように操作するとワイパーが作動します。



ST(スポーツ・パッケージを除く)、SV



■ウォッシャー液の噴射方法

1.レバー先端についているスイッチを押すとウォッシャー液が噴射されます。

2.間けつ時間調整式ワイパーは、スイッチを約1秒以上押すとウォッシャー液が噴射され、約1秒後にワイパーが2～3回作動します。

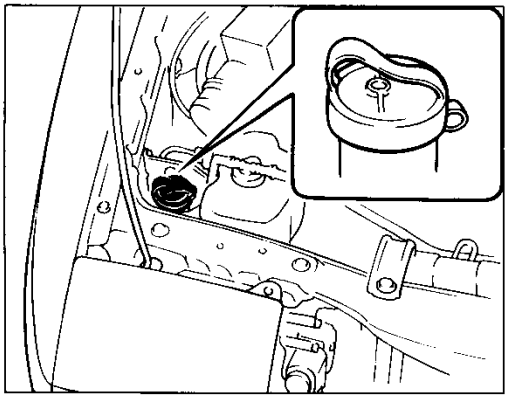
ちょっと一言

1.ウォッシャー液が十分出ないときは、ウォッシャー・スイッチを使用しないでください。ポンプをいためることがあります。

2.からぶきはガラスを傷つけることがあります。必ずウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させてください。

注意!

寒冷時にウォッシャー液を使用するときはガラスに噴射された液が凍結し、視界不良を起こすことがありますので、先にフロント・ガラスを暖めてください。



▶ウォッシャー・タンクの位置

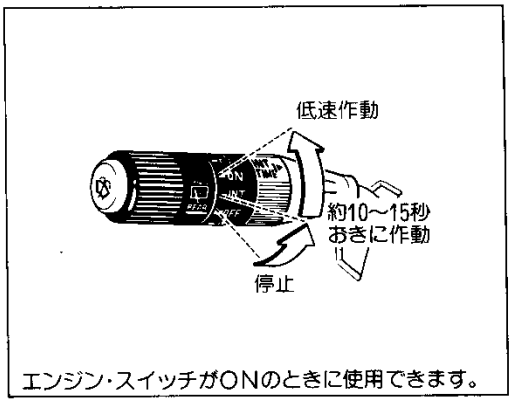
エンジン・ルーム右側前部に取りつけてあります。

無断複製禁止

リヤ・ワイパー＆ウォッシャー・スイッチ

GT-FOUR、GT-R、GT、SX、ST(スポーツ・パッケージ)に標準装備

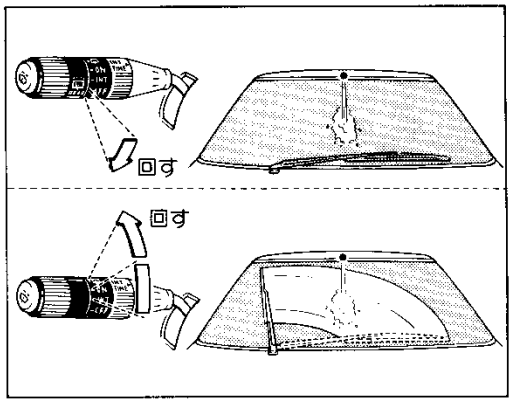
ST(スポーツ・パッケージを除く)に注文装備



エンジン・スイッチがONのときに使用できます。

■ワイパーの使い方

ツマミを図のように回すとワイパーが作動します。



■ウォッシャー液の噴射方法

1.ツマミをOFFの位置から下の側に回すとウォッシャー液が噴射されます。

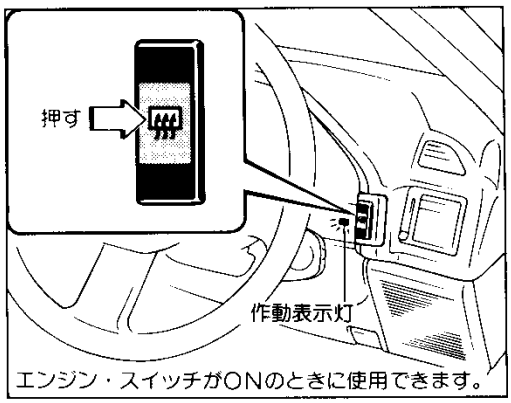
2.低速作動中にウォッシャー液を噴射させるときはONの位置から上の側に回します。



ウォッシャー・タンクはフロント・ウォッシャー・タンクと共用しています。

リヤ・ウインドゥ・デフォッガー(曇り取り)・スイッチ

リヤ・ウインドゥ・ガラスが曇ったとき、ガラスの表面を暖めて、曇りを取ります。



エンジン・スイッチがONのときに使用できます。

■タイマー付き

1600GTのオートマチック・トランスミッション車

1.スイッチを押すと作動し、作動表示灯が点灯します。

2.約12～18分間作動し、自動的にOFFになります。

3.途中で解除したいときは、スイッチをもう一度押します。

■タイマーなし

GT-FOUR、GT-R、2000GT、1600GT(マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車)、SX、ST、SV

1.スイッチを押すと作動し、作動表示灯が点灯します。

2.もう一度スイッチを押すと作動は停止します。

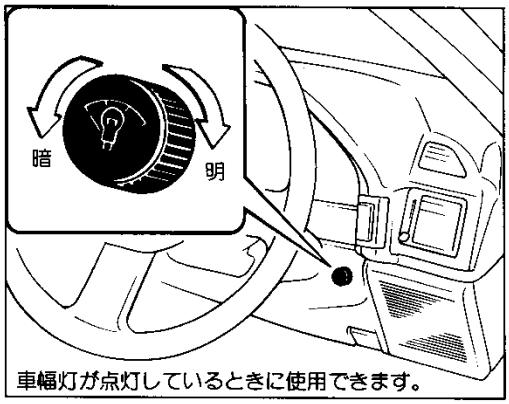


1.曇り取り以外には使用しないでください。雨水の乾燥や雪などを溶かすことはできません。

2.リヤ・ウインドゥ・ガラスの曇りが消えたら、スイッチは必ず切ってください。スイッチをいれたままにしておくと、バッテリーあがりの原因になります。

3.熱線入りガラス(内側)の清掃は、湿った布で熱線にそって、軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは使用しないでください。

無断複製禁止

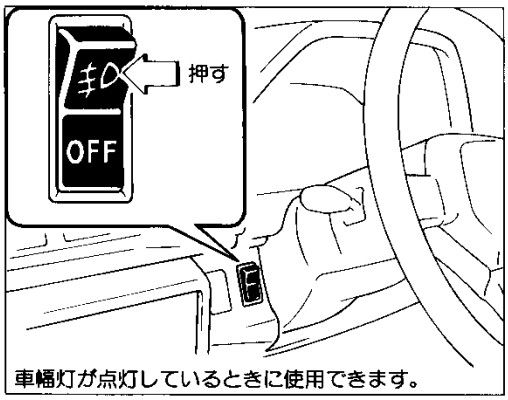


車幅灯が点灯しているときに使用できます。

レオスタット(計器照度調整スイッチ)

デジタル式メーター付き車

1.ツマミを右に回すと計器照明灯が明るくなり、左に回すと暗くなります。
2.ツマミを右にいっぱい回した位置にすれば、メーター内の各表示部は車幅灯を点灯しても減光されません。

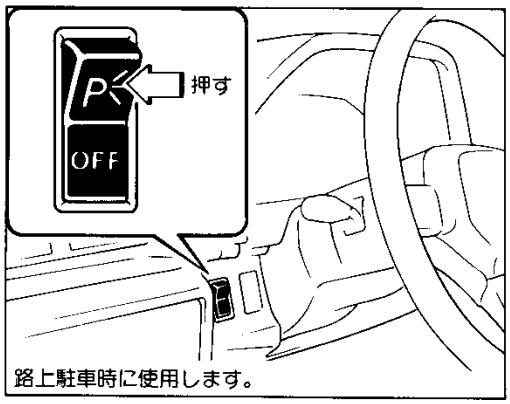


車幅灯が点灯しているときに使用できます。

フォグ・ランプ・スイッチ

GT-FOUR

スイッチの側を押すと点灯し、OFF側を押すと消灯します。



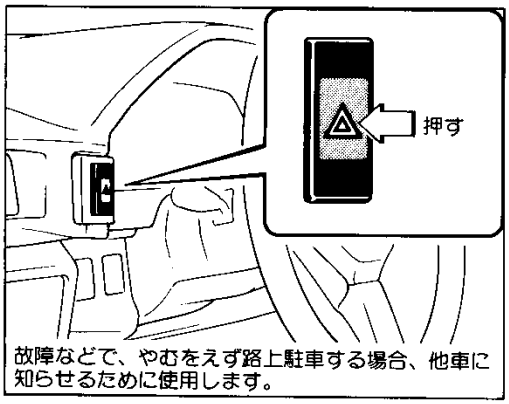
路上駐車時に使用します。

駐車灯スイッチ

1.スイッチのP側を押すと前後左右の駐車灯が点灯します。
2.OFF側を押すと消灯します。


ちょっと一言

完全充電状態のバッテリーでも長時間使用すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。



故障などで、やむをえず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用します。

非常点滅灯スイッチ

1.スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅します。このとき同時に計器内にある方向指示灯表示灯も点滅します。



2.もう一度押すと消灯します。


ちょっと一言

1.完全充電状態のバッテリーでも長時間使用すると、バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2.走行中、異常がないのに使用すると、他車の誤解を招き危険です。

無断複製禁止

メーターの見方

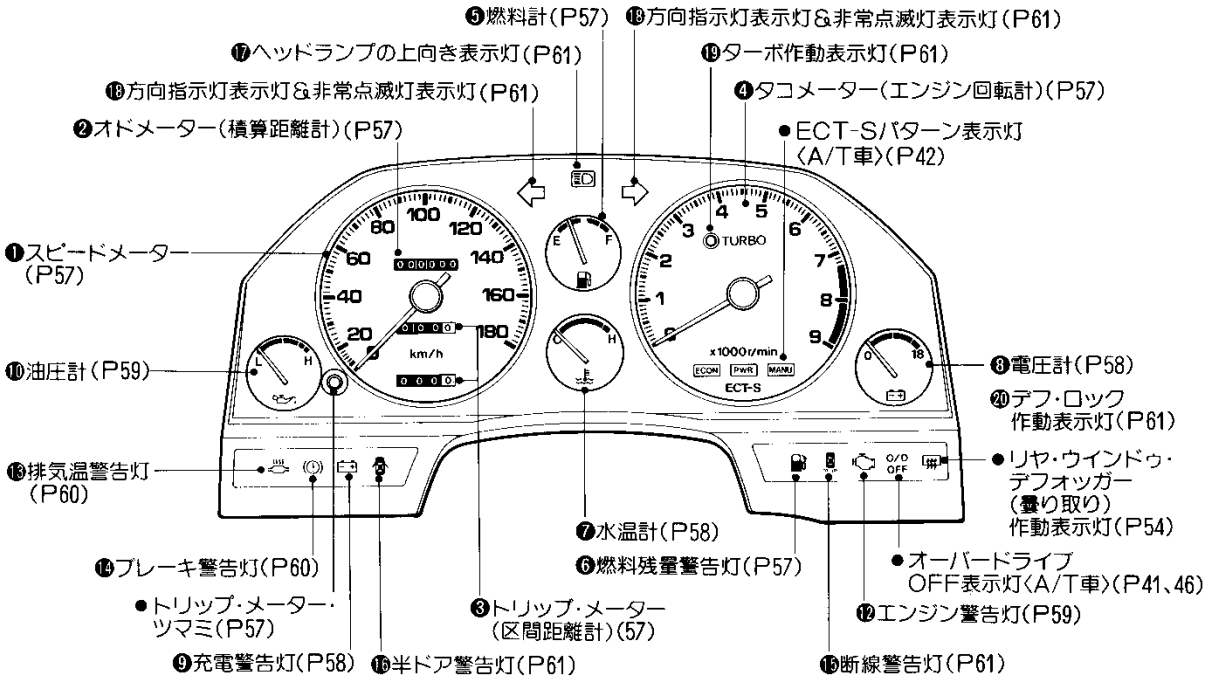
メーターには指針式とデジタル式があります。
指針式メーターのかたはこのままお読みください。デジタル式メーターのかたは62ページからお読みください。

■指針式メーター

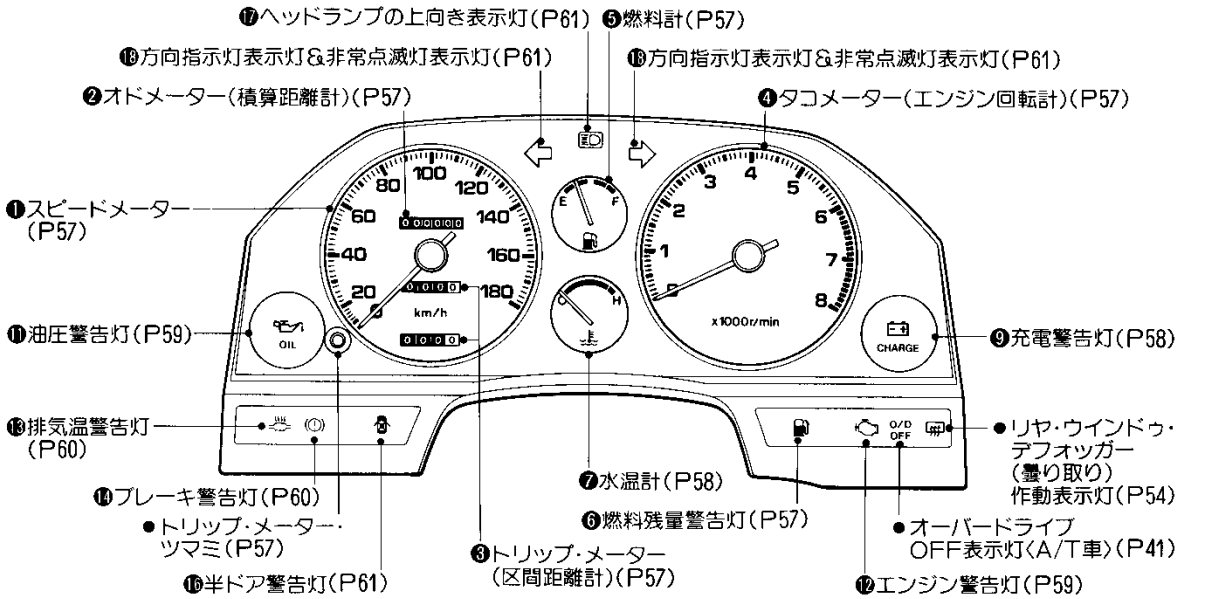
▶各部の名称と働き

GT-FOUR、GT-R、GT、SX

※1 SXは❹タコメーター(エンジン回転計)の表示が0～8000r/minになります。
※2 ECT-Sパターン表示灯はGT-R、GTのみ。
※3 ⓳ターボ作動表示灯、⓴デフ・ロック作動表示灯はGT-FOURのみ。



ST、SV　※ ❻燃料残量警告灯はSTのみ。



〔注〕A/T……オートマチック・トランスミッション　　( )内は説明ページを示します。

無断複製禁止

❶スピードメーター

車両の走行速度を示します。

1.約100km/hをこえると速度警報装置のチャイムが鳴り警告します。

2.チャイムが鳴っているとき指針がふれることがありますが異常ではありません。

❷オドメーター(積算距離計)

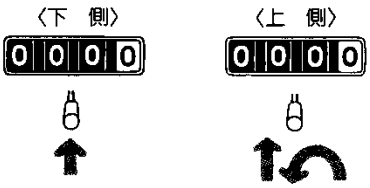
走行した総距離をkmの単位で表示します。

❸トリップ・メーター(区間距離計)

2つの異なる区間または期間に走行する距離を知りたいときに使用します。

1.kmの単位で表示します。黒文字は100mの単位です。

2.下側はツマミを押すと0にもどり、上側はツマミを左に回したまま押すと0にもどります。

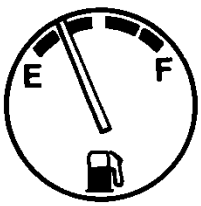


❹タコメーター(エンジン回転計)

毎分のエンジン回転数を示します。

指針が赤色表示部(エンジンの許容回転数をこえている)にはいらないように運転してください。

❺燃料計



燃料タンク内の燃料残量を示します。燃料タンク容量は60ℓです。

1.エンジン・スイッチに関係なく残量を示します。

2.駐車時など長時間エンジンを止めておくと指示が若干かわる場合もあります。

3.燃料補給後、エンジン・スイッチをONにしてから指示が安定するまで、少し時間がかかります。

注意!
1.Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。
2.高速道路や自動車専用道路での燃料ぎれは違反になります。
走行前に必ず燃料が十分あることを確認してください。

❻燃料残量警告灯 GT-FOUR、GT-R、GT、SX、ST



燃料の残量が少なくなったことを知らせます。

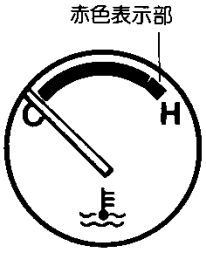
1.エンジン・スイッチがONのとき作動します。

2.約10ℓ以下になると点灯します。

注意!
燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

無断複製禁止

❼水温計

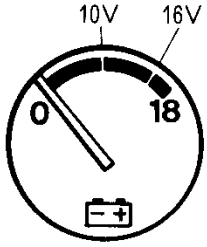


エンジン冷却水の温度を示します。
1.エンジン・スイッチがONのとき作動します。
2.通常は、Hの赤色表示部より左側を表示します。

注意！ 指針がHの赤色表示部にはいったときは、オーバーヒートのおそれがあります。ただちに車を安全な場所に止め、処置をしてください。

(111ページの「**オーバーヒートの処置**」を参照してください。)

❽電圧計 GT-R、GT、SX



エンジン回転中、バッテリーの充電状態を示します。
1.エンジン・スイッチをONにすると作動します。
2.通常は10～16Vを指示するのが正常です。
3.通常走行時16V以上または10V以下を指示するときは、バッテリーや充電系統の異常が考えられます。点検を受けてください。
4.エンジン始動時に、10V以下を指示することがありますが異常ではありません。

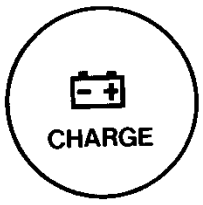
❾充電警告灯

GT-FOUR、GT-R、GT、SX



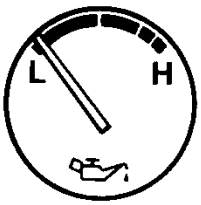
エンジン回転中、バッテリーの充電状態を示します。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン回転中、充電状態に異常があると点灯します。
3.エンジン回転中に点灯したときは、オールタネータ用ベルトの切れなどが考えられます。ただちに速度を落とし安全な場所へ停車して、トヨタ販売店へご連絡ください。

ST、SV



無断複製禁止

⑩油圧計 GT-FOUR、GT-R、GT、SX



エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力を示します。
1.エンジン・スイッチがONのときに作動します。
2.通常はL～Hの範囲を指示します。
3.エンジン回転を上げても作動しないときは、ただちに安全な場所へ停車しエンジンを止めてトヨタ販売店へご連絡ください。
4.作動しない状態のまま走行するとエンジンを破損するおそれがあります。

注意!
「油圧計」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ず運行前にオイル・レベル・ゲージにより行ってください。
(点検方法は「整備手帳」を参照してください。)

⑪油圧警告灯 ST、SV



エンジン回転中、エンジン内部を潤滑している油圧の状態を示します。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン・オイルの圧力に異常があるときに点灯します。
3.エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所へ停車しエンジンを止めてトヨタ販売店へご連絡ください。
4.点灯した状態のまま走行するとエンジンを破損するおそれがあります。

注意!
「油圧警告灯」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ず運行前にオイル・レベル・ゲージにより行ってください。
(点検方法は「整備手帳」を参照してください。)

⑫エンジン警告灯



エンジン回転中、エンジン電子制御システムの異常を知らせます。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。
3.ターボ車で点灯した場合、ターボ装置の不具合も考えられますのでエンジン回転を2000回転以下かつ70km/h以下で走行してください。

注意!
次のような場合はトヨタ販売店で必ず点検を受けてください。
1.エンジン・スイッチをONにしても点灯しないとき
2.エンジン回転中、点灯したままのとき

無断複製禁止

⓭排気温警告灯



触媒装置の状態を示します。

1.エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

2.触媒装置の温度が異常に高くなると点灯し警告します。

3.エンジン・スイッチをONにしても点灯しない場合は、点検を受けてください。

4.エンジン回転中、「充電警告灯」が点灯すると、「排気温警告灯」も同時に点灯します。
この場合、触媒の温度上昇を警告しているのではなく充電装置の異常を警告しています。


注意!

「排気温警告灯」が点灯した場合、必ず次の処置をしてください。

1.走行中の場合

- ●警告灯が点灯したときの半分程度に速度を落としてください。普通は数分内に消灯します。
- ●速度を落としても消灯しない場合は、枯れ草などの燃えやすいもののない場所に停車してください。
- ●警告灯が消灯すればもとのように走行できます。

2.停車中の場合

- ●停車しても消灯しない場合は、エンジンを止めてください。約10分間エンジンを止めた後、エンジンを始動して消灯していることを確認してください。

消灯しない場合または再び点灯する場合は、そのまま使用せず点検を受けてください。

⓮ブレーキ警告灯



ブレーキ装置の状態を示します。

1.エンジン・スイッチがONのとき次のような場合に点灯します。

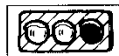
- ●パーキング(駐車)・ブレーキをかけたままのとき
  (ブレーキを解除すれば消灯します。)
- ●ブレーキ液の不足

2.停車時、エンジン回転中にパーキング(駐車)・ブレーキを解除しても点灯したままのときは、ブレーキ液の量を点検してください。(点検方法は**「整備手帳」**を参照してください。)

3.ブレーキ液が適量はいっているのに点灯する場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

4.万一、走行中に点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがありますので、ブレーキ・ペダルを踏み、効きが悪いときはブレーキ・ペダルを強く踏んでください。

5.フロント・ブレーキおよびGT-FOUR、GT-R、GTのリヤ・ブレーキにはパッド摩耗警告装置がついており、走行中ブレーキ・ペダルを踏んだときに異音(キーキー音)が発生した場合は、ブレーキ(ブレーキ・パッド)の摩耗が考えられますのでお近くのトヨタ販売店へご連絡ください。


注意!

走行前に、必ず消灯していることを確認してください。

無断複製禁止

⑮断線警告灯 GT-FOUR、GT-R、GT、SX



尾灯、駐車灯および制動灯の電球切れ、配線の異常を知らせます。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン回転中に、ライト・スイッチをONにしたときおよびブレーキ・ペダルを踏んだとき、各ランプの電球切れ、配線に異常があると点灯します。

⑯半ドア警告灯



ドアが確実に閉められていないときに点灯します。

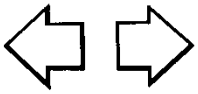
注意！ 警告灯が点灯したまま走行しないでください。

⑰ヘッドランプの上向き表示灯



点灯しているときは、ヘッドランプが上向きになっていることを知らせます。
ライト・スイッチでヘッドランプを上向きにすると点灯します。

⑱方向指示灯表示灯&非常点滅灯表示灯



▶方向指示灯表示灯

方向指示灯が点滅していることを示します。
エンジン・スイッチがONのとき方向指示レバーを操作すると点滅します。

注意！ 点滅が異常に速くなるときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。

▶非常点滅灯表示灯

非常点滅灯が点滅していることを示します。
非常点滅灯スイッチを作動させると、両方の方向指示灯表示灯が同時に点滅します。

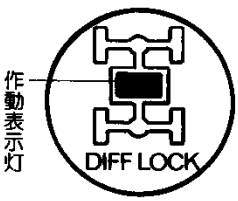
⑲ターボ作動表示灯 GT-FOUR



走行中、ターボが作動していることを示します。
ターボが作動し過給圧があがると作動表示灯が点灯します。

注意！ エンジン警告灯が点灯したままのときは、ターボ装置の不具合も考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

⑳デフ・ロック作動表示灯 GT-FOUR



デフ・ロック機構がロック状態にあることを示します。
エンジン回転中、デフ・ロック・スイッチをONの位置に回すと点灯し、OFFにもどすと消灯します。

注意！ 走行前に、作動表示灯が消灯していることを必ず確認してください。

無断複製禁止

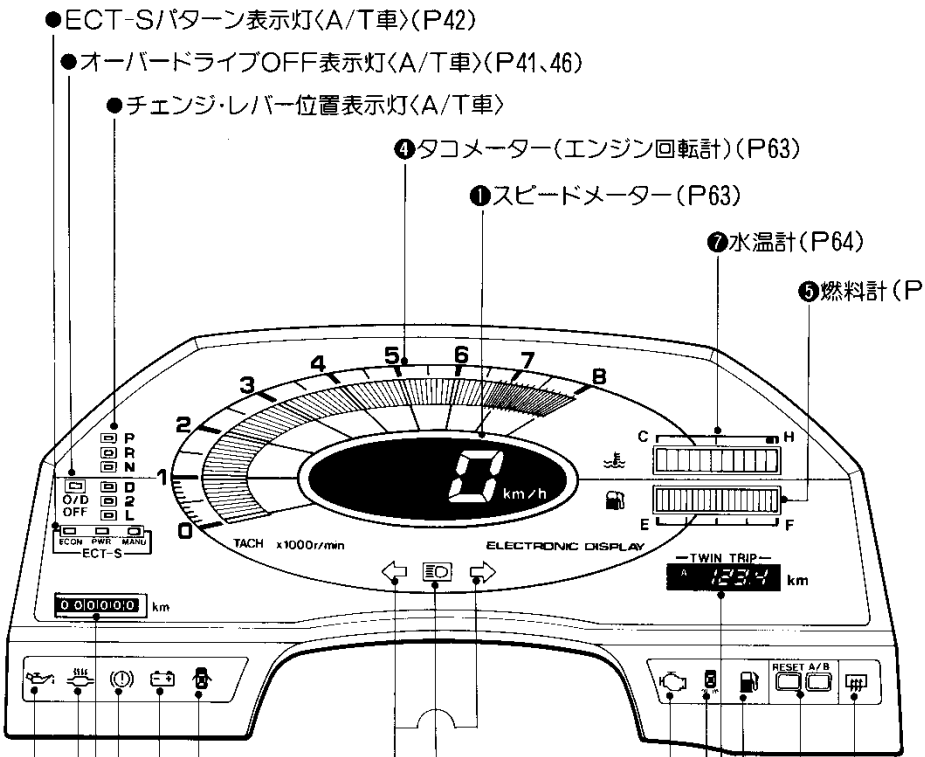
デジタル式メーター

■液晶デジタル式メーター(デジタル式メーター)

GT-R、SXに注文装備

▶各部の名称と働き

※ECT-Sパターン表示灯、チェンジ・レバー位置表示灯はGT-Rのみ。



●ECT-Sパターン表示灯〈A/T車〉(P42)
●オーバードライブOFF表示灯〈A/T車〉(P41、46)
●チェンジ・レバー位置表示灯〈A/T車〉
❹タコメーター(エンジン回転計)(P63)
❶スピードメーター(P63)
❼水温計(P64)
❺燃料計(P63)
●リヤ・ウインドゥ・デフォッガー(曇り取り)作動表示灯(P54)
●トリップ・メーター・ボタン(P63)
❻燃料残量警告灯(P63)
❸トリップ・メーター(区間距離計)(P63)
⓭断線警告灯(P66)
❿エンジン警告灯(P64)
⓯ヘッドランプの上向き表示灯(P66)
⓰方向指示灯表示灯&非常点滅灯表示灯(P66)
⓮半ドア警告灯(P66)
❽充電警告灯(P64)
⓬ブレーキ警告灯(P65)
❷オドメーター(積算距離計)(P63)
⓫排気温警告灯(P65)
❾油圧警告灯(P64)

〔注〕A/T……オートマチック・トランスミッション　　( )内は説明ページを示します。

無断複製禁止

❶スピードメーター

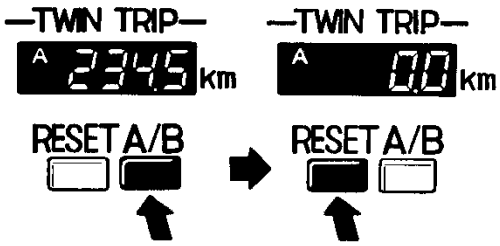
車両の走行速度を示します。
105km/h以上になるとチャイムが鳴り警告します。

❷オドメーター(積算距離計)

走行した総距離をkmの単位で表示します。

❸トリップ・メーター(区間距離計)

2つの異なる区間または期間に走行する距離を知りたいときに使用します。
1.kmの単位で表示します。
2.A/B切り替えボタンを押すごとにAまたはBに切り替わり、計器内右下に走行距離が表示されます。
3.Aを0にもどしたいときは、A/B切り替えボタンを押してAと走行距離を表示させたあとRESETボタンを約1秒間押します。
Bの場合も同様に、A/B切り替えボタンを押してBと走行距離を表示させたあとRESETボタンを約1秒間押します。

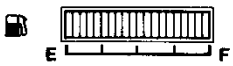



ちょっと一言
バッテリーをはずしたときは必ず区間距離計を0にしてください。0にしないと正しい表示をしない場合があります。

❹タコメーター(エンジン回転計)

毎分のエンジン回転数を示します。
赤色表示(エンジンの許容回転数をこえている)にはいらないように運転してください。

❺燃料計



燃料タンク内の燃料残量を示します。燃料タンク容量は60ℓです。
エンジン・スイッチをONにすると約1秒後に残量を表示します。


注意!
1.Eに近づいたら早めに燃料を補給してください。
2.高速道路や自動車専用道路での燃料ぎれは違反になります。
走行前に必ず燃料が十分あることを確認してください。

❻燃料残量警告灯



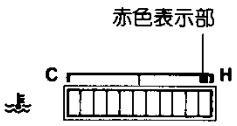
燃料の残量が少なくなったことを知らせます。
1.エンジン・スイッチがONのとき作動します。
2.約10ℓ以下になると点灯します。


注意!
燃料残量警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

無断複製禁止

デジタル式メーター

❼水温計



エンジン冷却水の温度を示します。
1.エンジン・スイッチをONにすると約1秒後に表示します。
2.通常は、Hの赤色表示部より左側を表示します。

注意！ 表示部の一番右の部分が点滅したときはオーバーヒートです。ただちに車を安全な場所に止め、処置してください。

(111ページの「**オーバーヒートの処置**」を参照してください。)

❽充電警告灯



エンジン回転中、バッテリーの充電状態を示します。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン回転中、充電状態に異常があると点灯します。
3.エンジン回転中に点灯したときは、オールタネータ用ベルトの切れなどが考えられます。ただちに速度を落とし安全な場所へ停車して、トヨタ販売店へご連絡ください。

❾油圧警告灯



エンジン回転中、エンジン内部を潤滑している油圧の状態を示します。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン・オイルの圧力に異常があるときに点灯します。
3.エンジン回転中に点灯したときは、ただちに安全な場所へ停車しエンジンを止めてトヨタ販売店へご連絡ください。
4.点灯した状態のまま走行するとエンジンを破損するおそれがあります。

注意！ 「油圧警告灯」はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ず運行前にオイル・レベル・ゲージにより行ってください。
(点検方法は「**整備手帳**」を参照してください。)

❿エンジン警告灯



エンジン回転中、エンジン電子制御システムの異常を知らせます。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン回転中、エンジン電子制御システムに異常があると点灯します。

注意！ 次のような場合はトヨタ販売店で必ず点検を受けてください。
1.エンジン・スイッチをONにしても点灯しないとき
2.エンジン回転中、点灯したままのとき

無断複製禁止

⑪排気温警告灯



触媒装置の状態を示します。

1.エンジン・スイッチをONにすると点灯し、始動すると消灯します。

2.触媒装置の温度が異常に高くなると点灯し警告します。

3.エンジン・スイッチをONにしても点灯しない場合は、点検を受けてください。

4.エンジン回転中、「充電警告灯」が点灯すると、「排気温警告灯」も同時に点灯します。
この場合、触媒の温度上昇を警告しているのではなく充電装置の異常を警告しています。


注意!

「排気温警告灯」が点灯した場合、必ず次の処置をしてください。

1.走行中の場合

- 警告灯が点灯したときの半分程度に速度を落としてください。普通は数分内に消灯します。
- 速度を落としても消灯しない場合は、枯れ草などの燃えやすいもののない場所に停車してください。
- 警告灯が消灯すればもとのように走行できます。

2.停車中の場合

- 停車しても消灯しない場合は、エンジンを止めてください。約10分間エンジンを止めた後、エンジンを始動して消灯していることを確認してください。

消灯しない場合または再び点灯する場合は、そのまま使用せず点検を受けてください。

⑫ブレーキ警告灯



ブレーキ装置の状態を示します。

1.エンジン・スイッチがONのとき次のような場合に点灯します。

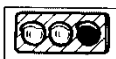
- パーキング(駐車)・ブレーキをかけたままのとき
  (ブレーキを解除すれば消灯します。)
- ブレーキ液の不足

2.停車時、エンジン回転中にパーキング(駐車)・ブレーキを解除しても点灯したままのときは、ブレーキ液の量を点検してください。(点検方法は「**整備手帳**」を参照してください。)

3.ブレーキ液が適量はいっているのに点灯する場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

4.万一、走行中に点灯したときは、すみやかに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へご連絡ください。この場合ブレーキの効きが悪くなっているおそれがありますので、ブレーキ・ペダルを踏み、効きが悪いときはブレーキ・ペダルを強く踏んでください。

5.フロント・ブレーキおよびGT-Rのリヤ・ブレーキにはパッド摩耗警告装置がついており、走行中ブレーキ・ペダルを踏んだときに異音(キーキー音)が発生した場合は、ブレーキ(ブレーキ・パッド)の摩耗が考えられますのでお近くのトヨタ販売店へご連絡ください。


注意!

走行前に、必ず消灯していることを確認してください。

無断複製禁止

⑬断線警告灯



尾灯、駐車灯および制動灯の電球切れ、配線の異常を知らせます。
1.正常なときは、エンジン・スイッチをＯＮにすると点灯し、始動すると消灯します。
2.エンジン回転中に、ライト・スイッチをＯＮにしたときおよびブレーキ・ペダルを踏んだとき、各ランプの電球切れ、配線に異常があると点灯します。

⑭半ドア警告灯



ドアが確実に閉められていないときに点灯します。



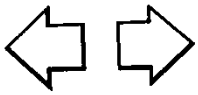
警告灯が点灯したまま走行しないでください。

⑮ヘッドランプの上向き表示灯



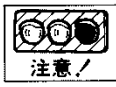
点灯しているときは、ヘッドランプが上向きになっていることを知らせます。
ライト・スイッチでヘッドランプを上向きにすると点灯します。

⑯方向指示灯表示灯&非常点滅灯表示灯



▶方向指示灯表示灯

方向指示灯が点滅していることを示します。
エンジン・スイッチがＯＮのとき方向指示レバーを操作すると点滅します。



点滅が異常に速くなるときは、方向指示灯の電球切れが考えられます。

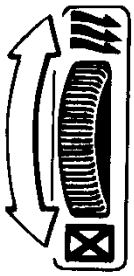
▶非常点滅灯表示灯

非常点滅灯が点滅していることを示します。
非常点滅灯スイッチを作動させると、両方の方向指示灯表示灯が同時に点滅します。

無断複製禁止

ヒーターの使い方

■吹き出し口



▶フレッシュ・フィーリング・ヒーター・システム（独立冷風吹き出し）について

室内暖房および曇り取り時の温風による頭部の不快感を解消するため、中央吹き出し口から冷風を出せるようにしたものです。

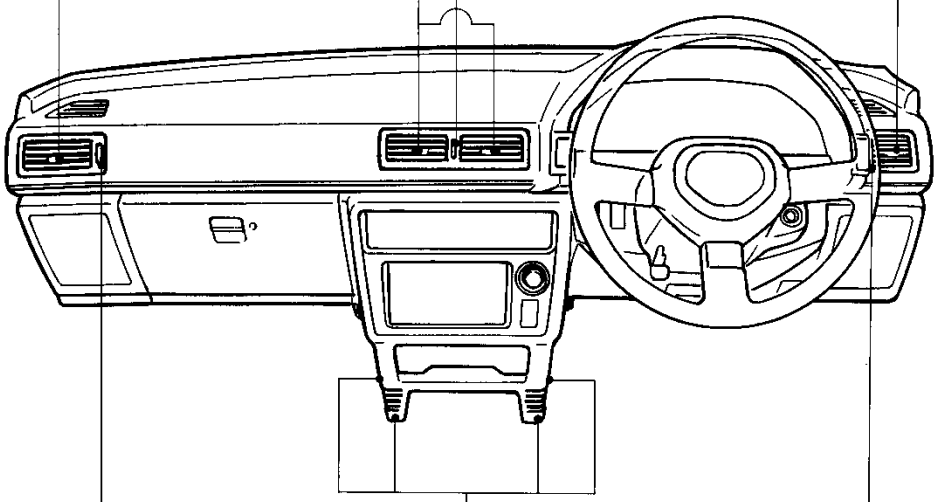
1.中央吹き出し口切り替えダイヤルを≋側に回すと、温度調整レバーの位置に関係なく冷風が出ます。

2.不要な場合は、ダイヤルを⊠側に回しておいてください。

▶左側
ツマミを動かして風向きを調整します。

▶中央
ツマミを動かして風向きを調整します。

▶右側
ツマミを動かして風向きを調整します。



▶開閉ダイヤル
左側吹き出し口からの送風が不要な場合はダイヤルを⊠の位置にします。

▶足元および後席
暖房時に温風が出ます。

▶切り替えレバー

≋……走行中に外気が直接導入できます。

≋……外気の直接導入が不要の場合。

⊠……外気の直接導入および送風が不要の場合。

注意！ 冷・暖房中は≋の位置で使用してください。≋の位置にすると冷・暖房効果が低下します。

エア・コンディショナーの取り扱い方法は別冊の取扱書をご覧ください。

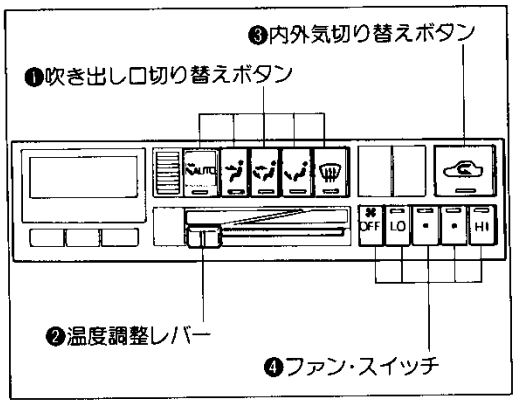
GT-FOUR、GT-R はプッシュ式ヒーターです。このまま続けてお読みください。

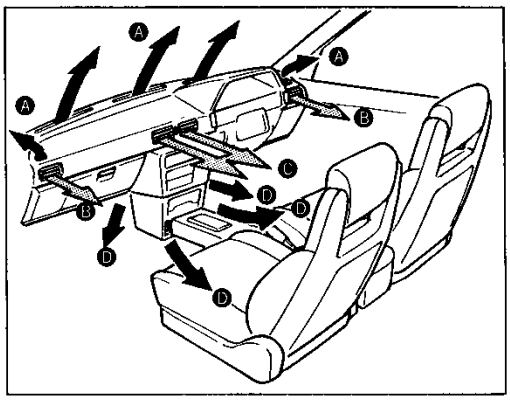
GT、SX、ST、SV はレバー式ヒーターです。71ページからお読みください。

無断複製禁止

プッシュ式ヒーター

GT-FOUR、GT-R



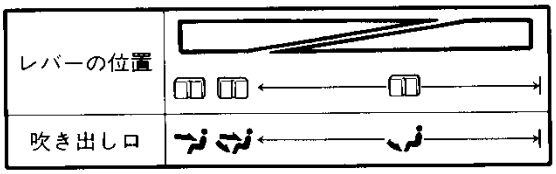


■吹き出し口切り替えボタン❶

●AUTO……温度調整レバーと連動して吹き出し口が、、に自動的に切り替わります。



〈温度調整レバーと吹き出し口の関係〉



●換気……上半身、顔面に温風、冷風を送ります。
吹き出し口→ⒷⒸ



●頭寒足熱……頭寒足熱のここちよい暖房を行います。
吹き出し口→ⒷⒸⒹ



●暖房……室内暖房(最大暖房)
吹き出し口→ⒷⒹ(Ⓐから少々)



●曇り取り……フロント・ガラスおよびドア・ガラスの曇りを取ります。
吹き出し口→ⒶⒷ



■温度調整レバー❷

低温から高温まで無段階に温度を調整できます。

■内外気切り替えボタン❸

ボタンを押すと作動表示灯が点灯し、内気循環になります。もう一度押すと作動表示灯が消灯し、外気導入に切り替わります。

●内気循環……内気循環式。急速に車内を暖めるとき、または外気がよごれているときなど一時的に使用します。





長時間使用するとガラスが曇りやすくなるため通常は外気導入を使用してください。

●外気導入……外気導入式に切り替わります。





❶のボタンがまたはのとき❸のボタンを内気循環にしないでください。ガラスが曇りやすくなり危険です。

■ファン・スイッチ❹

風量を4段階に調整できます。

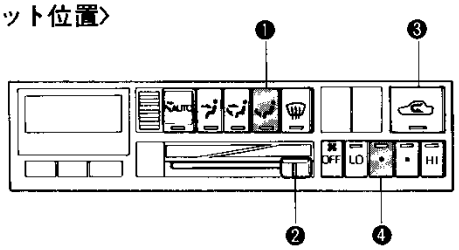


❶のボタンをの位置にすると温風がフロント・シート下を通って後席の足元全体も快適にしますのでフロント・シート下に温風を防ぐような物は置かないでください。

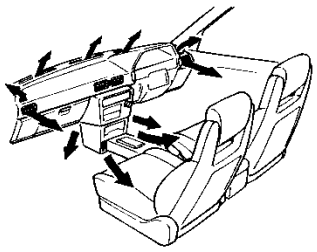
無断複製禁止

▶通常の暖房

〈セット位置〉



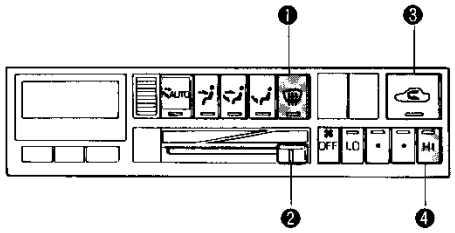
〈吹き出し口〉



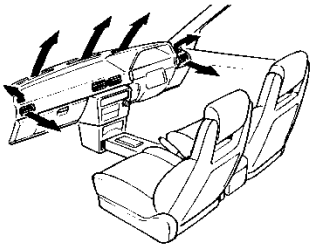
1.❶のボタンを押して にします。
2.暖かくなってきたら❹のスイッチをLO側へ、また❷のレバーを 側へ移動させてお好みにあった状態に調整します。
3.トンネル内、渋滞などで外気がよごれている場合以外❸のボタンは外気導入で使用します。内気循環で使用するとガラスが曇りやすくなります。

▶ガラスの曇りを取るとき

〈セット位置〉



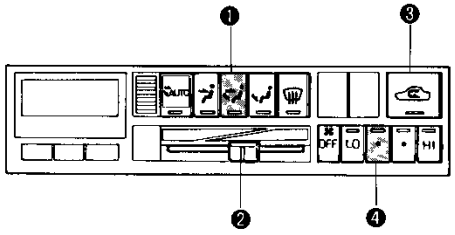
〈吹き出し口〉



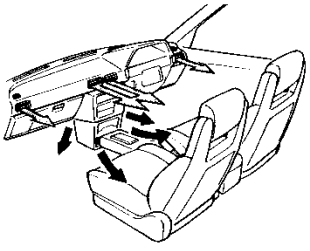
1.❶のボタンを押して にすれば曇りが取れます。
2.曇りが取れたら❶のボタンを押して にします。
3.夏期の曇り止めには、❷のレバーを適度に調整します。
4.❸のボタンは外気導入で使用します。

▶頭寒足熱型にしたいとき

〈セット位置〉



〈吹き出し口〉



1.❶のボタンを押して に、❷のレバーを の中間の位置で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。
2.❸のボタンは外気導入で使用します。

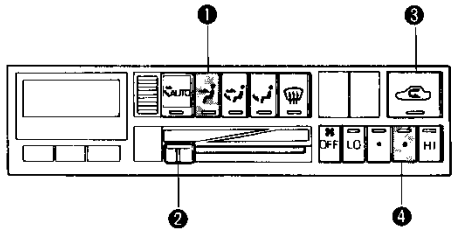
無断複製禁止

⑦⓪ ヒーターの使い方

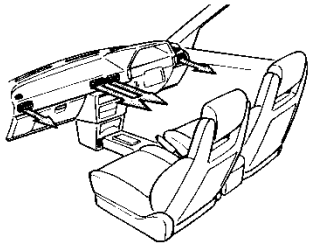
プッシュ式ヒーター

▶換気したいとき(強制換気)

〈セット位置〉



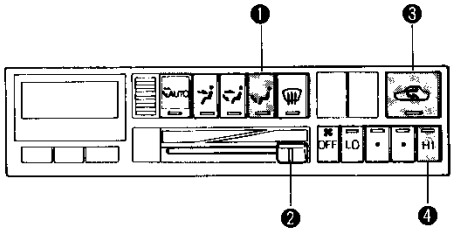
〈吹き出し口〉



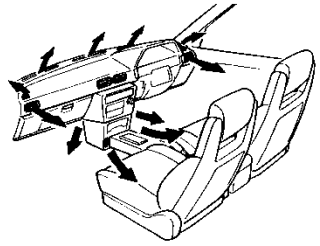
1.❶のボタンを押して にします。
2.外のさわやかな風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。
3.❷のレバーを 側へ動かすことにより吹き出し温度を暖かくすることができます。

▶早く暖房したいとき

〈セット位置〉



〈吹き出し口〉

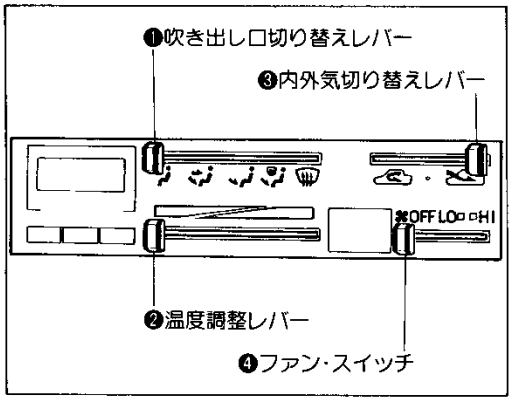


1.❶のボタンを押して にします。
2.早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的に❸のボタンを内気循環にして使用します。
3.通常は❸のボタンを外気導入にして使用します。

無断複製禁止

レバー式ヒーター

GT、SX、ST、SV



■吹き出し口切り替えレバー❶

●換気……上半身、顔面に温風、冷風を送ります。
吹き出し口→ⒷⒸ

●頭寒足熱……頭寒足熱のここちよい暖房を行います。
吹き出し口→ⒷⒸⒹ

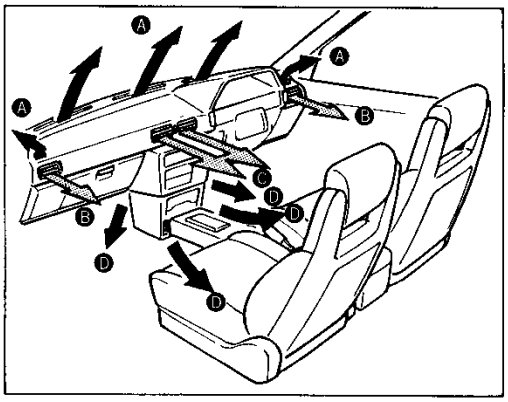
●暖房……室内暖房(最大暖房)
吹き出し口→ⒷⒹ(Ⓐから少々)

●暖房および曇り取り……室内暖房と同時に曇り取りが行えます。
吹き出し口→ⒶⒷⒹ

●曇り取り……フロント・ガラスおよびドア・ガラスの曇りを取ります。
吹き出し口→ⒶⒷ

■温度調整レバー❷

低温から高温まで無段階に温度を調整できます。



■内外気切り替えレバー❸

●内気循環……内気循環式。急速に車内を暖めるとき、または外気がよごれているときなど一時的に使用します。

●内外気混合……急速に車内を暖めながら、換気もしたいときに使用します。

ちょっと一言
1.長時間使用するとガラスが曇りやすくなるため通常は外気導入を使用してください。
2.高速走行するとき、またはファン・スイッチがOFFのときはこの位置での使用をさけてください。

●外気導入……外気導入式に切り替わります。

注意!
❶のレバーが または、 のとき❸のレバーを または にしないでください。ガラスが曇りやすくなり危険です。

■ファン・スイッチ❹

風量を4段階に調整できます。

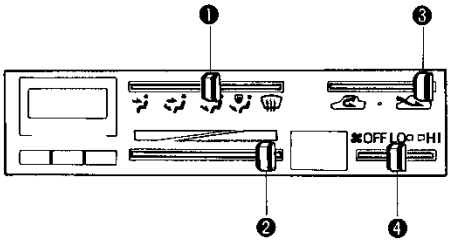
ちょっと一言
❶のレバーを の位置にすると温風がフロント・シート下を通って後席の足元全体も快適にしますのでフロント・シート下に温風を防ぐような物は置かないでください。

無断複製禁止

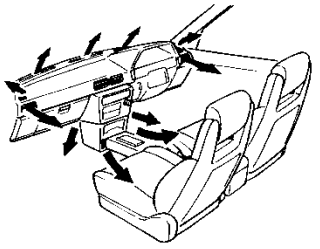
レバー式ヒーター

▶通常の暖房

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉

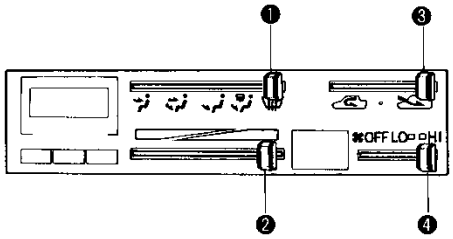


1.暖かくなってきたら❹のスイッチをLO側へ、また❷のレバーを 側へ移動させてお好みにあった状態に調整します。

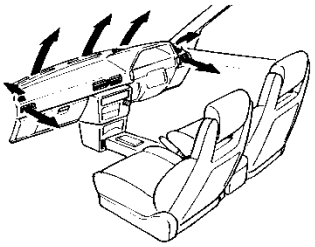
2.トンネル内、渋滞などで外気がよごれている場合以外❸のレバーは の位置で使用します。 で使用するとガラスが曇りやすくなります。

▶ガラスの曇りを取るとき

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉



1.❶のレバーを の位置にすれば曇りを取るのと同時に足元も暖められます。

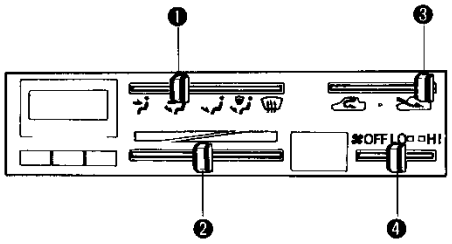
2.曇りが取れたら❶のレバーを 側へ動かします。

3.夏期の曇り止めには、❷のレバーを適度に調整します。

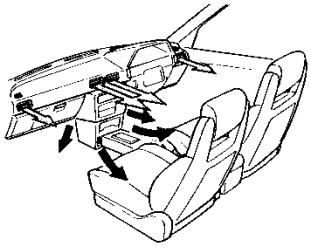
4.❸のレバーは で使用します。

▶頭寒足熱型にしたいとき

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉



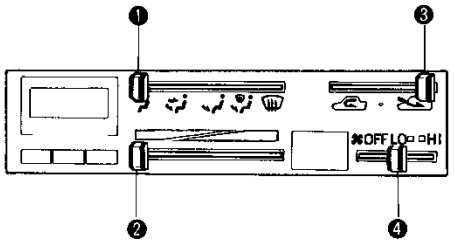
1.❶のレバーを に、❷のレバーを の中間の位置で使用すれば、暖められた風が足元から、比較的温度の低い風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。

2.❸のレバーは で使用します。

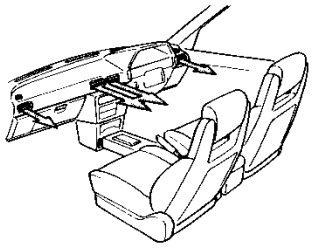
無断複製禁止

▶換気したいとき(強制換気)

〈レバーのセット位置〉



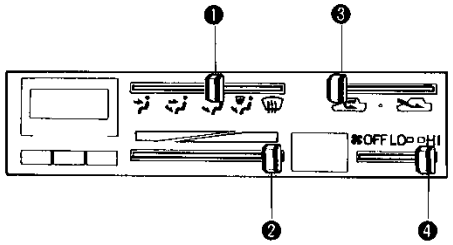
〈吹き出し口〉



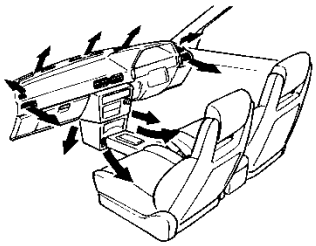
1.外のさわやかな風が中央および左右吹き出し口から吹き出します。
2.❷のレバーを ◿ 側へ動かすことにより吹き出し温度を暖かくすることができます。

▶早く暖房したいとき

〈レバーのセット位置〉



〈吹き出し口〉

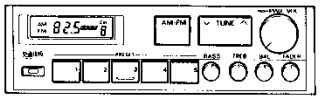


1.早く暖房したい場合や、外気がよごれている場合に、一時的に❸のレバーを ◿ または ■ の位置で使用します。
2.通常は❸のレバーを ◿ で使用します。

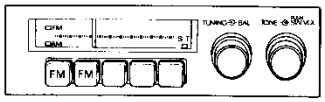
無断複製禁止

ラジオ、ステレオの使い方

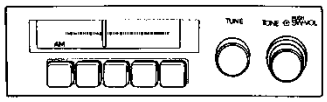
アンテナ……74
ラジオ、ステレオ……74
AM／FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー……75



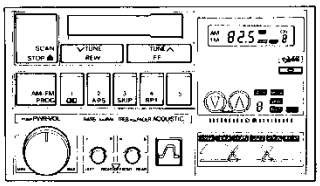
AM／FMマルチ・ラジオ&2スピーカー……80



AMラジオ……80



カセット一体AM／FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー（サウンド・フレーバー・システム）……82



カー・オーディオの上手な使い方……92

カセット・ステレオを注文装備されたかたは別冊の取扱書をご覧ください。

アンテナ

アンテナは、リヤ・ウインドウ・ガラスに埋め込まれています。


ちょっと一言

アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は、湿った布で熱線にそって軽くふいてください。ガラス・クリーナーなどは、アンテナをいためますので使用しないでください。

ラジオ、ステレオ


ちょっと一言

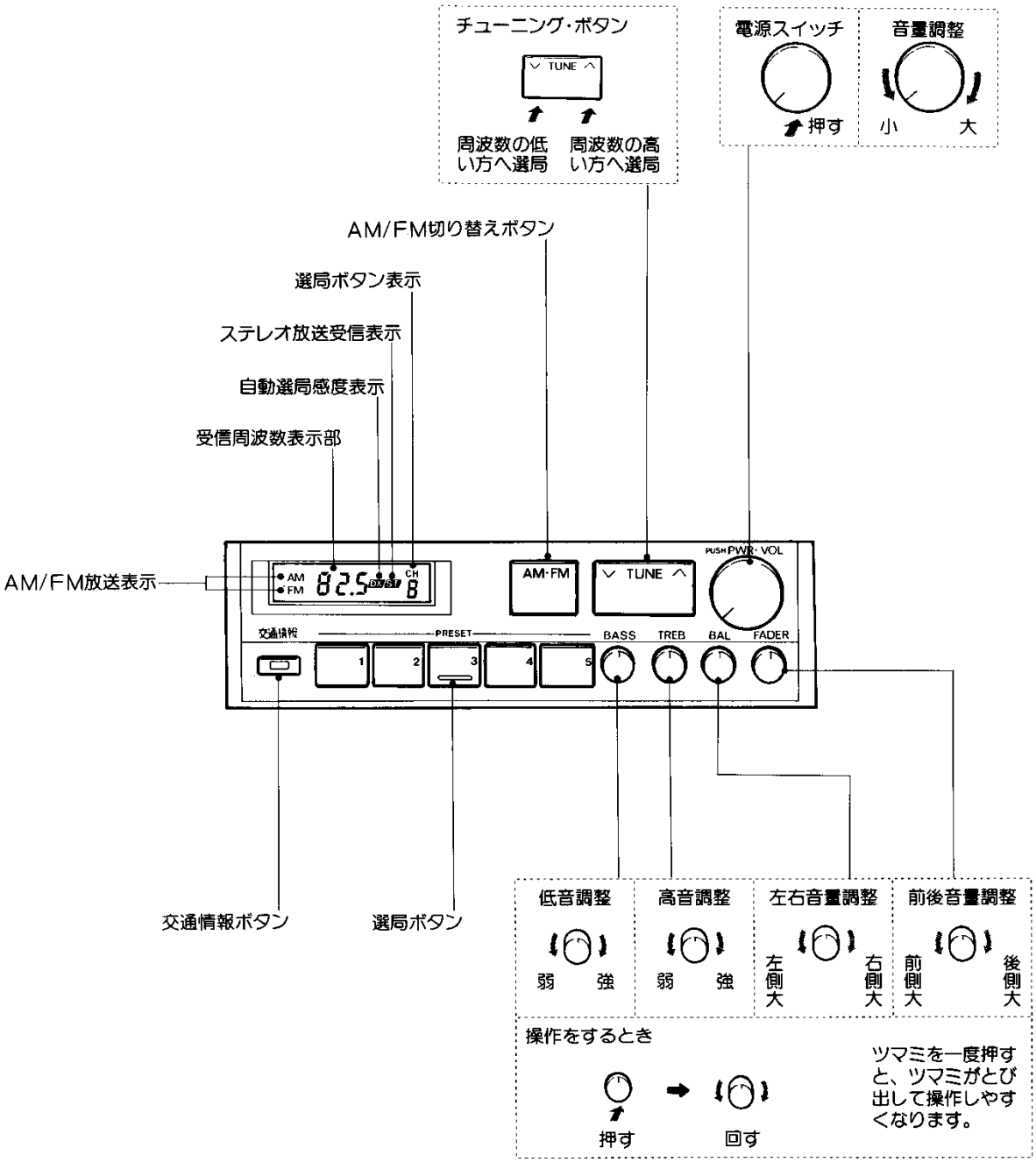
1. エンジン停止時はラジオ、カセット・ステレオを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
2. 安全運転をさまたげないように、適度な音量でお聞きください。

無断複製禁止

AM/FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー

GT-R、SXに標準装備　GT、STに注文装備

▶各部の名称



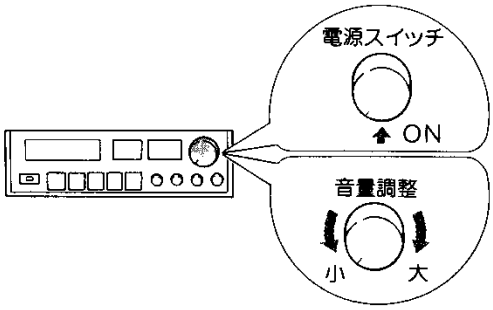
無断複製禁止

ラジオ放送を聞くには

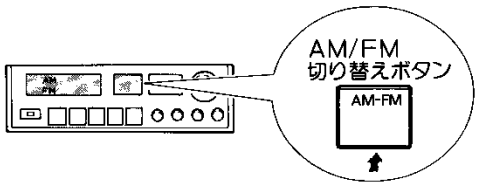
1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



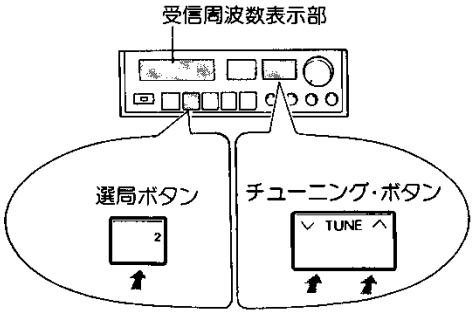
2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。
音量調整ツマミを回して音量を調整します。



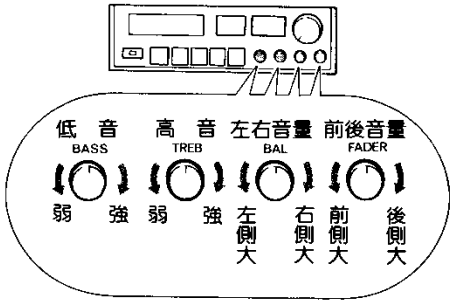
3 AM/FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



4 チューニング・ボタンまたは選局ボタンを押して希望の局を選びます。(次ページの**〈選局のしかた〉**または78ページの**〈選局ボタンのセット〉**を参照してください。)



5 次の調整ツマミについてはお好みに応じて調整してください。



無断複製禁止

選局のしかた

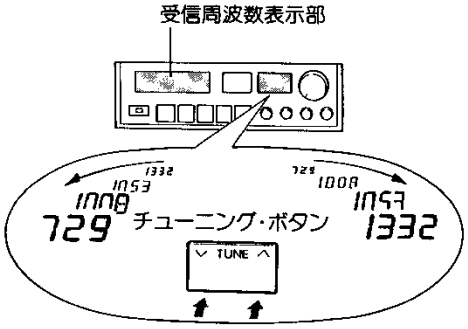
チューニング・ボタンを軽く押すと手動選局として、ピッという音がするまで押し続けると自動選局として使うことができます。

〈手動選局のしかた〉

1 チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせます。

1回押すごとに段階的に周波数がかわります。

- 周波数の高い方へ選局するときは∧側
- 周波数の低い方へ選局するときは∨側

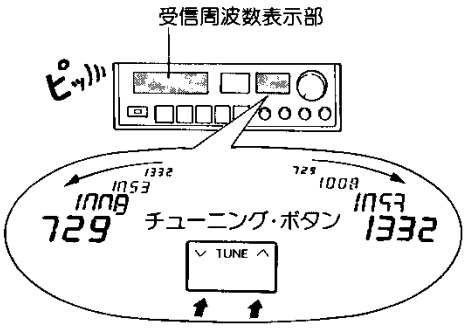


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。

〈自動選局のしかた〉

1 チューニング・ボタンをピッという音がするまで押し続け手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。

- 周波数の高い方へ選局するときは∧側
- 周波数の低い方へ選局するときは∨側

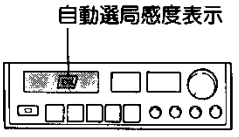


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。



自動選局を解除したいときは、チューニング・ボタンをもう一度押すと解除できます。

2 ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しなかったときは、最初の周波数にもどったあと、自動選局感度表示が点灯し、選局しやすくなります。





放送を受信したら約15秒後に自動選局感度表示は消灯します。

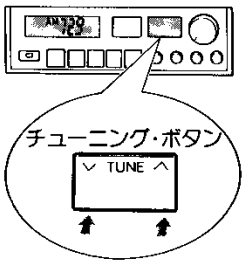
自動選局感度表示が点灯しても選局しないときは、チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせてください。

無断複製禁止

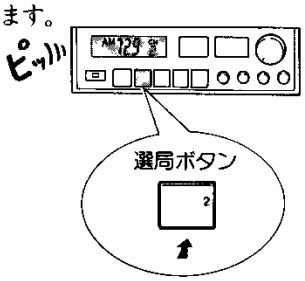
AM/FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー

選局ボタンのセット

1 チューニング・ボタンで記憶させたい放送局の周波数にあわせます。



2 選局ボタンのうちいずれか1つをピッという音がするまで押すとそのボタンに放送局が記憶されます。





選局ボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

3 あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にセットしておくことができます。

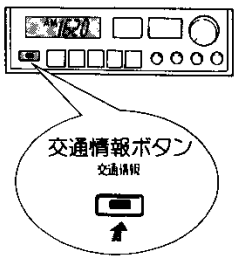


車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

交通情報ボタンについて

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

1 交通情報ボタンを押すとあらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。(次ページの〈**交通情報ボタンのセット**〉を参照してください。)



2 もう一度押すと解除されます。

〔**参考**〕

道路名	地域	周波数	
国道17号	三国峠	上り線	522KHz
		下り線	1611KHz
東名高速	多摩川区間 港北区間	1620KHz	
阪神高速	森の宮～高井田間 長田出口	1620KHz	

※新車時は1620KHzにセットしてあります。

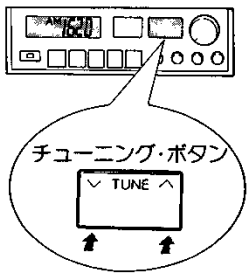


1.交通情報ボタンはAM専用の選局ボタンとしても使用できます。
2.放送受信中の場合、チューニング・ボタン、選局ボタン、AM/FM切り替えボタンを押しても作動しません。

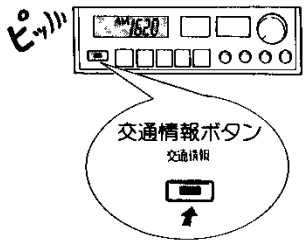
無断複製禁止

交通情報ボタンのセット

1 チューニング・ボタンで記憶させたい交通情報局を受信します。



2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けると記憶されます。




ちょっと一言

1. FM放送電波を記憶させることはできません。
2. 車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、周波数は1620KHzにセットされます。

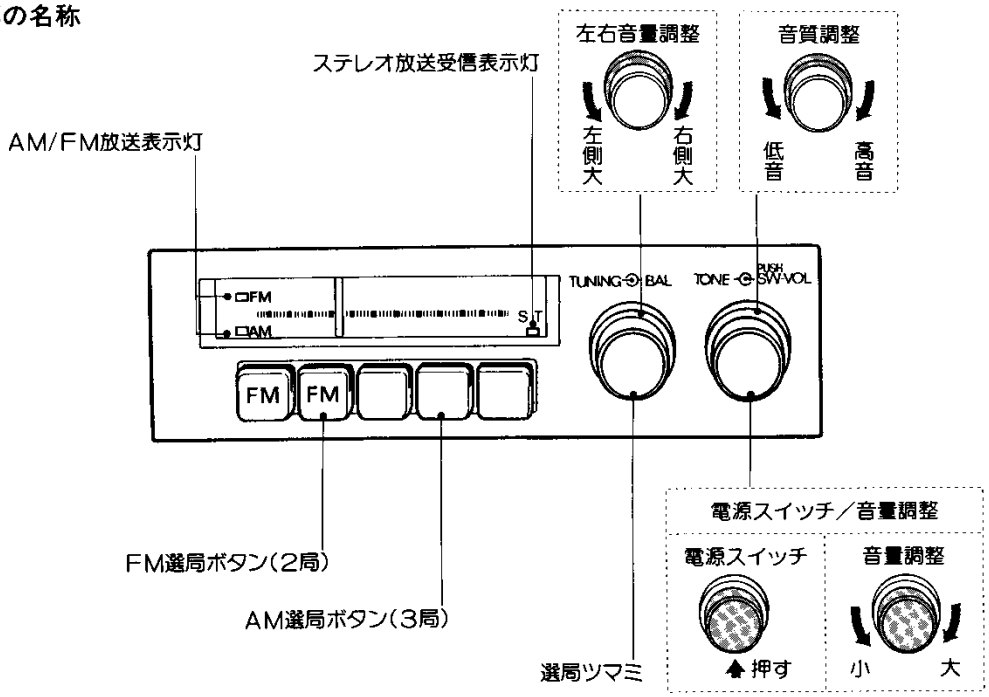
無断複製禁止

AM/FMマルチ・ラジオ&2スピーカー／AMラジオ

AM/FMマルチ・ラジオ&2スピーカー

GT、ST

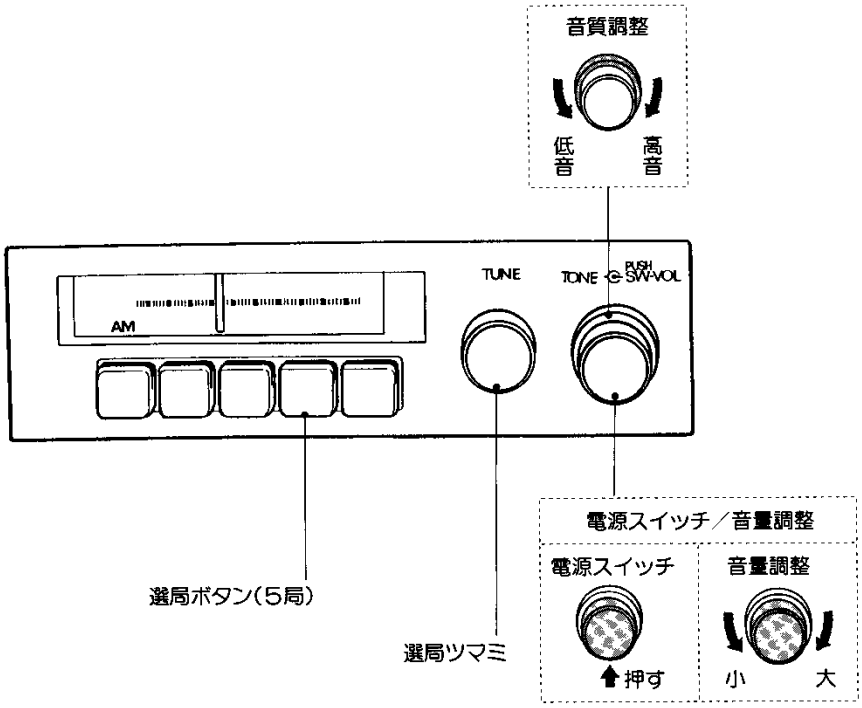
▶各部の名称



AMラジオ

SVに注文装備

▶各部の名称



ラジオ、ステレオの使い方

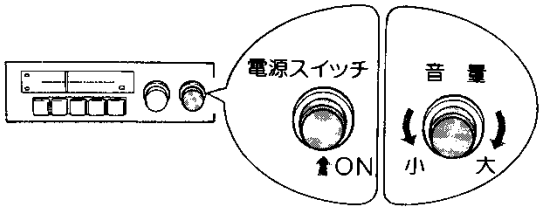
無断複製禁止

ラジオ放送を聞くには

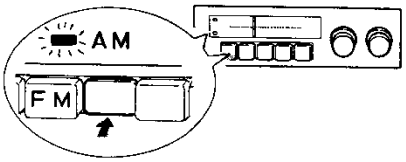
1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



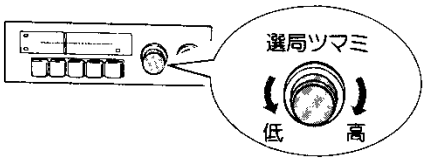
2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。
音量調整ツマミを回して音量を調整します。



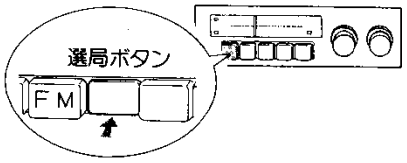
3 AMまたはFM選局ボタンを押して、AMまたはFM放送に切り替えます。



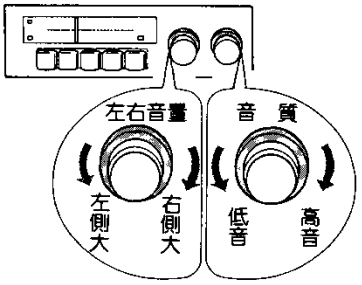
4 選局ツマミを回して希望の局を選びます。



選局ボタンをあらかじめセットしておけば、ボタンを押すだけで希望の局がワンタッチで選局できます。次の**〈選局ボタンのセット〉**を参照してください。

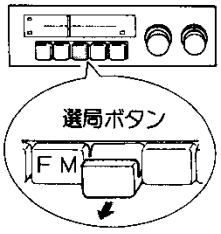


5 次の調整ツマミについては、お好みに応じて調整してください。

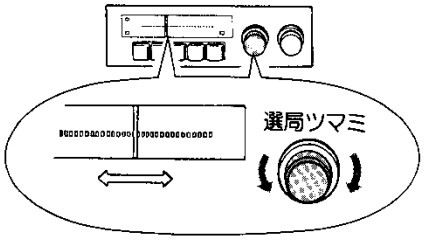


選局ボタンのセット

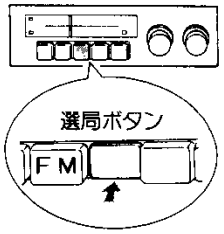
1 選局ボタンの1つを、いっぱいに引き出します。



2 選局ツマミで、選局指針を希望の局にあわせます。



3 引き出した選局ボタンをいっぱいに押し込みます。

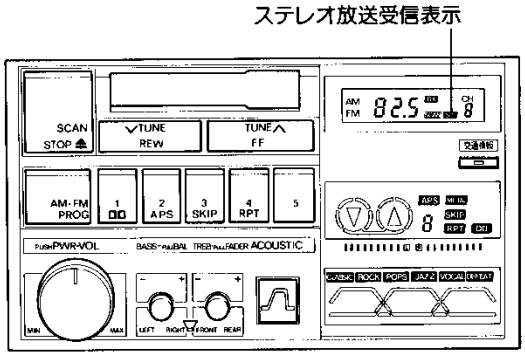


以上の操作により、選局指針がどの位置にあっても、選局ボタンを押せば、あらかじめセットした局を受信します。他の選局ボタンも同じ要領でそれぞれの局にセットできます。

無断複製禁止

カセット一体AM/FMマルチ電子チューナー付きラジオ&4スピーカー(サウンド・フレーバー・システム)

GT-FOURに標準装備 | GT-R、SXに注文装備

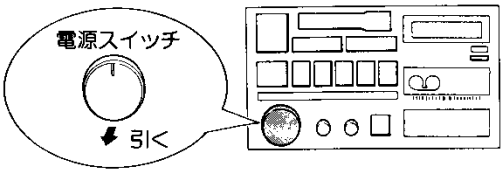


このシステムを十分活用していただくため下記手順でまとめてあります。

▶音量調整のしかた……82
▶音質調整のしかた……83
▶ラジオ放送を聞くには……84
▶選局のしかた(チューニング・ボタンで)……85
▶選局のしかた(スキャン・ボタンで)……86
▶選局ボタンのセット……86
▶交通情報ボタンについて……87
▶交通情報ボタンのセット……87
▶テープを聞くには……88
▶早送り、巻きもどしをするには……89
▶テープを取り出すには……89
▶自動選曲のしかた……90
▶同じ曲を繰り返して聞きたいときは……91
▶無音部分をとばして聞きたいときは……91

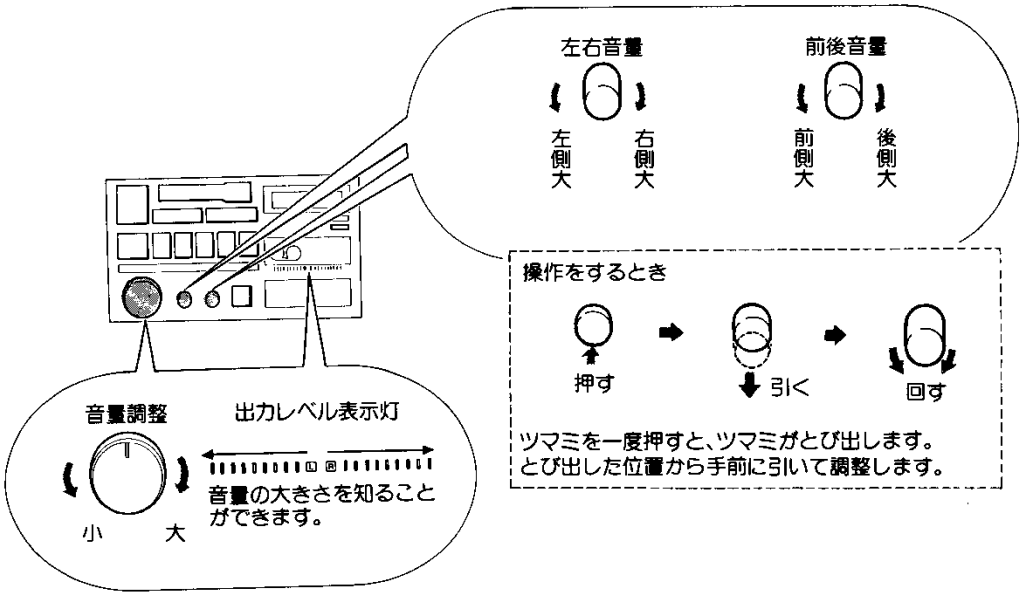
▶文字照明

1.電源スイッチを押すと同時に文字照明が点灯します。
2.文字照明が不要の場合、電源スイッチを手前に引くと消灯します。



音量調整のしかた

音量調整は次のツマミでお好みに応じて調整してください。

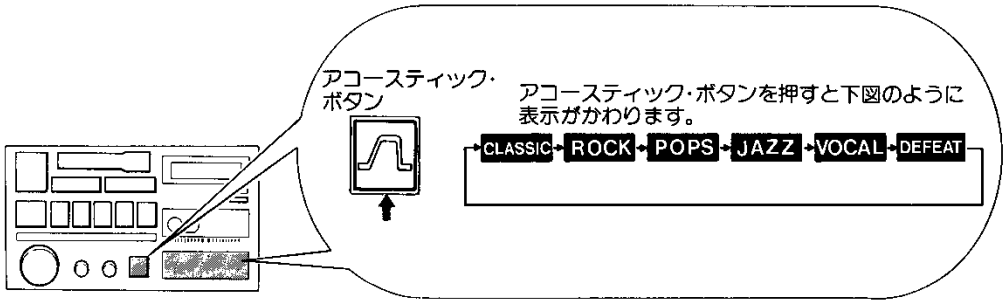


無断複製禁止

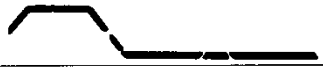
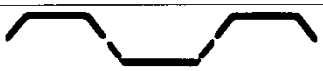
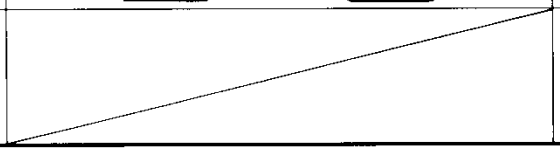
音質調整のしかた

▶サウンド・フレーバー

アコースティック・ボタンでお好みの音質が選べます。

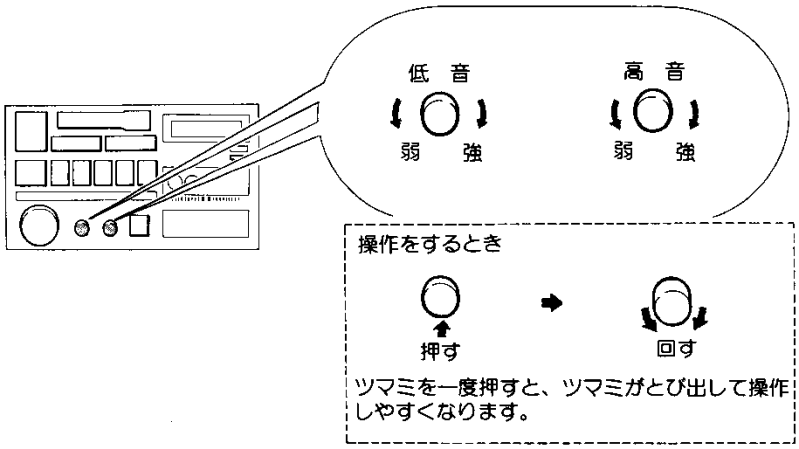


〈表示灯と働き〉

表　示	表　示　灯	働　き
CLASSIC		フラットな音になります。
ROCK		低音が強調されます。
POPS		高音が強調されます。
JAZZ		低音と高音が強調されます。
VOCAL		中音域が強調されます。
DEFEAT		低音、高音調整の手動調整ができます。（次の〈手動調整〉を参照してください。）

▶手動調整

DEFEAT 表示であれば、次のツマミでお好みに応じて低音、高音調整が行えます。



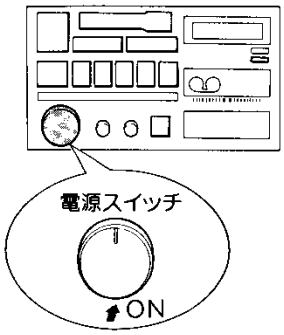
無断複製禁止

ラジオ放送を聞くには

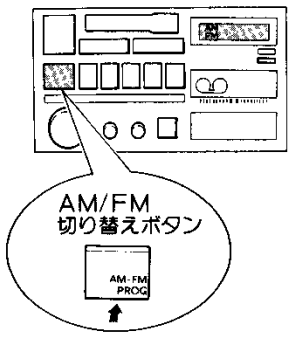
1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



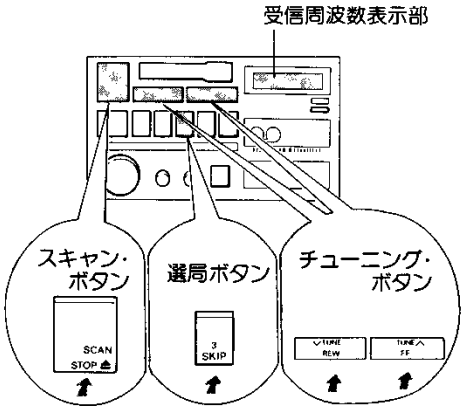
2 電源スイッチを押して電源をいれます。もう一度押すと電源は切れます。



3 AM／FM切り替えボタンを押して、AMまたはFM放送の選択をします。



4 チューニング・ボタン、スキャン・ボタンまたは選局ボタンを押して希望の局を選びます。（次ページ、86ページの**〈選局のしかた〉**または86ページの**〈選局ボタンのセット〉**を参照してください。）



5 音量調整は82ページの**〈音量調整のしかた〉**を、音質調整は83ページの**〈音質調整のしかた〉**を参照してください。

無断複製禁止

選局のしかた（チューニング・ボタンで）

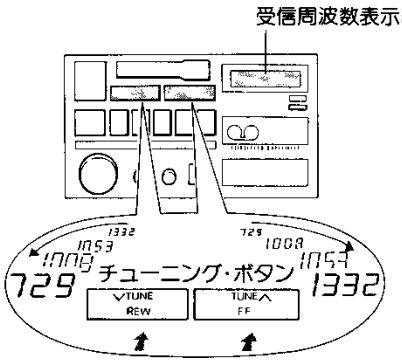
チューニング・ボタンを軽く押すと手動選局として、ピッという音がするまで押し続けると自動選局として使うことができます。

〈手動選局のしかた〉

1 チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせます。

1回押すごとに段階的に周波数がかわります。

- ●周波数の高い方へ選局するときは∧側
- ●周波数の低い方へ選局するときは∨側

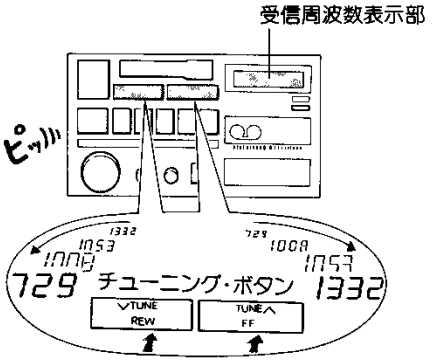


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。

〈自動選局のしかた〉

1 チューニング・ボタンをピッという音がするまで押し続け手を離します。放送を受信したら自動的に止まります。

- ●周波数の高い方へ選局するときは∧側
- ●周波数の低い方へ選局するときは∨側

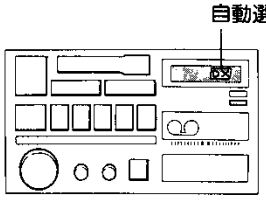


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。



自動選局を解除したいときは、チューニング・ボタンをもう一度押すと解除できます。

2 ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しなかったときは、最初の周波数にもどったあと、自動選局感度表示が点灯し、選局しやすくなります。





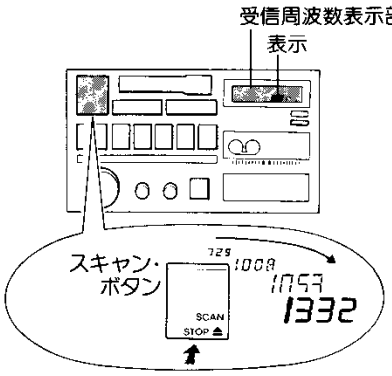
放送を受信したら約15秒後に自動選局感度表示は消灯します。

自動選局感度表示が点灯しても選局しないときは、チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせてください。

無断複製禁止

選局のしかた（スキャン・ボタンで）

1 スキャン・ボタンを押すと、自動的に周波数の高い方へ選局します。放送を受信すると約5秒間停止し、また選局を繰り返します。

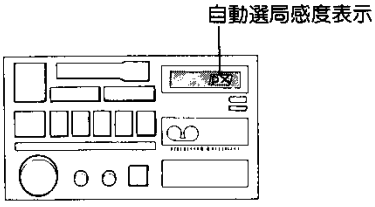


このとき受信周波数表示部に、そのときどきの周波数が表示されます。



希望の周波数で停止したときに、もう一度スキャン・ボタンを押すと、その周波数で停止します。

2 ビルの谷間などで受信電波が弱く選局しなかったときは、最初の周波数にもどったあと、自動選局感度表示が点灯し、選局しやすくなります。



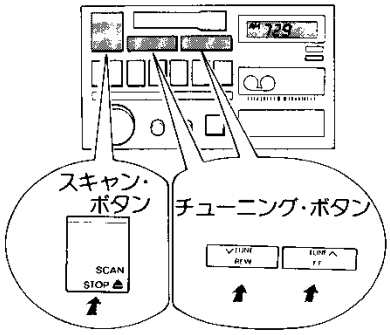


放送を受信したら約15秒後に自動選局感度表示は消灯します。

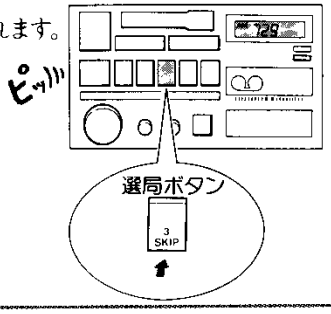
自動選局感度表示が点灯しても選局しないときは、チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にあわせてください。

選局ボタンのセット

1 チューニング・ボタンまたはスキャン・ボタンで記憶させたい放送局の周波数にあわせます。



2 選局ボタンのうちいずれか1つをピッという音がするまで押すとそのボタンに放送局が記憶されます。





選局ボタン1つにつきAM1局、FM1局の2局を記憶させることができます。

3 あらかじめ目的地の放送局の周波数がわかっている場合は、チューニング・ボタンを軽く押して希望の周波数にセットしておくことができます。



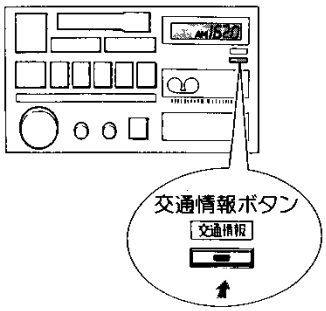
車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、選局ボタンの記憶は消去されます。もう一度選局ボタンに記憶しなおしてください。

無断複製禁止

交通情報ボタンについて

交通情報放送を行っている地域で交通情報受信専用のボタンとして使用できます。

1 交通情報ボタンを押すとあらかじめセットしてある交通情報局が受信できます。（次の**〈交通情報ボタンのセット〉**を参照してください。）



2 もう一度押すと解除されます。

〔参考〕

道路名	地域	周波数	
国道17号	三国峠	上り線	522KHz
		下り線	1611KHz
東名高速	多摩川区間 港北区間	1620KHz	
阪神高速	森の宮～高井田間 長田出口	1620KHz	

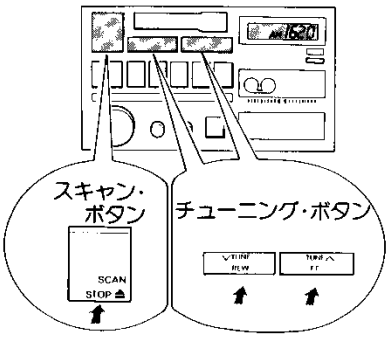
※新車時は1620KHzにセットしてあります。


ちょっと一言

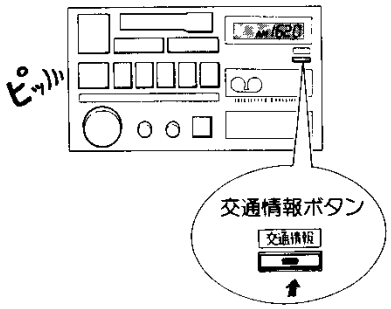
1. 交通情報ボタンはＡＭ専用の選局ボタンとしても使用できます。
2. 放送受信中の場合、チューニング・ボタン、スキャン・ボタン、選局ボタン、AM/FM切り替えボタンを押しても作動しません。

交通情報ボタンのセット

1 チューニング・ボタン、スキャン・ボタンで記憶させたい交通情報局を受信します。



2 交通情報ボタンをピッという音がするまで押し続けると記憶されます。



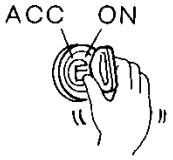

ちょっと一言

1. ＦＭ放送電波を記憶させることはできません。
2. 車両の整備、ラジオの取りはずしなどによって、バッテリーとの接続が断たれた場合、周波数は1620KHzにセットされます。

無断複製禁止

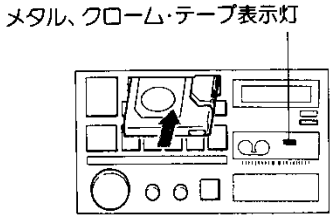
テープを聞くには

1 エンジン・スイッチをONまたはACCの位置にします。



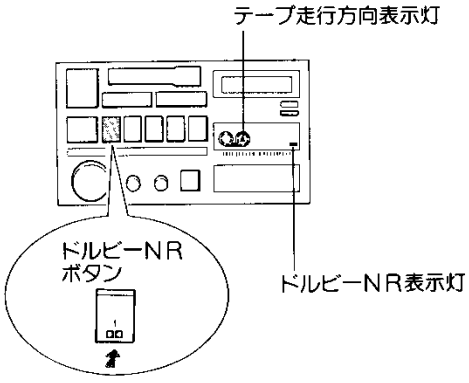
ラジオの電源スイッチのON、OFFに関係なく使用できます。

2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。



メタル・テープおよびクローム・テープを差し込むと表示灯が点灯します。

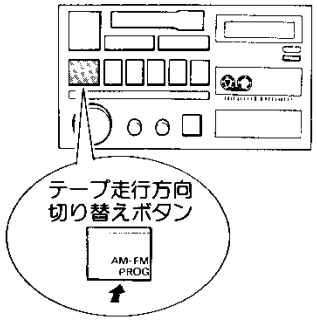
3 ドルビー(B)NR※で録音されたテープを使用するときは、ドルビーNRボタンを押します。



※ドルビーは、ドルビー・ラボラトリーズ・ライセンシング・コーポレーションの登録商標です。

4 音量調整は82ページの〈**音量調整のしかた**〉を、音質調整は83ページの〈**音質調整のしかた**〉を参照してください。

5 再生途中でテープの走行方向をかえたいときは、テープ走行方向切り替えボタンを押します。

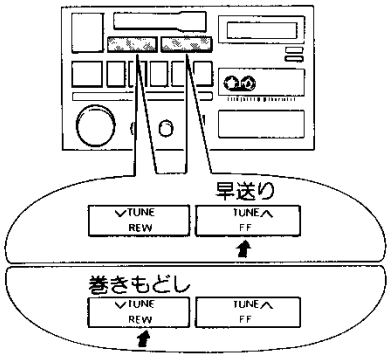


テープ片面の演奏が終わると自動的に反対側の演奏に切り替わります。(オート・リバース機構)

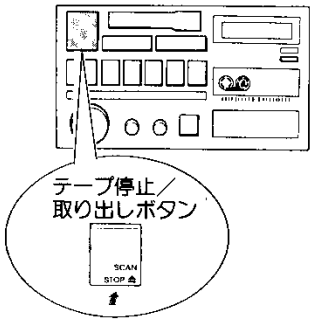
無断複製禁止

早送り、巻きもどしをするには

1 早送りがしたいときは早送りボタンを、巻きもどしがしたいときは巻きもどしボタンを押します。

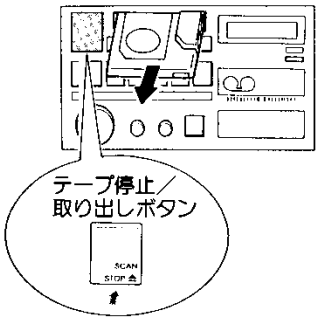


2 早送り、巻きもどしを解除して通常の再生をするときは、テープ停止／取り出しボタンを押します。



テープを取り出すには

テープ停止／取り出しボタンを押すとテープが自動的に手前に押し出されます。





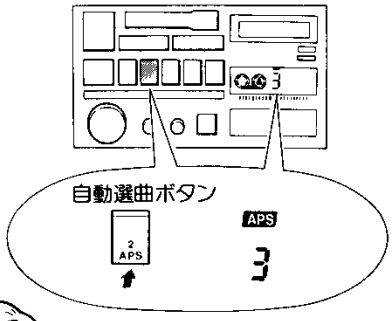
エンジン・スイッチがOFFでもテープ停止／取り出しボタンを押すとテープが自動的に手前に押し出されます。

無断複製禁止

自動選曲のしかた

いまお聞きになっている曲の前後、9曲の中から希望曲の頭出しができます。

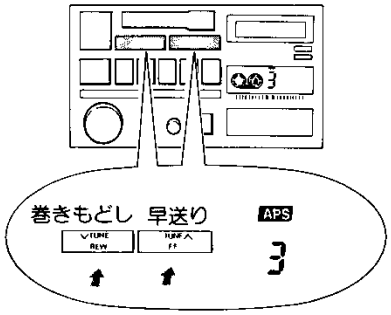
1 頭出しをしたい曲の曲数だけ（3曲目の場合は3回）自動選曲ボタンを押します。





自動選曲ボタンのセットはテープ再生中に行ってください。

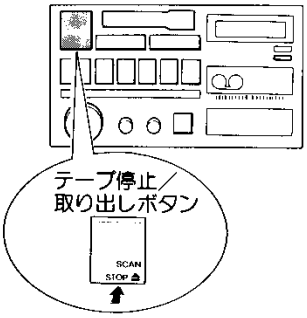
2 希望曲まで早送りするときは早送りボタン、巻きもどしをするときは巻きもどしボタンを押すと、希望した曲の頭でテープは止まり、演奏が始まります。





1. 巻きもどしの場合は、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれますので注意してください。
2. テープの残りの曲数以上の頭出しをしたときは下記のようになります。
   - ●早送りのときはテープ反対側の1曲目から演奏されます。
   - ●巻きもどしのときは同じ側の1曲目から演奏されます。
3. 曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音のある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

3 自動選曲を解除したいときは、テープ停止／取り出しボタンを押します。

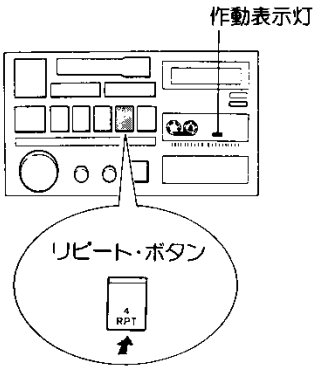


無断複製禁止

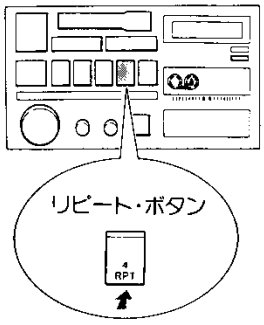
同じ曲を繰り返して聞きたいときは

リピート・ボタンを押すと同じ曲を何度も繰り返して聞くことができます。

1 お気にいりの曲が演奏されているときにリピート・ボタンを押すと、その曲の演奏終了後自動的に巻きもどされて、曲の初めから再び演奏を始めます。



2 リピート作動を解除したいときは、もう一度リピート・ボタンを押します。



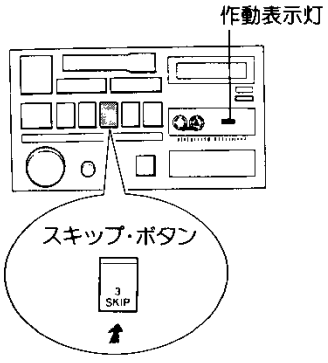


曲と曲の間の無音部分が3秒以下のときや、曲と曲の間に雑音がある場合、または極めて小さい音が3秒以上あるテープでは正常に作動しないことがあります。

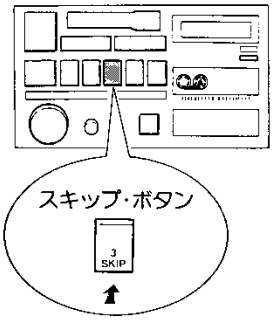
無音部分をとばして聞きたいときは

スキップ・ボタンを押すと無音部分をとばして聞くことができます。

1 スキップ・ボタンを押してあれば無音部分が約8秒以上の場合、自動的に早送りして曲の頭出しを行うことができます。



2 スキップ作動を解除したいときは、もう一度スキップ・ボタンを押します。





1. 曲と曲の間に雑音があるテープや曲の初めと終わりが明確でないテープは正常に作動しないことがあります。
2. テープが終端にくると自動的に反対側になり1曲目の初めから演奏を始めます。

無断複製禁止

カー・オーディオの上手な使い方

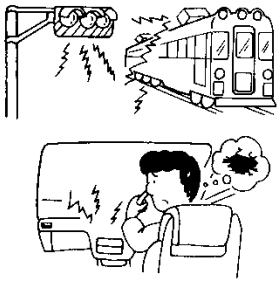
カー・ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例をAM、FM放送別に以下に説明します。

AM放送

1 電波の特性上、放送電波が上空(電離層)で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がはいったり、混信する場合があります。

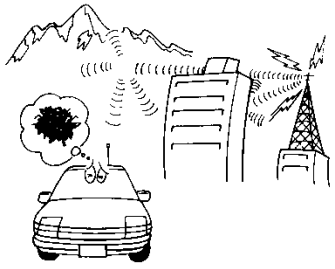


2 電車や信号機の近くを走行すると雑音がはいる場合があります。



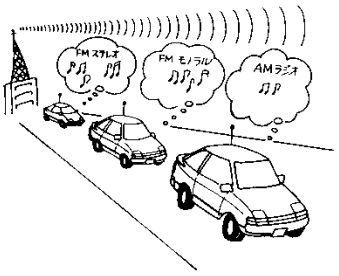
FM放送

電波の特性上、建物や山などが障害物となり、受信状態が悪くなって雑音がはいりやすくなります。



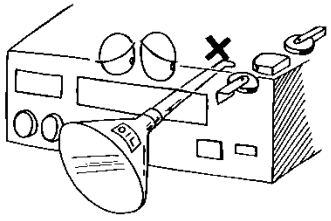
良好な受信ができる範囲

放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。



カセット・ステレオを長持ちさせるには

注油していませんか?

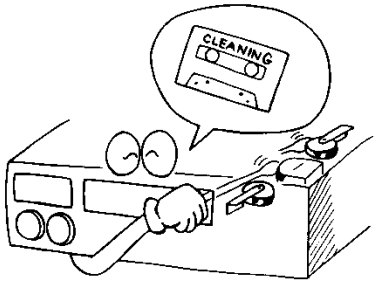


カセット・ステレオには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。

いれていませんか?

カセット・テープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

よごれていませんか?

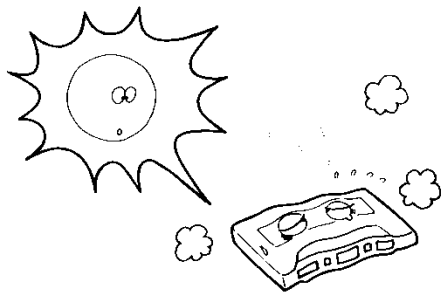


ヘッド周辺部(ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー)はよごれやすいので1カ月に1回程度は市販のクリーニング・テープなどでクリーニングしてください。

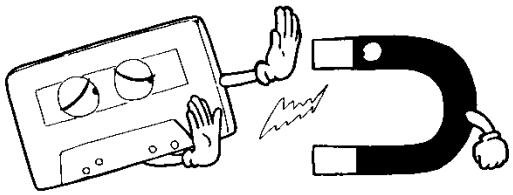
無断複製禁止

カセット・テープを長持ちさせるには

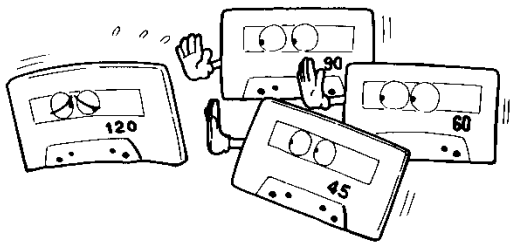
置いていませんか?



カセット・テープを直射日光の当たるところ、またはほこりのつきやすいところに置かないでください。必ずカセット・ケースにいれてこれらの場所をさけて保存してください。
カセット・テープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。

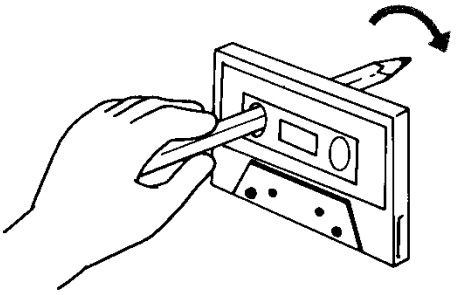


使っていませんか?



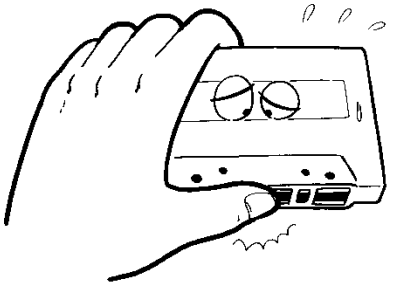
120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。

テープがたるんでいませんか?



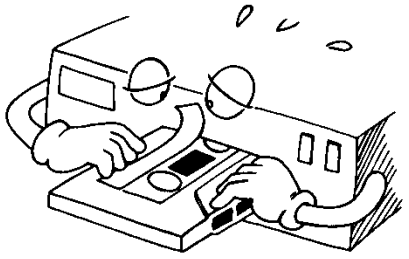
テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。

指が触れていませんか?



テープ面に直接触れると、テープがよごれ音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。

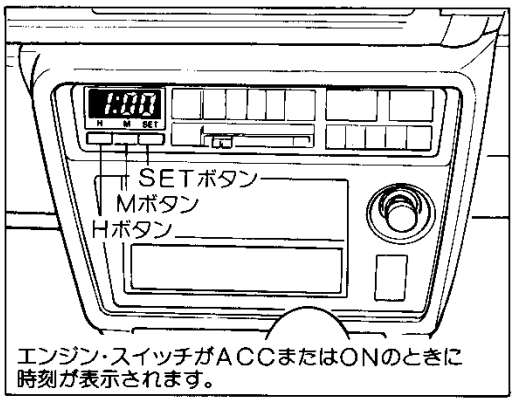
はがれていませんか?



カセット・テープのラベルがはがれかけていたり、ネーム・テープの貼ってあるカセット・テープを使用すると、回転不良やカセット・テープを取り出せなくなる場合がありますので注意してください。

無断複製禁止

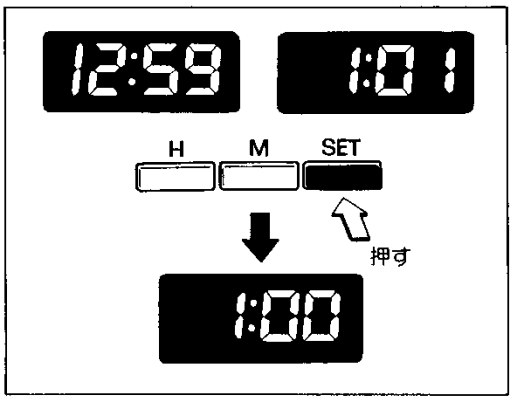
時計……94
シガレット・ライター……95
灰皿……95
室内灯……96
マップ・ランプ……96
グローブ・ボックス(小物入れ)……96
フタ付きコンソール・ボックス(小物入れ)……96
サン・バイザー(日よけ)……97
バニティ・ミラー(化粧ミラー)……97
パッケージ・トレイ(ロック機構付き)……97



エンジン・スイッチがACCまたはONのときに時刻が表示されます。

時計

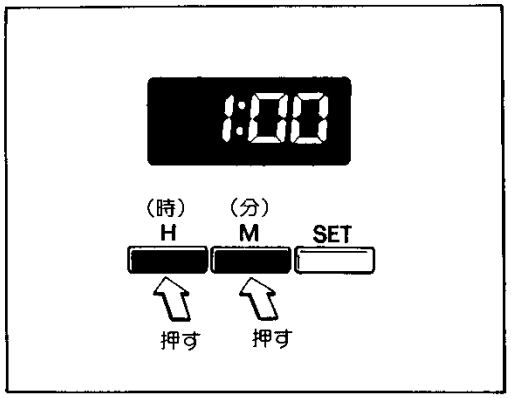
1.エンジン・スイッチをLOCKの位置にすると、表示は消えますが時計はそのまま作動します。
2.車幅灯が点灯すると減光して表示されます。



▶時報にあわせるとき

SETボタンを押すと同時に、時刻は下記のように修正されスタートします。

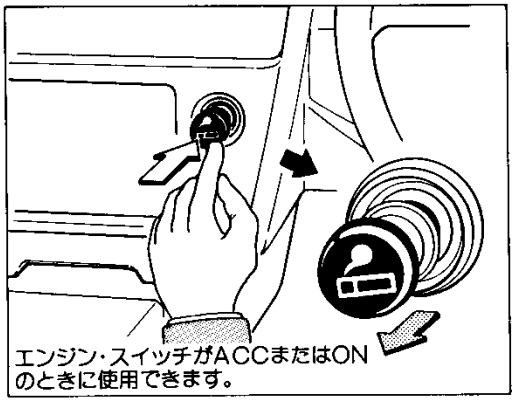
- 0～29分は切り下げて表示されます。
- 30～59分は切り上げて表示されます。



▶"時""分"調整

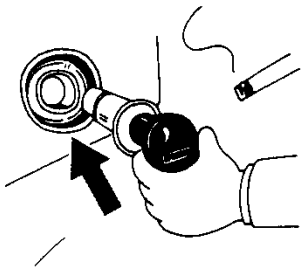
Hボタンを押すと"時"表示、Mボタンを押すと"分"表示が早送りされます。

無断複製禁止



シガレット・ライター

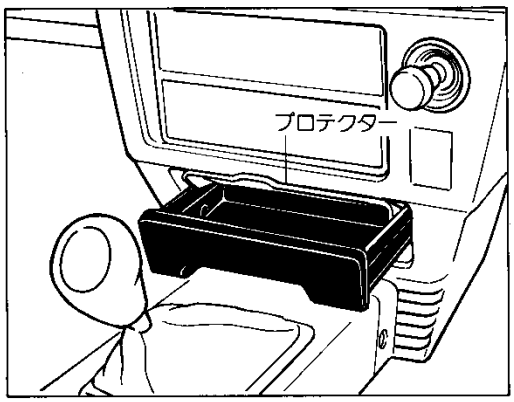
1.ツマミを押し込んだらすぐ手を離し、とび出すまで待ちます。
2.使用後、ソケットに確実に差し込みます。



注意！

1.シガレット・ライターが過熱し、非常に危険なことがありますので次のことを厳守してください。
- 押さえつけたままにしない。
- 他車のシガレット・ライターをソケットに差し込まない。

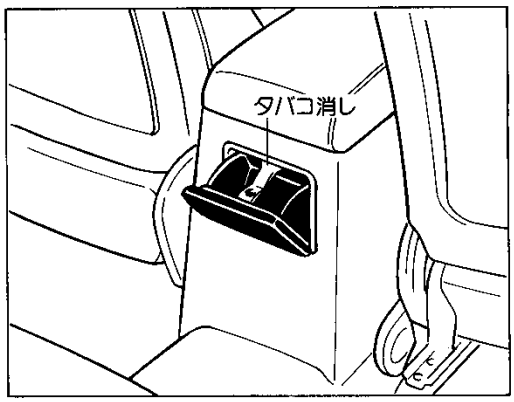
2.ソケットからは、湯わかし器など、トヨタ純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。



灰皿

▶フロント側

掃除をするときは、灰皿を水平に引き出しプロテクターを下へ押したまま、ゆっくり引き出します。



▶リヤ側

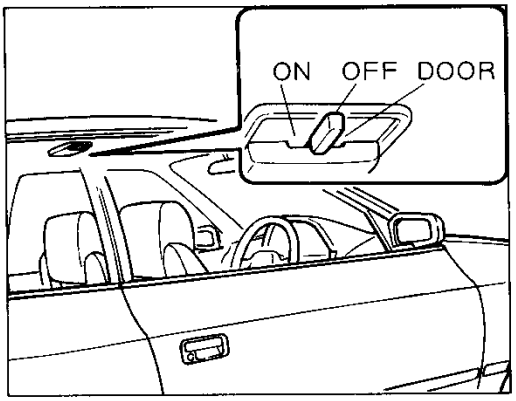
掃除をするときは、タバコ消しを押さえたまま手前に引くと取りはずせます。

注意！

1.マッチ、タバコなどの火は消してから灰皿の中にいれてください。
2.灰皿の中に紙くずなどの燃えやすいものをいれないでください。
3.使用後は確実に閉めてください。開けたままにするとタバコの火が他の吸いがらに燃えひろがり火災になるおそれがあります。

無断複製禁止

室内灯／マップ・ランプ／グローブ・ボックス(小物入れ)／フタ付きコンソール・ボックス(小物入れ)

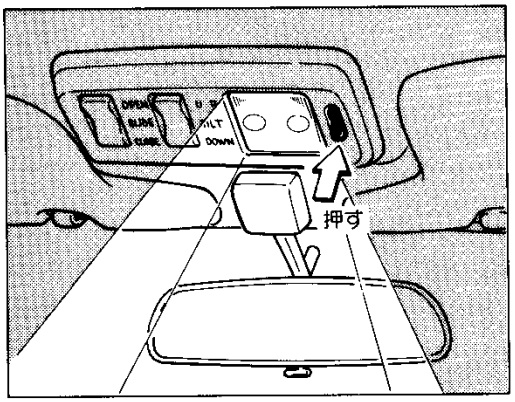


室内灯

ON ……ドアの開閉に関係なく点灯します。
OFF ……ドアの開閉に関係なく消灯します。
DOOR ……ドアを開けたとき点灯し、閉じると消灯します。



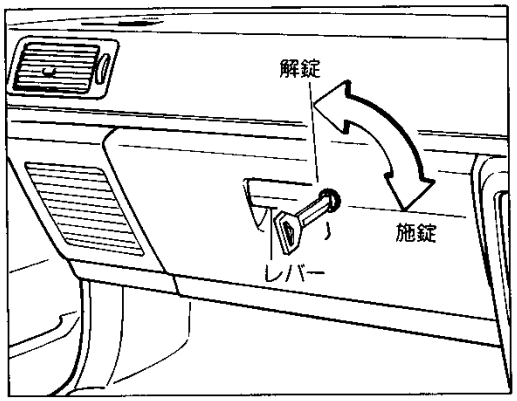
エンジン停止時、室内灯を長時間点灯したままにしておくとバッテリーあがりを起こすおそれがあります。



マップ・ランプ

サン・ルーフ付き車

スイッチを押すとランプが点灯します。



グローブ・ボックス(小物入れ)

1.レバーを引くと開きます。
2.キーを差し込んで右へ回し、キーを抜くと施錠できます。サブ・キーは使用できません。

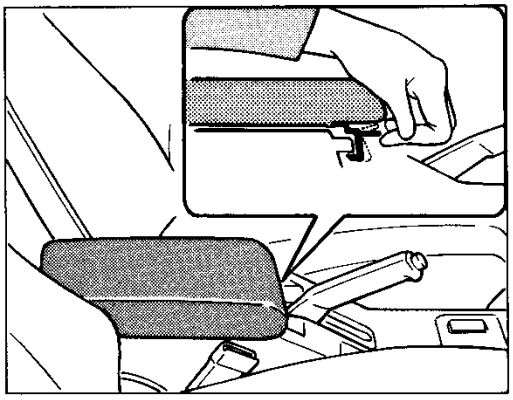


グローブ・ボックスを開けたまま走行すると危険です。必ず閉めてください。

▶グローブ・ボックス・ランプ

GT-FOUR、GT-R、GT、SX、ST

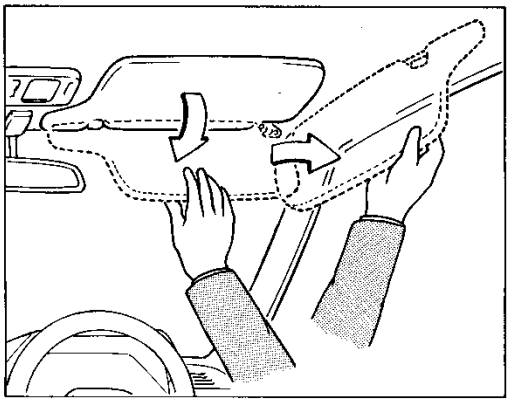
車幅灯が点灯しているときに、フタを開けるとグローブ・ボックス内のランプが点灯します。



フタ付きコンソール・ボックス(小物入れ)

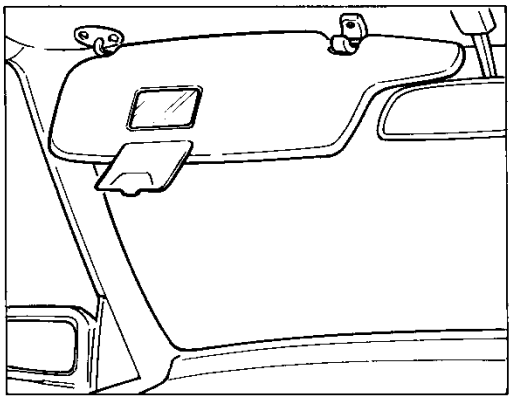
レバーを引くとフタを開けることができます。

無断複製禁止



サン・バイザー(日よけ)

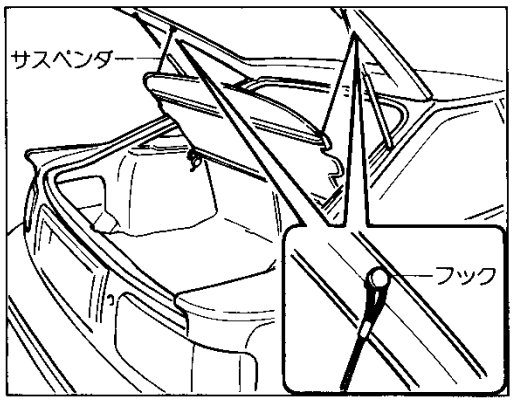
直射日光などでまぶしいときに使用します。フックからはずせば、側面に回すこともできます。



バニティ・ミラー(化粧ミラー)

GT-FOUR、GT-R、SX、サン・ルーフ付き車

助手席サン・バイザーの裏面についています。使用しないときは閉じておいてください。



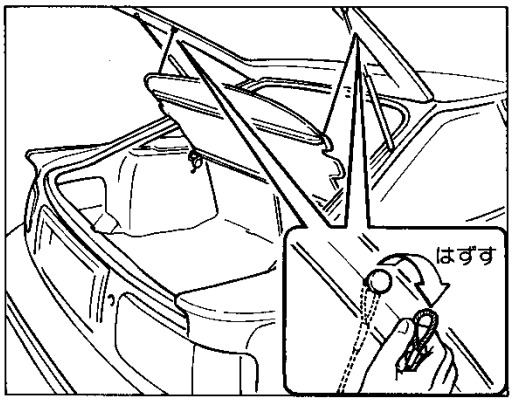
パッケージ・トレイ(ロック機構付き)

GT-FOUR、GT-R、GT、SX、ST

サスペンダーがバック・ドアのフックにかけてあると、バック・ドア開閉時にパッケージ・トレイが連動します。



1.パッケージ・トレイの上には重い物を置かないでください。
2.パッケージ・トレイの下に大きな荷物を積んだときは、バック・ドアを閉じる前に、パッケージ・トレイと荷物が当たらないことを確かめてください。

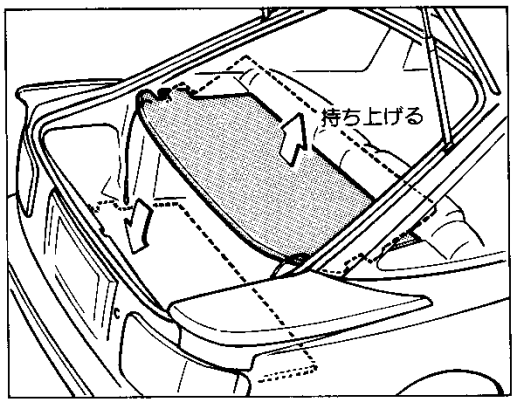


▶格納のしかた

1.バック・ドアのフックから左右のサスペンダーをはずします。

無断複製禁止

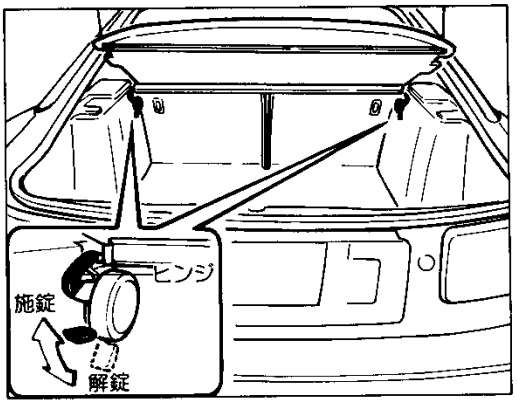
パッケージ・トレイ(ロック機構付き)



2.トレイの前側を持ち上げると取りはずせます。
3.はずしたトレイは、デッキ・ルーム床面に置きます。



1.パッケージ・トレイを取りはずすときは、ヒンジが解錠側になっていることを確認してください。次の〈**ロックのしかた**〉を参照してください。
2.パッケージ・トレイを取りはずすときは、リヤ・シートの背もたれを前に倒してから行うと楽にできます。

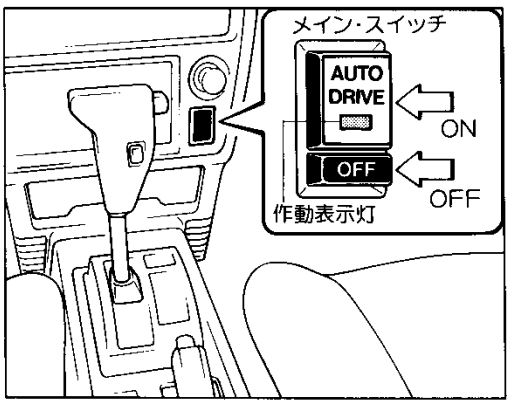


▶ロックのしかた

左右のヒンジを施錠側にすれば、パッケージ・トレイの前側を持ち上げることはできません。

無断複製禁止

オート・ドライブ(自動定速走行装置)……99
チルト&スライド電動サン・ルーフ……102



オート・ドライブ(自動定速走行装置)

GT-FOUR、GT-Rに注文装備

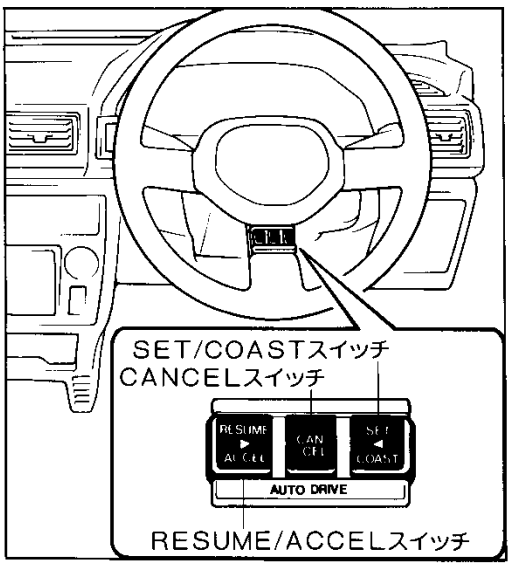
オート・ドライブは、アクセル・ペダルを踏まなくても約40～100km/hの任意の速度で車速を一定に保つことができる装置です。

■メイン・スイッチ

1.メイン・スイッチのAUTO DRIVE側を押すと、作動表示灯が点灯して作動待機状態になります。
2.OFF側を押すと作動表示灯が消灯し、作動は停止します。


ちょっと一言

エンジンを停止すると自動的にオート・ドライブはOFFになります。
オート・ドライブを使用するときは、もう一度メイン・スイッチのAUTO DRIVE側を押してください。



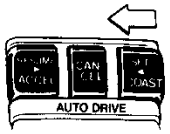
■コントロール・スイッチ

ACCEL……オート・ドライブ走行速度を増速できます。
RESUME……一度オート・ドライブを解除したとき、車速が約40km/h以上であれば解除前の設定速度に復帰させることができます。
SET……オート・ドライブをセットするときに使用します。
COAST……オート・ドライブ走行速度を減速できます。
CANCEL……オート・ドライブを解除できます。

無断複製禁止

オート・ドライブ(自動定速走行装置)

希望速度にセットするとき

操作手順		
1	メイン・スイッチのAUTO DRIVE側を押す	
2	希望速度まで加速する	
3	SET/COASTスイッチを押す	
4	SET/COASTスイッチから手を離す	

※約40～100km/hの範囲内で使用できます。

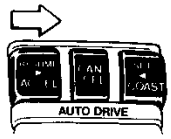
注意!

1. オート・ドライブ走行時、急な上り坂になると走行車速は設定車速より低下することがあります。
(オートマチック・トランスミッション車の場合、車速が約8～12km/h以上低下すると自動的にオーバードライブは解除され、車速が設定車速の約4km/h手前になると再びオーバードライブが作動します。)
2. 急な下り坂になると走行車速は設定車速より超過することがあります。マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車の場合には5速を4速に、オートマチック・トランスミッション車の場合にはオーバードライブ・スイッチをOFFにするなどして、エンジン・ブレーキを併用してください。

オート・ドライブ走行中に増速したいとき

▶設定速度を増速したいとき

●RESUME/ACCELスイッチで

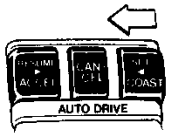
操作手順		
1	RESUME/ACCELスイッチを押す	
2	希望速度になったらRESUME/ACCELスイッチから手を離す	

急な坂道ではRESUME/ACCELスイッチを押しても増速できないことがあります。増速できないときは、アクセル・ペダルを使って車速を変更してください。

ちょっと一言

オートマチック・トランスミッション車の場合は、1の操作をしたときに自動的にオーバードライブが解除され、増速が終了すれば再びオーバードライブ走行となります。

●アクセル・ペダルで

操作手順		
1	アクセル・ペダルを踏み込み、希望車速まで加速する	
2	SET/COASTスイッチを押す	

※約100km/h以上では作動しません。

▶一時的に増速したいときは

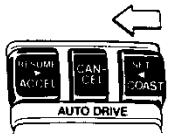
1. アクセル・ペダルを踏み込みます。
2. アクセル・ペダルを離せば、設定速度まで自動的にもどり、その後定速走行を維持します。

無断複製禁止

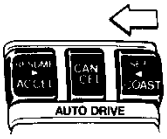
オート・ドライブ走行中に減速したいとき

▶設定速度を減速したいとき

●SET/COASTスイッチで

操作手順		
1	SET/COASTスイッチを押し続ける	
2	希望速度になったらSET/COASTスイッチから手を離す	

●ブレーキ・ペダルで

操作手順		
1	ブレーキ・ペダルを踏み、希望車速まで減速する	
2	SET/COASTスイッチを押す	

※約40km/h以下ではセットできません。

オート・ドライブ状態を解除するとき

メイン・スイッチのOFF側を押せばオート・ドライブの全作動を停止、解除できます。また次の場合は自動的に解除されます。

①CANCELスイッチを押したとき
②ブレーキ・ペダルを踏んだとき
③クラッチ・ペダルを踏んだとき
〈マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車〉
④車速が約40km/h以下になったとき
⑤急な上り坂などで、セットしたときの車速より大幅に速度が低下したとき (GT-R)
〔例〕100km/hでオート・ドライブ走行中車速が75km/h以下になったような場合
⑥急な上り坂などで、セットしたときの車速より約16km/h以上速度が低下したとき (GT-FOUR)
⑦ブレーキ警告灯が点灯したとき

解除前の設定速度にもどしたいとき

前記の①、②、③の方法で一度オート・ドライブが解除されても、車速が約40km/h以上であればRESUME/ACCELスイッチを押すと解除される前の設定速度まで自動的にもどり、その後定速走行を維持します。
なお、一度車速が約40km/h以下になると、RESUME/ACCELスイッチを操作しても解除前の設定車速にはもどりません。

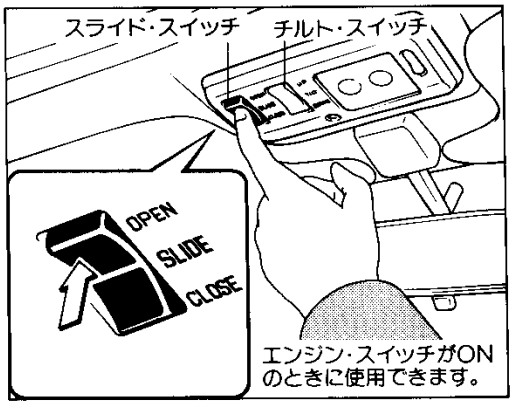

ちょっと一言

走行中作動表示灯が点滅した場合は装置の異常が考えられますのでトヨタ販売店で点検を受けてください。


注意!

1. オート・ドライブを使用しないときは、メイン・スイッチのOFF側を押しておいてください。
2. マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車の場合、オート・ドライブ走行中クラッチ・ペダルを踏まずにチェンジ・レバーをNの位置にしないでください。
3. 下記のような道路状況では、オート・ドライブは使用しないでください。
   - 交通量の多い道路
   - 急な下り坂
   - 急カーブ
   - 凍結路
   - 積雪路
   - その他すべりやすい路面

無断複製禁止



チルト＆スライド電動サン・ルーフ

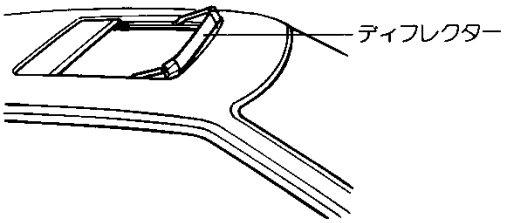
GT-FOUR、GT-R、GT、SX、STに注文装備

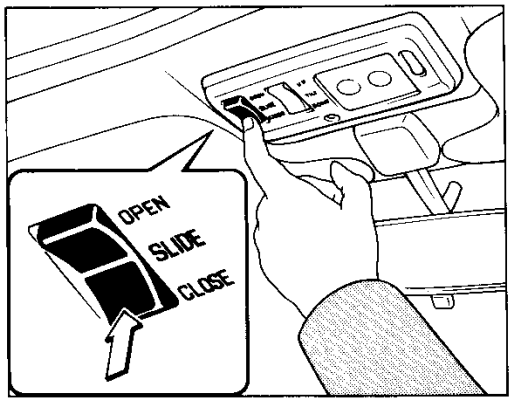
サン・ルーフの開閉およびチルト・アップ（サン・ルーフ後端を上げること）ができます。

注意！ 開閉およびチルト操作時に、手や首などをはさまないように注意してください。とくにお子さまにはご注意ください。

▶開け方

1.スライド・スイッチのOPEN側を押します。
2.スライド・スイッチから手を離すと停止します。
3.サン・ルーフを開けると室内への風の巻き込みを防ぐディフレクター（整流板）が自動的に上がります。

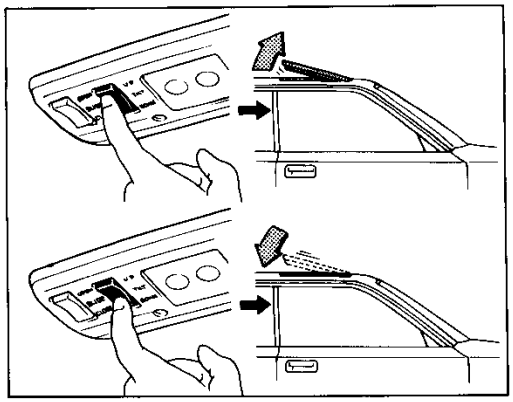




▶閉じ方

1.スライド・スイッチのCLOSE側を押します。
2.スライド・スイッチから手を離すと停止します。

ちょっと一言 スイッチを押し続けていても、全閉状態の約200㎜手前でセイフティ機構が働き、サン・ルーフの作動は停止します。スイッチから手を離し、再度スイッチを押すと完全に閉まります。



▶チルト・アップのしかた——換気効果

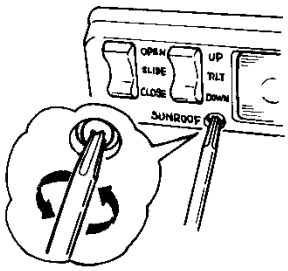
1.チルト・スイッチのUP側を押すと、ルーフ後端が約40㎜開口し、室内の換気が行えます。
2.チルト・スイッチのDOWN側を押すと閉じます。

無断複製禁止

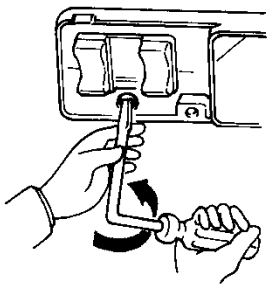
▶スイッチを押しても作動しないとき

工具袋から⊕ドライバーとL字形のサン・ルーフ用⊖ドライバーを準備して、次の手順で作業してください。

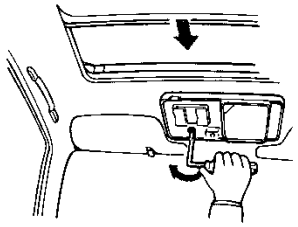
1.スイッチのカバーを⊕ドライバーで取りはずします。



2.駆動軸下部のネジをサン・ルーフ用⊖ドライバーで取りはずします。

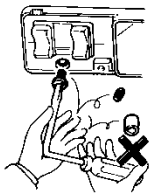


3.サン・ルーフ用⊖ドライバーで駆動軸を回し、完全に閉じます。




ちょっと一言

1.ネジを取りはずすときに、ワッシャー、カラーおよびシムを紛失しないようにご注意ください。ネジがゆるんできたら指を使って取りはずすようにしてください。



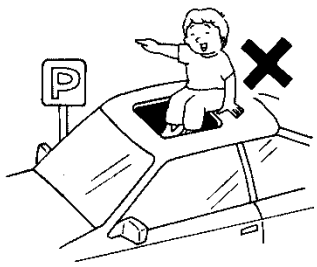
2.駆動軸を回しすぎると、サン・ルーフがチルト・アップします。チルト・アップしたときは、3.の反対方向に駆動軸を回してください。

3.一応の処置が終わったら、お早めにトヨタ販売店へおこしください。

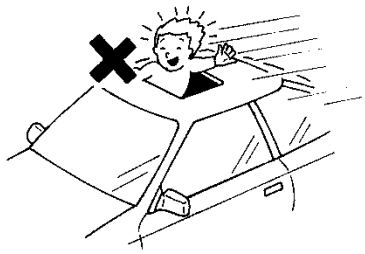

注意!

1.サン・ルーフが全開、全閉したら、すぐにスイッチから手を離してください。押し続けると故障の原因になります。

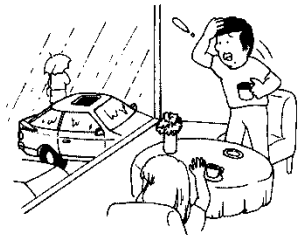
2.開口部に腰かけないでください。



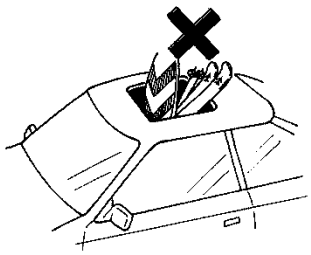
3.走行中は危険ですから、頭や手を出さないでください。



4.車から離れるときや洗車時には、完全に閉じていることを確認してください。



5.開口部から荷物がはみ出さないようにしてください。



無断複製禁止

工具とジャッキ……104
パンクしたときは……105
万一のときの処置……109
こんな故障の応急処置は……111

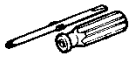
工具とジャッキ

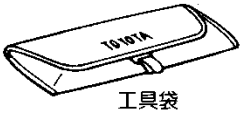
それぞれの格納場所、工具の種類、ジャッキの使い方などを確かめておきましょう。

■工具

GT-FOURは応急用タイヤうしろ側に、GT-R、GT、SX、ST、SVはデッキ・ルーム右のカバー内に格納されています。


プライヤー

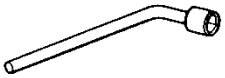

⊕⊖差し替え式ドライバー



工具袋

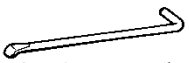

スパナ

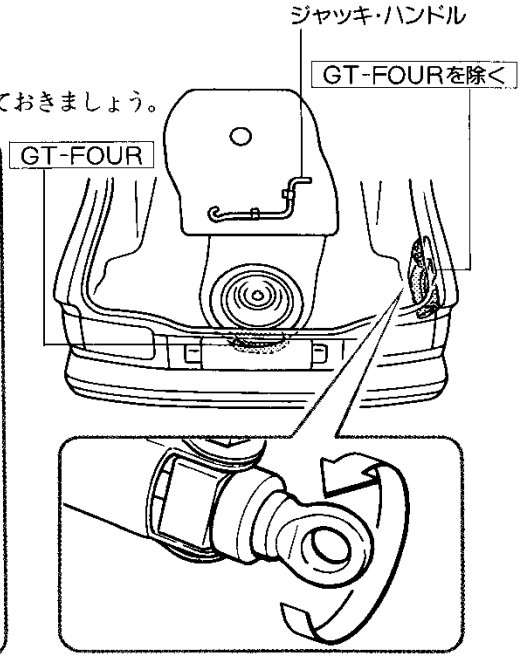

⊖ドライバー（サン・ルーフ付き車）


ホイール・ナット・レンチ


輪止め

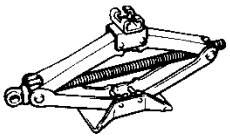

プラグ・レンチ


プラグ・レンチ・バー



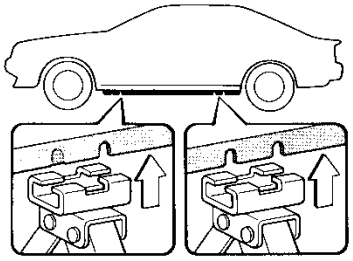
■ジャッキ

デッキ・ルーム右のカバー内に格納されています。
上図のように回すと取り出せます。
ジャッキ・ハンドルはスペア・タイヤ・カバー裏側に格納されています。



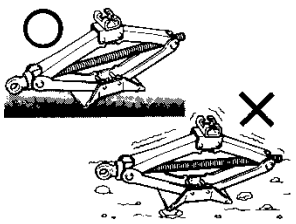

ジャッキ・ハンドル

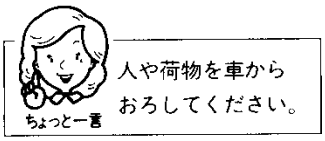
▶ジャッキをセットする位置



▶ジャッキのかけ方

1.ジャッキを地面の平らな固くて安定できるところにセットします。

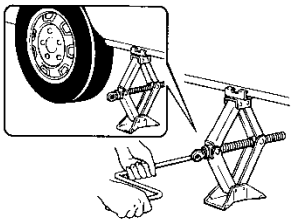




人や荷物を車からおろしてください。

2.ジャッキを手で回して、ジャッキ・セット位置まで上げます。

3.ジャッキが確実にジャッキ・セット位置にかかっていることを確認し、ジャッキ・ハンドルを使用して、タイヤが地面から少し離れるまでジャッキ・アップします。





ジャッキ・アップしたら車の下には絶対もぐらないでください。万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

無断複製禁止

パンクしたときは――①スペア・タイヤ

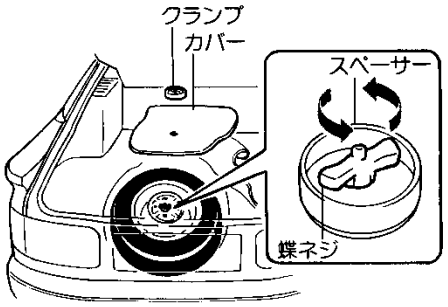

ちょっと一言

1.作業をするとき車体端部などでケガをしないように注意してください。
2.パンクした場合に、エアゾール製品の補修剤を使用したときは、早めにパンク修理してください。

■格納場所

デッキ・ルームに格納されています。

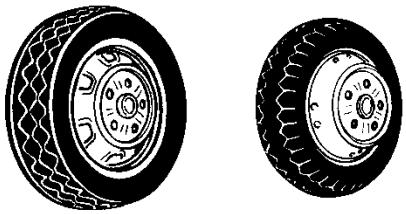
1.クランプを左に回してカバーを取りはずします。
2.蝶ネジを左に回してスペーサーを取りはずし、タイヤを取り出します。



■応急用タイヤ

タイヤがパンクしたとき、一時的に使用するタイヤです。

標準タイヤ　　応急用タイヤ



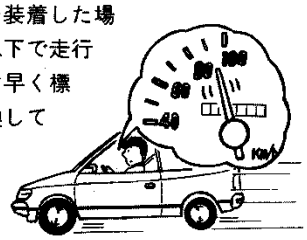
※応急用タイヤは図のように標準タイヤと異なり専用タイヤです。


ちょっと一言

この応急用タイヤは標準タイヤより空気圧が高く、また直径がやや小さくできていますが走行上支障はありません。ご使用になる場合は、右の注意事項を必ずお守りください。


注意！

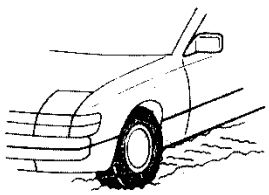
1.応急用タイヤの空気圧はときどき点検してください。
空気圧：4.2kg/cm²(冷間時)
2.応急用タイヤを装着した場合は、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。



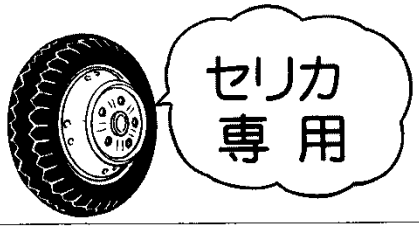
3.雪道、凍結路では前輪に応急用タイヤを使用しないでください。(前輪がパンクした場合は、応急用タイヤを後輪に使用し、はずした後輪を前輪につけてください。)



4.応急用タイヤにタイヤ・チェーンを装着しないでください。前輪がパンクした場合は、応急用タイヤを後輪に使用し、はずした後輪を前輪につけてからタイヤ・チェーンを装着してください。



5.応急用タイヤを装着した場合、デフ・ロック・スイッチをＯＮの位置に回さないでください。(GT-FOUR)
6.応急用タイヤを装着した場合、タイヤの直径が小さいため、車高が少し低くなります。突起物などをのりこえるときは標準タイヤ装着時と同じ感覚で運転しないよう注意してください。
7.この応急用タイヤとホイールはすべてセリカの専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたりセリカ以外の車に使用しないでください。



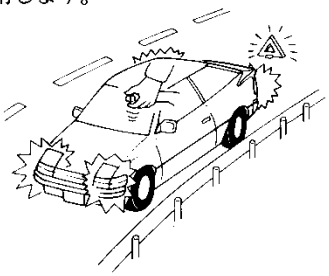
無断複製禁止

パンクしたときは——②タイヤ交換

■準備

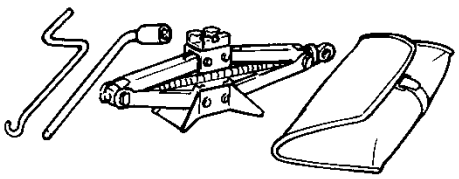
1.交通のじゃまにならず、安全に作業ができる平らな場所に車を止めます。

2.非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板を使用します。

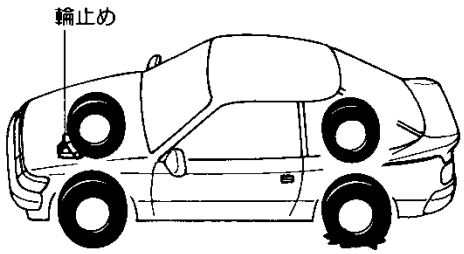


3.パーキング(駐車)・ブレーキをかけます。

4.工具やジャッキを取り出します。



5.パンクしたタイヤと対角の位置にあるタイヤに輪止め(搭載工具に含まれています)をします。




ちょっと一言

前輪がパンクしたときは後輪のうしろ側、後輪がパンクしたときは前輪の前側に輪止めをしてください。

6.スペア・タイヤを取り出します。⇨105ページの「**パンクしたときは——①スペア・タイヤ**」を参照してください。

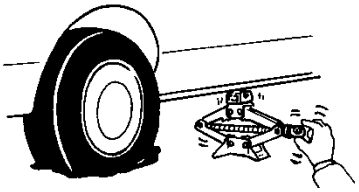
7.ホイール・キャップ、ハーフ・キャップなどをはずします。

※ホイール・キャップ装着車は108ページを参照してください。

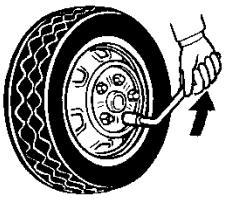
※アルミ・ホイール装着車は108ページを参照してください。

■ジャッキ・アップ

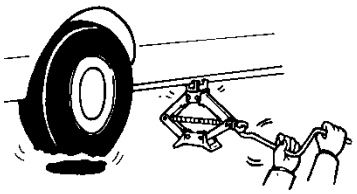
1.ジャッキをセットします。⇨104ページの「**ジャッキ**」を参照してください。



2.ホイール・ナット・レンチでナットを左に回し、手で回るくらいまでゆるめます。

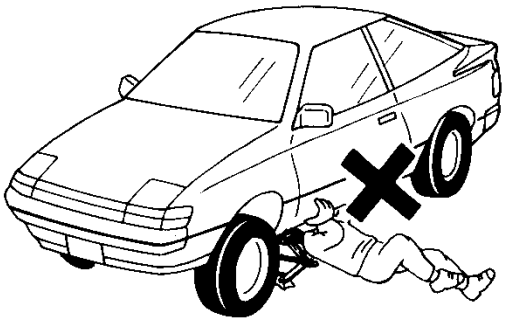


3.車を、タイヤと地面が少し離れるまでジャッキ・アップします。




注意!

ジャッキ・アップしたら車の下には絶対もぐらないでください。
万一、ジャッキがはずれると大変危険です。

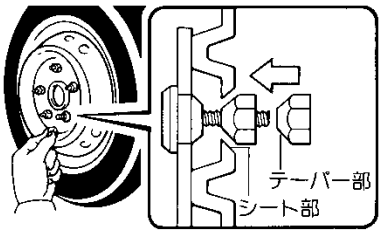


無断複製禁止

■タイヤ交換

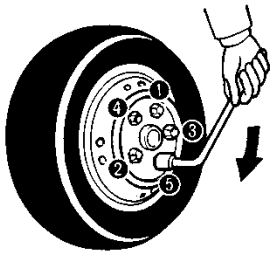
1.ナットをはずし、タイヤを取り替えます。

2.ナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり、タイヤがガタつかない程度までナットを右に回して仮締めします。

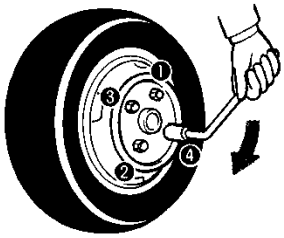


3.ジャッキを下げて図の順序で2～3度にわたり、レンチを使用して手で十分締めつけます。

GT-FOUR、GT-R、GT



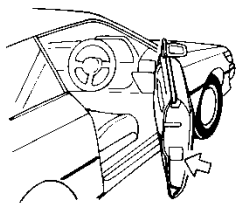
SX、ST、SV



注意！ レンチを足で踏んだり、パイプなどを使用して必要以上に締めつけないでください。

4.フル・ホイール・キャップ付き車は、タイヤのバルブ（空気口）にホイール・キャップの穴をあわせて取りつけます。

5.取りつけたタイヤの空気圧を確認します。(図に示す運転席ドアに貼られている「タイヤ空気圧」の表を参照してください。)

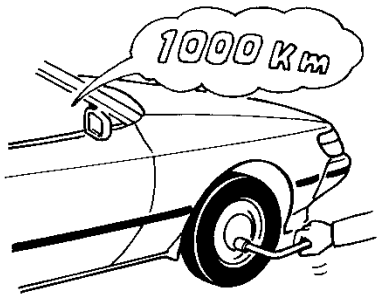


ちょっと一言 「タイヤ空気圧」表の中に示されているタイヤ・サイズは車種またはグレードにより装着できないものもあります。詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

注意！
1.空気圧が不足している場合や調整ができないときは、ひかえめな速度で走行してください。
2.空気圧が低いまま走行を続けると、高速走行時にタイヤが疲労しバースト(破裂）するおそれがあります。チューブレス・タイヤの場合は、タイヤとリムの密着が悪くなり、空気が漏れやすくなります。

6.工具、ジャッキ、タイヤを片づけます。
タイヤを格納するときは確実に固定してください。

ちょっと一言
1.応急用タイヤは標準タイヤがパンクしたときに一時的に使用するタイヤです。パンクしたタイヤは、ただちに修理して、応急用タイヤとつけ替えてください。
2.タイヤを脱着したときは、タイヤを取りつけて、1,000km走行後、再度ホイール・ナットを締めつけてゆるみがないことを点検してください。



注意！
1.タイヤ交換後、走行中ハンドルや車体に振動が出た場合はタイヤのバランスの点検をトヨタ販売店で受けてください。
2.タイヤを新品と交換する場合は、トヨタ販売店で相談してください。
異なった種類のタイヤを混ぜて使用したり、指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響をおよぼしますので、絶対にさけてください。
3.スペア・タイヤの空気圧の点検は、日頃から怠らないようにしてください。

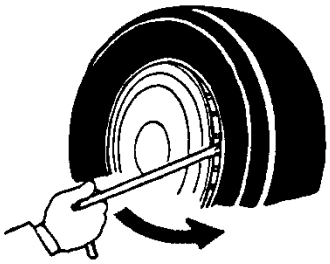
無断複製禁止

■ホイールの取り扱い方

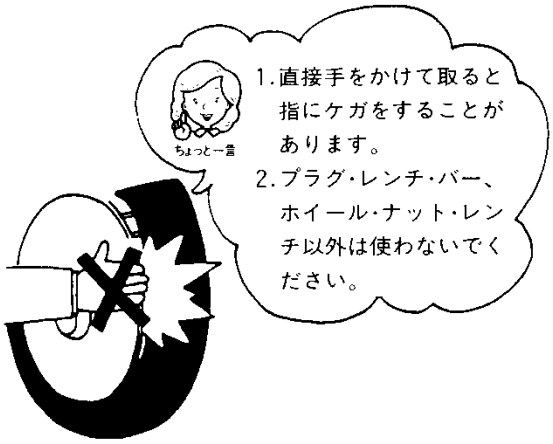
▶ホイール・キャップの取りはずし方

フル・キャップ

1.プラグ・レンチ・バーの柄の先を差し込んでホイールとキャップの間にホイール・ナット・レンチが十分はいるまでタイヤ側にこじってください。

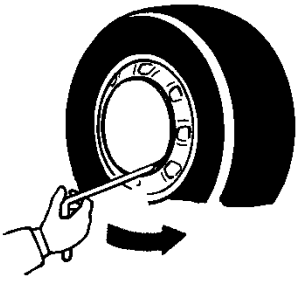


2.ホイール・ナット・レンチを差し込み、タイヤ側に強くこじれば、はずれます。



ハーフ・キャップ

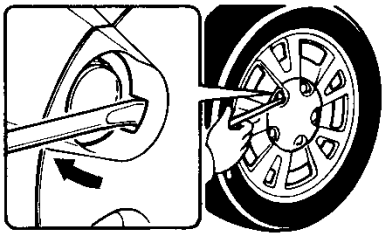
プラグ・レンチ・バーの柄の先を使うと楽にはずれます。

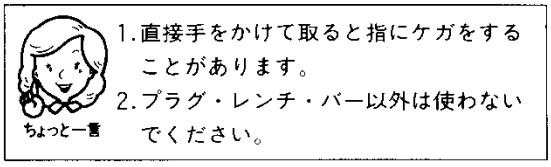




アルミ・ホイールのセンター・キャップ

プラグ・レンチ・バーの柄の先をセンター・キャップの切り欠きに差し込み、ホイール・ナットの頭部を支点にして、タイヤ側にこじると楽にはずれます。





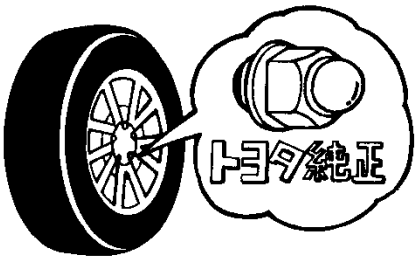
無断複製禁止

■アルミ・ホイールの取り扱い方

1.取りはずしたホイールを直接地面に置くときは意匠面を上にして置いてください。

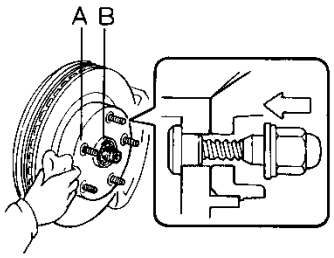


2.バランス・ウエイトおよびナットはトヨタ純正のアルミ・ホイール専用品をお使いください。



3.傷、変形のあるアルミ・ホイールは再使用しないでください。

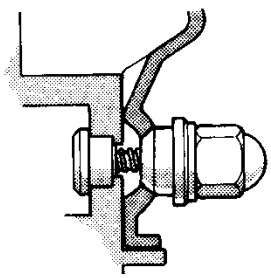
4.アルミ・ホイールを再び車両に取りつけるとき、図のA、BのよごれをきれいにふいてからBの部分を確実にはめ、ホイール・ボルトが取りつけ穴の中心にくるようにして、ホイール・ナットの座金がホイールに当たるまで手で締めてください。



5.ホイール・ナットを締めすぎないように注意してください。

6.タイヤ・チェーンを装着すると、ホイールに傷をつけるおそれがあります。

7.応急用タイヤまたはスチール・ホイールを取りつける場合、ホイール・ナットは下図のように取りつけてください。

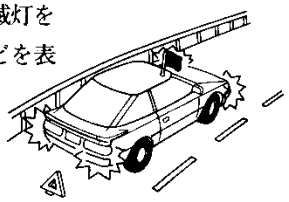


万一のときの処置

故障したら……

1.車を路肩に寄せ非常点滅灯を点滅させるか、赤旗などを表示します。

2.高速道路や自動車専用道路では、車両後方に停止表示板を置いてください。法律で義務づけられています。

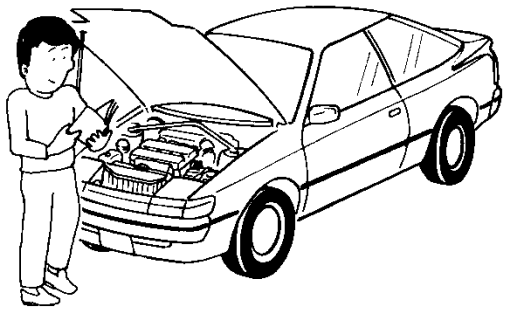




非常電話を利用する場合などは、安全な場所を歩くよう心がけてください。

▶夜間、休日の修理連絡先

「整備手帳」巻末のトヨタ・サービス網をご覧ください。



走行中、エンジンが停止したときは…

運転操作に変化が生じますので、次の方法で車を安全な場所に停止してください。

1.ブレーキ・ブースター(ブレーキ倍力装置)が作用しなくなりますので、ブレーキ・ペダルを強く踏んでください。

2.パワー・ステアリング(ハンドル操作力軽減装置)付き車はパワー装置が働かなくなりますので、ハンドル操作が重くなります。ハンドルを強く操作してください。

無断複製禁止

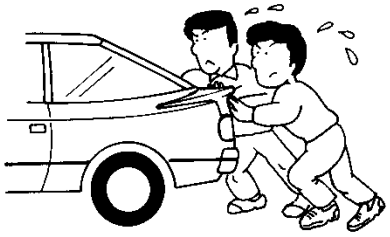
走行中、車体床下に強い衝撃を受けたときは……

ただちに車を止め、ブレーキ液の漏れや損傷を確認してください。損傷がひどい場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

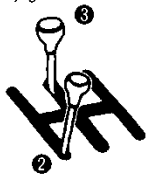


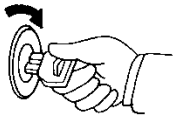
エンストして始動できなくなったときは…

1.付近に人がいる場合は安全な場所まで押してもらってください。



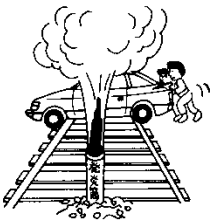
2.マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車はチェンジ・レバーの位置をセカンドまたはサードにいれ、クラッチを踏まずにエンジン・スイッチをSTARTの位置で保持すれば、車を動かすことができます。また、平担路の場合はトップにすると早く抜け出せます。





ちょっと一言 オートマチック・トランスミッション車はエンジン・スイッチで車を動かすことができません。

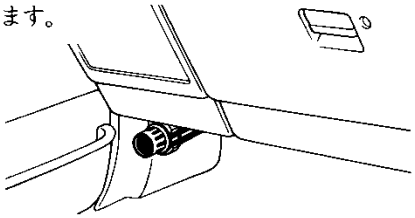
3.踏切内で動かなくなり、脱輪などですぐ動かせない場合は、ただちに踏切の非常ボタンを押してください。



ちょっと一言 電車が来そうになったり、緊急を要する場合は発炎筒で合図してください。

発炎筒

高速道路や踏切内などで、緊急を要するときに使用します。



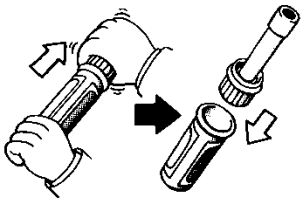
1.グローブ・ボックス左下部に備えつけてあります。

2.**発炎時間は約5分間です。**

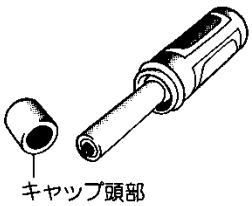
3.本体に表示してある有効期間のきれる前にトヨタ販売店でトヨタ純正ハイフレヤー(発炎筒)をお求めください。

▶使い方

1.本体をひねりながら取り出し、逆にして差し込みます。



2.キャップ頭部のすり薬でこすると着火します。



注意! 1.お子さまにさわらせないでください。



2.非常用信号としてのみご使用ください。

3.使用中は筒先を顔や体に向けたり、近づけたりしないでください。やけどの危険があります。

4.発炎時間は約5分ですので、非常点滅灯を併用するようにしてください。

5.ガソリンなど可燃物の近くでは火災をまねくおそれがありますので使用をさけてください。

無断複製禁止

こんな故障の応急処置は……

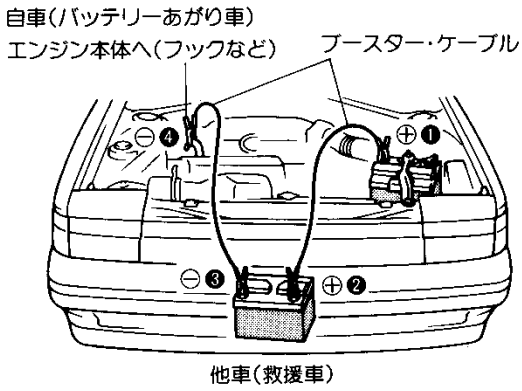
バッテリーあがりの処置は……

ブースター・ケーブル(別売)があれば、他車のバッテリーを電源としてエンジンを始動することができます。



救援車は必ず12Vのバッテリーがついている車を使用してください。

1.ブースター・ケーブルを図の番号の順序に接続します。⊕⊖を間違えないようご注意ください。





1.❶の接続は必ず自車(バッテリーあがり車)の⊕端子にしてください。
2.❹の接続はバッテリーから離れたエンジン本体にしてください。バッテリーとバッテリーを直接接続すると、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

2.接続後、救援車のエンジン回転を少し高めにしておきます。

3.始動のしかたは⇨38ページの「エンジンのかけ方」を参照してください。

4.自車のエンジンが始動したら、取りつけたときと逆の順序でブースター・ケーブルを取りはずします。バッテリーはすぐにガソリン・スタンドやトヨタ販売店で完全充電してください。



1.絶対に押しがけによる始動はやめてください。
2.ケーブル接続の際には、⊕と⊖端子を絶対に接触させないでください。
3.ケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように接続には十分注意してください。

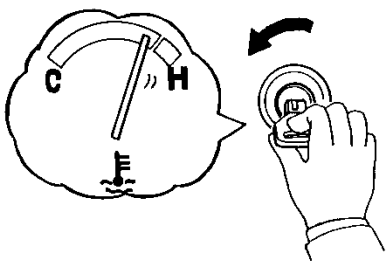
オーバーヒートの処置は……

1.安全な場所へ車を止めてください。



2.エンジンをかけたままで、ボンネットを開け、風通しをよくします。

3.水温計の針(または表示)が下がってきたら、エンジンを止めます。



4.エンジンが十分に冷えてから、冷却水の有無、ラジエーターのコア部(放熱部)の著しいよごれ、ごみの付着の有無、Vベルトのゆるみを点検します。



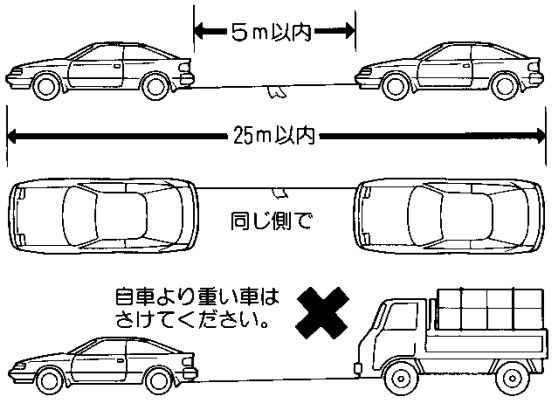
あわててラジエーター・キャップをはずすと、冷却水には圧力がかかっていますので、蒸気や熱湯が吹き出して思わぬやけどをすることがあります。

無断複製禁止

けん引するときは……

けん引は、下図の方法を守ってください。

■ロープでけん引

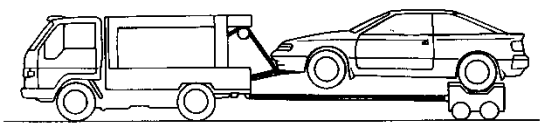


※けん引される車はけん引車の制動灯に注意して、常にロープをたるませないように気をつけてください。
また、けん引ロープには0.3メートル平方(0.3m×0.3m)以上の白い布を必ずつけてください。

■4輪を持ち上げてけん引

GT-FOURの場合下記の状態で故障したときは、ロープでけん引せずに4輪を持ち上げてけん引してください。

- ●デフ・ロック・スイッチをOFFの位置にもどしても、デフ・ロック作動表示灯が消灯しないとき。
- ●デフ・ロック機構がロック状態で故障したとき。
- ●トランスアクスル内部に故障があると思われるとき。

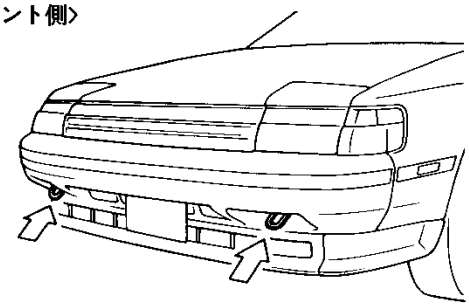


注意!

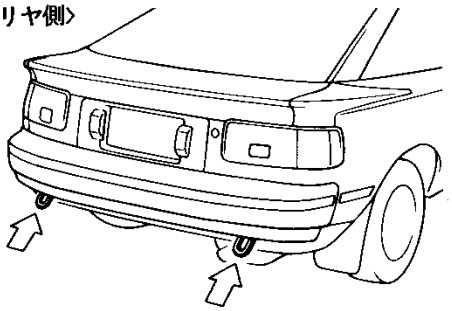
1. ロープでけん引される車は、下記事項を厳守してください。
   - ●チェンジ・レバーをNの位置にする。
   - ●エンジン・スイッチをACCまたはONにする。
   - ●けん引される速度は30km/h以下（オートマチック・トランスミッション車のみ）
   - ●けん引される距離は80km以内（オートマチック・トランスミッション車のみ）
   - ●デフ・ロック・スイッチがOFFの位置で、デフ・ロック作動表示灯が消灯していることを確認する。(GT-FOUR)
2. エンジンが停止していると、いつもよりブレーキの効きが悪くなります。
   また、パワー・ステアリング（ハンドル操作力軽減装置）付き車はハンドル操作が非常に重くなります。できる限りエンジンを始動してけん引してください。
3. 長坂路を下るときはブレーキが過熱して効かなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。
4. トランスアクスル内部に故障があり、動かすと不具合があると思われる場合は、前輪をつり上げてからけん引してください。(GT-FOURを除く)
5. フロントけん引フックを使用されるときはロープでボデーに傷をつけないようにしてください。
6. 次の場合は、トヨタ販売店にご連絡ください。
   - ●エンジンが回っているのに車が動かない。または異常な音がする。
   - ●オートマチック・トランスミッション・フルードがない。

▶ロープをかける位置

〈フロント側〉



〈リヤ側〉



無断複製禁止

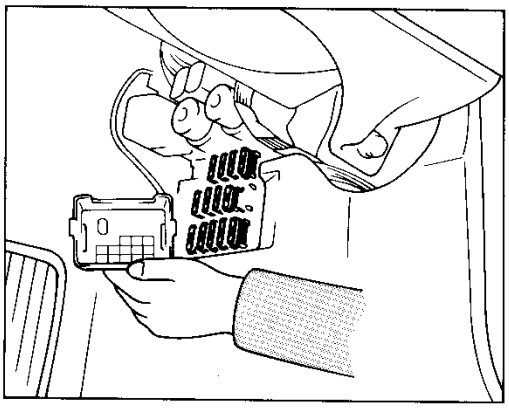
ヒューズが切れたときは……

各種のランプがつかないときや、電気系統の装置が働かないときは、ヒューズが切れているか、サーキット・ブレーカーが電流をしゃ断している場合があります。ヒューズ・ボックスの位置、ヒューズの受け持つ装置を知って自分で処置できるようにしておくと便利です。

■ヒューズ・ボックスの位置

ヒューズ・ボックスは、運転席足元とエンジン・ルーム内にあります。

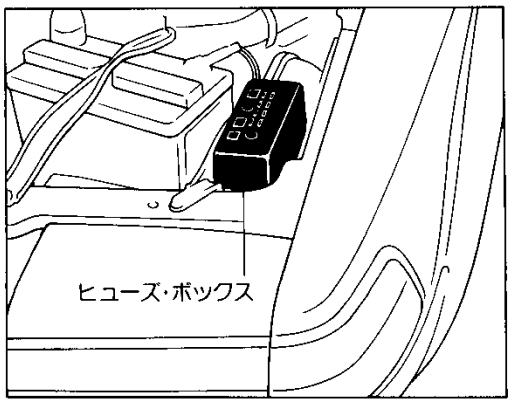
▶運転席足元ヒューズ・ボックス



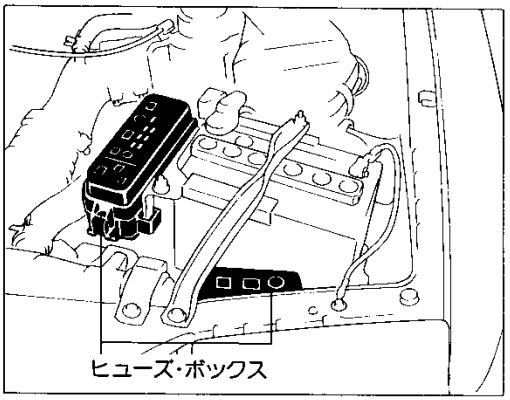
運転席足元のヒューズ・ボックスの中には、ヒューズおよびサーキット・ブレーカーがあります。
ヒューズおよびサーキット・ブレーカーの受け持っている装置は⇨115ページを参照してください。

▶エンジン・ルーム内ヒューズ・ボックス

GT-FOURを除く



GT-FOUR



ちょっと一言

ヒーター、エア・コンディショナー、電磁式ドア・ロック、パワー(電動)・ウインドゥ、パワー(電動)・サイド・サポート、パワー(電動)・ランバー・サポート、サン・ルーフが作動しないときはトヨタ販売店へご連絡ください。

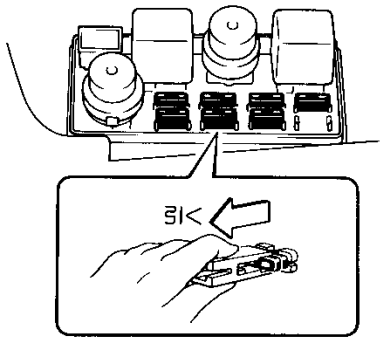
無断複製禁止

■ヒューズの交換

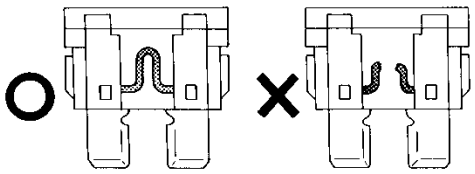
各ヒューズの受け持っている装置が作動しないときは、ヒューズ切れが考えられます。そのときは次のように処置してください。

1.エンジン・スイッチをLOCKの位置にします。

2.ヒューズにヒューズはずしを差し込んで引き抜きます。(ヒューズはずしは、エンジン・ルーム内ヒューズ・ボックス・カバーの裏側についています。)



3.ヒューズが下図の右側のようであれば、ヒューズ切れです。予備ヒューズと交換してください。



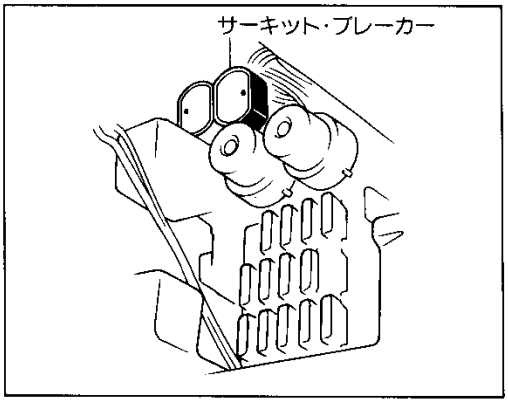
注意!

1.取りつけてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金、銀紙などを使用すると電線の過熱焼損の原因になります。

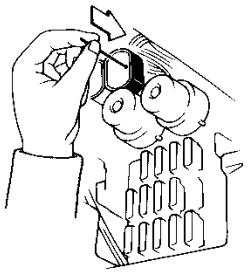
2.取り替えてもまたヒューズが切れる場合はトヨタ販売店で点検を受けてください。

■サーキット・ブレーカー

サーキット・ブレーカーは、装置を保護するため、電流が流れすぎたとき、電流をしゃ断する装置です。



▶リヤ・ウインドウ・デフォッガー(曇り取り)が作動しないときは、サーキット・ブレーカーの回路がしゃ断されている場合があります。



1.エンジン・スイッチをLOCKの位置にします。

2.サーキット・ブレーカーの穴に細い棒をカチッという音がする位置まで、軽く差し込みます。

3.これでサーキット・ブレーカーの回路が復帰します。

ちょっと一言

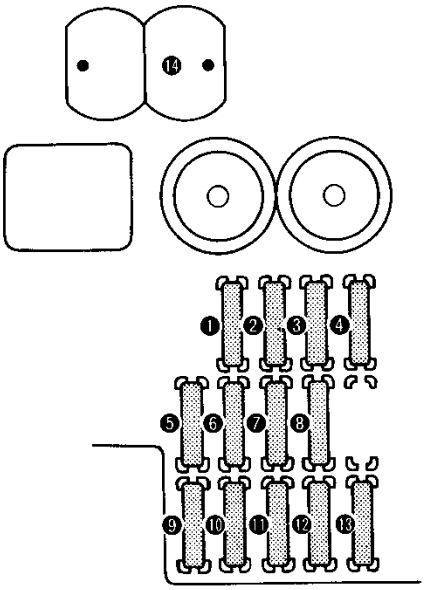
1.マッチ棒など折れやすい物は使用しないでください。

2.以上の操作をしても、装備品が作動しないときや、サーキット・ブレーカーの回路が再び切れる場合は、すぐにトヨタ販売店で点検を受けてください。

無断複製禁止

ヒューズとサーキット・ブレーカーの受け持つ装置

■運転席足元ヒューズ・ボックス



〈ヒューズ〉

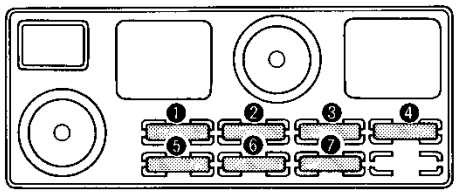
❶	メーター	15A	計器類，チェンジ・レバー位置表示灯，レオスタット，後退灯，リヤ・ウインドウ・デフォッガー(曇り取り)，オーバードライブ，デフ・ロック・スイッチ
❷	ルーム・ランプ	7.5A	室内灯，マップ・ランプ，デッキ・ルーム灯
❸	ストップ・ランプ	15A	制動灯，駐車灯
❹	テール・ランプ	15A	計器類照明，オート・ドライブ・スイッチ照明，オーバードライブ・スイッチ照明，ヒーター照明，リヤ・ウインドウ・デフォッガー（曇り取り）・スイッチ照明，ラジオ照明，シガレット・ライター照明，車幅灯，番号灯，尾灯
❺	ライター	15A	シガレット・ライター，時計
❻	ラジオ	7.5A	ラジオ，電動リモコン・ミラー
❼	ターン	7.5A	方向指示灯
❽	ミラー，ヒーター※	10A	電気負荷アイドル・アップ
❾	エンジン	10A	オールタネータ
❿	ワイパー	20A	ワイパー
⓫	ECU−IG	15A	オート・ドライブ，ECT-Sコンピューター
⓬	インジェクター	10A	フューエル・インジェクター
⓭	イグニッション	7.5A	充電警告灯，電動ファン

※GT-R、GTのみ

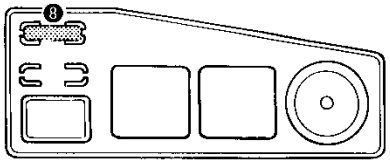
〈サーキット・ブレーカー

⓮	リヤ・ウインドウ・デフォッガー(曇り取り)

■エンジン・ルーム内ヒューズ・ボックス



GT-FOUR



〈ヒューズ〉

❶	ヘッドランプ(左)	15A	ヘッドランプ(左側)
❷	ハザード，ホーン	15A	警音器，非常点滅灯
❸	EFI	15A	エンジン・コントロール・コンピューター
❹	チャージ	7.5A	充電警告灯，オールタネータ
❺	ヘッドランプ(右)	15A	ヘッドランプ(右側)
❻	リトラ	30A	ヘッドランプ昇降装置
❼	ラジオ(No.1)	15A	ラジオ，ステレオ，時計，ECT-S
❽	フォグ	15A	フォグ・ランプ



予備ヒューズはヒューズ・ボックスのカバー裏側に取りつけられています。

無断複製禁止

ランプ類が点灯しないときは……



1. ランプ類が点灯しないときは、ヒューズ切れの他、ランプ自体の球切れが考えられます。
   電球の交換は、右の各規格にあわせて、同容量のものにしてください。
2. ハロゲン・ランプ（ヨウ素入り電球）は使用時電球が高温になるため、表面に油などが付着すると寿命が短くなります。
   電球交換時に、手などがガラスに触れないように注意してください。
3. ランプ類はすべて12V用をご使用ください。

■フロント側電球

▶ヘッドランプ

ハロゲン……60/55W

GT-FOUR、GT-R、GT、SX、ST(スポーツ・パッケージ)

白熱灯……65/55W

ST(スポーツ・パッケージを除く)、SV

▶フォグ・ランプ GT-FOUR

ハロゲン……35W

▶車幅灯、駐車灯……5W

▶フロント方向指示灯(兼非常点滅灯)……23W

▶サイド方向指示灯(兼非常点滅灯)……5W

■リヤ側電球

▶方向指示灯(兼非常点滅灯)……23W

▶制動灯/尾灯、駐車灯……21/5W

▶後退灯……23W

▶番号灯……7.5W

■室内電球

▶室内灯……10W

▶マップ・ランプ……10W

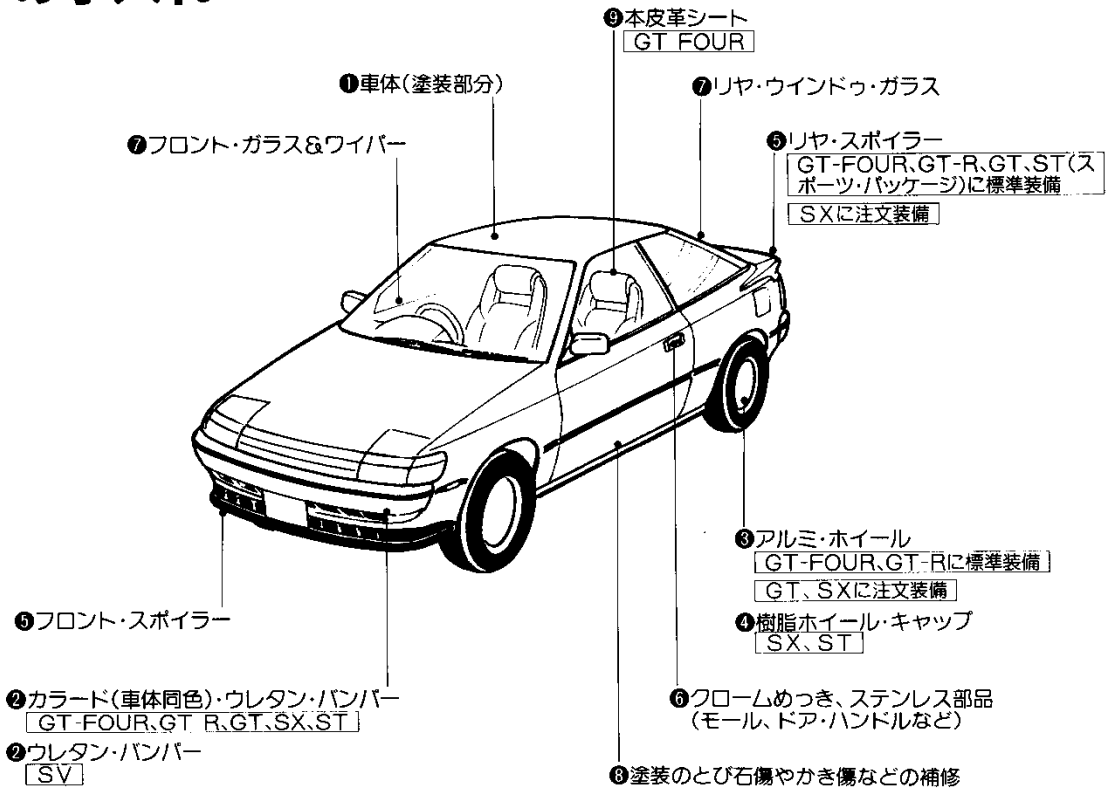
▶デッキ・ルーム灯……5W

▶グローブ・ボックス・ランプ……1.4W

無断複製禁止

車の手入れ……117
経済運転のコツ……121
寒冷地での取り扱い……123
タイヤ・チェーン……125

車の手入れ



車を美しく保つには

車をいつまでも美しく保つためには、日頃の手入れが必要です。

1.次のような場合は必ず洗車してください。
- ●海岸地帯を走行したとき。
- ●凍結防止剤を散布した道路を走行したとき。
- ●コールタール、ばい煙、油煙、樹液、鳥のふん、虫の死がいなどが付着したとき。
- ●ほこり、泥などで著しくよごれたとき。

2.次のような場所に長時間駐車しますと、塗装の劣化や、車体、部品の腐食などを早める原因となります。十分注意してください。
- ●海岸
- ●ばい煙、油煙、粉じん、鉄粉などの降下の多い場所。
- ●化学物質を排出する工場周辺。
- ●樹液、鳥のふん、虫の死がいなどの付着の多い場所。

❶車体(塗装部分)の手入れ

車体のほこりはやわらかい布か毛ばたきで取ってください。

▶洗車方法

1.車体の下回り、足回りを洗います。
2.次に、車体に十分水をかけながら、スポンジかセーム皮(鹿のなめし皮)でよごれを洗い落とします。
3.よごれのひどいときは、トヨタ純正カーシャンプーを使用します。


ちょっと一言

1.コンパウンド(みがき粉)入りワックスや、液状ワックスは洗剤として使用しないでください。
2.エンジン・オイル、グリースなどの油分が付着すると、変色、しみなどの原因となります。十分注意してください。

無断複製禁止

注意！
1.エンジン・ルーム内の電気製品に水をかけないように注意してください。エンジン始動不良の原因となります。
2.下回りを洗うときは、ゴム手袋などを着用してください。手にケガをするおそれがあります。
3.カーシャンプーを使用したあとは水で十分洗い流してください。
4.自動洗車機を使用すると、ときによりブラシの傷がつき塗装の光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。とくに、濃彩色車やメタリック車はスリ傷がめだちやすくなります。

4.塗装面にはん点が残らないように十分水をふき取ります。

▶ワックスについて

ワックスの中にコンパウンド(みがき粉)がはいっていないものをご使用ください。

1.1カ月に1度、または水のはじきが悪くなったときに行ってください。

2.洗車後、車体の温度が体温以下のときに行ってください。しみの原因になります。

3.ワックスは次のトヨタ純正品をお使いください。



オートワックス・ニューコート



オートワックス・シルバー



オートワックス・ゴールド



オートワックス・メタリック(メタリック塗装用)

4.前記のワックスを使用しても、よごれがひどく落ちにくいときは、次のトヨタ純正品をお使いください。



オートワックス・ホワイト・コート

オートワックス・ホワイト&クリーン





オートワックス・スピーディ

注意！
これらのワックスの中には微粒なコンパウンド(みがき粉)がはいっていますので、よごれ落ちはよくなりますが、塗装面を削り取るため塗装面の光沢が失われる原因になります。また使用した布に色が付着することがあり、とくに濃彩色車ではめだちやすくなります。できる限り3.のワックスを使用してください。

❷バンパーの手入れ

▶カラード(車体同色)・ウレタン・バンパー

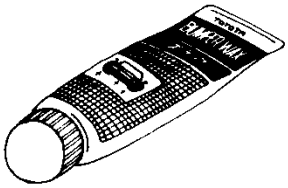
1.車体と同じく、洗車したあとトヨタ純正ワックスでワックスがけをします。

2.たわしなどの硬い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮、スポンジなどをご使用ください。

ちょっと一言
エンジン・オイル、グリースなどの油分が付着すると、変色、しみなどの原因となります。十分注意してください。

▶ウレタン・バンパー

1.車体と同じく洗車したあと次の専用ワックスでワックスがけをします。トヨタ純正バンパーワックス・ブラック(ウレタン・バンパー用)



2.たわしなどの硬い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮、スポンジなどをご使用ください。

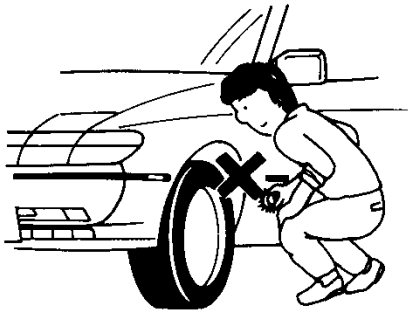
3.塗装用ワックスや泥が付着すると、ウレタンの目地にはいり白くなることがあります。この場合は、水で洗い落とした後、専用の黒色ワックスを塗布してください。

ちょっと一言
コンパウンド（みがき粉）入りワックスや、液状ワックスは使用しないでください。

無断複製禁止

❸アルミ・ホイールの手入れ

1.ホイールを洗うときは、中性洗剤を使用してください。
2.ワイヤー・ブラシなど硬い物を使用して洗うと、ホイール面に傷がつきます。セーム皮、スポンジなどをご使用ください。
3.最後は十分水洗いをし、車体と同じワックスでワックスがけをしてください。



ちょっと一言
1.泥の付着、海水、凍結防止剤などにより汚染されると、腐食するおそれがありますので、付着させたままにせず、なるべく早く洗い落としてください。
2.コンパウンド(みがき粉)入りワックスは、よごれがひどく落ちにくいときにだけ限定してご使用ください。
3.自動洗車機を使用すると、ときによりブラシの傷がついたり塗装膜の摩耗を早めることがあります。

❹樹脂ホイール・キャップの手入れ

セーム皮、スポンジなどで十分水をかけながら洗ってください。たわしや自動洗車機の硬いブラシを使用すると塗装部に傷がつきます。

ちょっと一言
ピッチ・クリーナーなどが樹脂部分に付着すると、破損の原因となりますので、十分注意してください。

❺スポイラーの手入れ

1.車体と同じく、洗車したあとトヨタ純正ワックスでワックスがけをします。
2.たわしなどの硬い物を使用して洗うと傷がつきますので、セーム皮やスポンジなどをご使用ください。

ちょっと一言
自動洗車機を使用する場合は、必ず前側から洗車してください。
洗車機によっては、リヤ・スポイラーがひっかかり洗車できないことがあります。十分注意してください。

❻クロームめっき、ステンレス部品（モール、ドア・ハンドルなど）の手入れ

1.車体と同じく、洗車したあとワックスがけをします。
2.しみなどは、トヨタ純正オートワックス・ホワイト&クリーンを使用して除去してください。

❼ウインドウ・ガラスについて

ワイパーのふきが悪くなった場合は、トヨタ純正ガラス・クリーナーで清掃してください。なお、ワイパー・ゴムが古くなっている場合も同様にふきが悪くなりますので最寄りのトヨタ販売店で交換してください。



ちょっと一言
リヤ・ウインドウ・ガラス(室内側)の清掃は、断線を防止するため、湿った布で熱線にそって、軽くふいてください。
ガラス・クリーナーなどを使用すると、リヤ・ウインドウ・デフォッガー(曇り取り)が作動しなくなるおそれがあります。

無断複製禁止

❽塗装のとび石傷やかき傷などの補修

これらの傷は腐食の原因となります。見つけたら早めにトヨタ純正タッチ・アップ・ペイントで補修してください。



❾本皮革シートの手入れ

本皮革シートは手入れ方法を誤ると、変色、しみなどが生じるおそれがあります。下記事項を守って正しい手入れをしてください。

▶よごれの取り方

1.ウール用中性洗剤の5%水溶液を、ガーゼなどのやわらかい布に含ませ、軽くふき取ってください。
2.真水にひたした布を固くしぼって、洗剤をきれいにふき取ってください。

▶乾燥

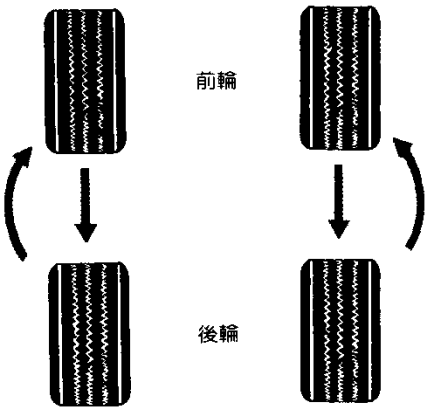
1.水にぬれたときや、水でふいたあとは、早めに乾いたやわらかい布でふき取ってください。
2.直射日光をさけ、風通しのよい日陰で乾燥させてください。


ちょっと一言

1.表面をナイロン・ブラシ、合成繊維類で強くこすったりすると傷つくおそれがあります。
2.ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸またはアルカリ性の溶液を使用すると、表面が変色するおそれがあります。
3.本皮革シートのよごれは、カビなどの発生原因となります。油よごれなどには十分注意し、常に清潔に保つよう心がけてください。
4.直射日光に長時間さらすと、表面が硬くなり縮むことがあります。特にリヤ・シート背もたれの上端部は直射日光にさらされ高温になりやすいため、駐車する場合は、できるだけ日よけに心がけてください。
5.夏期など室内が高温になる状態のときに、シート上にビニール類をおいておきますと、ビニールが変質してシートに付着するおそれがあります。

■タイヤ位置交換

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命を伸ばすために5,000kmごとに下図にしたがって位置交換を行うことをおすすめします。

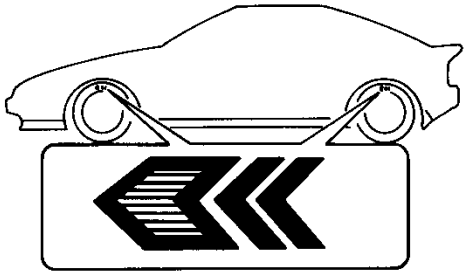



ちょっと一言

前後のタイヤの摩耗差が著しくなると、スイッチを操作してもデフ・ロック機構の切り替えがスムーズに行えなくなる場合があります。(GT-FOUR)

▶RE71Mタイヤを装着されている方は

タイヤの側面に回転指示マーク(⋘)が表示されていますのでタイヤを取りつけるときは、必ず指示マーク(⋘)が車両前方に向くように取りつけてください。



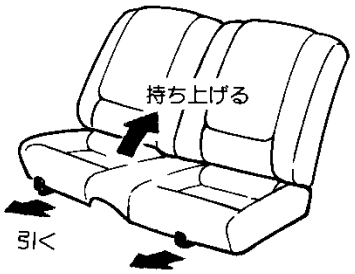
無断複製禁止

■リヤ・シートの取りはずし方

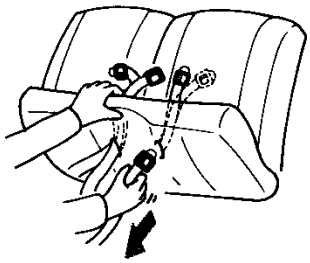
シート・カバーの交換などでリヤ・シートを取りはずすときは、次の要領で行ってください。

▶シート・クッションのはずし方

1.シート足元にあるレバー(2カ所)を引いたまま、シート前部を持ち上げます。



2.シート・クッションを手でささえながらシート・ベルトを下へ引き抜きます。



3.シート全体を手前に引きフックをはずします。



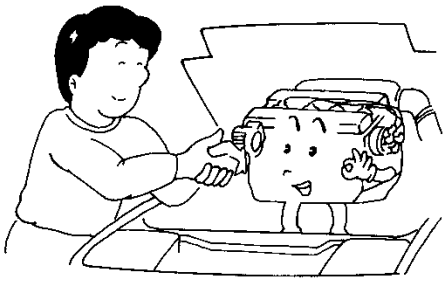
レバーを引かずにシートを持ち上げると、シート固定具を損傷するおそれがあります。



背もたれを取りはずす場合はトヨタ販売店に相談してください。

経済運転のコツ

エンジンをいたわる気持ちが、長持ちの秘訣



1.(新車時はとくに)ひかえめな運転をしてください。

2.エンジンをオーバーラン(限界回転数超過)させないために、各チェンジ・レバーの位置での速度が下表の数値をこえないようにしてください。



高速走行時、ギヤを一段下に落とすときはオーバーランに注意してください。

(単位:km/h)

排気量	エンジン型式	トランスミッション型式	1速	2速	3速	4速
1600	4A-GELU	5速マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション	50	90	130	175
		ECT-S(電子制御式2ウェイ・オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッション)	65	120	180	
1800	1S-iLU	5速マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション	45	75	110	160
		2ウェイ・オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッション	60	110	155	
2000	3S-GELU	5速マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション	50	85	130	170
		ECT-S(電子制御式2ウェイ・オーバードライブ付き4速フル・オートマチック・トランスミッション)	65	120	180	
	3S-GTE	5速マニュアル(ギヤ式)・トランスミッション	45	70	95	130

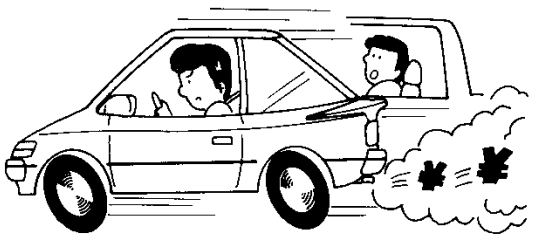
無断複製禁止

暖機運転は、長すぎると不経済

水温計の指針（または表示）が動き出すまでになればOKです。

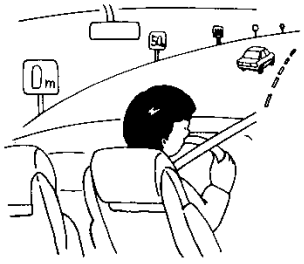


不必要な高速運転は燃料のムダ使い

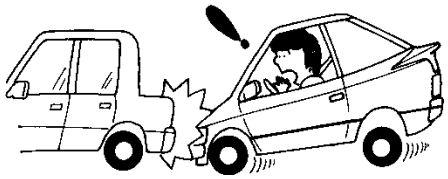


100km/h走行時の燃費は、40km/h走行時の約1.5～1.7倍よけいに多くかかります。
高速道路は80km/h程度で走るのが経済走行といえます。

車間距離はゆったりとって、安全プラス経済運転



急発進、急ブレーキは危険をともない不経済



クラッチの適正で確実な操作は、車を長持ちさせる秘訣

1. ギヤをいれるときは、クラッチ・ペダルを十分踏み込んでから行ってください。
   中途半端な踏み方ですと、クラッチはもちろんトランスミッションのギヤなどもいためることになります。
2. 走行中は、クラッチ・ペダルに足をのせないようにしてください。
3. 発進時は、ロー（1速）・ギヤを使用してください。
   セカンド（2速）・ギヤ発進など半クラッチの多用はクラッチの摩耗を早めます。

無断複製禁止

寒冷地での取り扱い

この項目での寒冷地とは、北海道全域および東北、北陸の積雪地帯および、その他の地域を含めた山岳地、スキー場などの局地的な厳寒地区、多雪地区を対象としておりますが、その他の地域においても、冬期の取り扱いの参考としてください。

安全なウインター・ドライブをするために

1.タイヤ・チェーンの準備

2.スノー・タイヤの装着

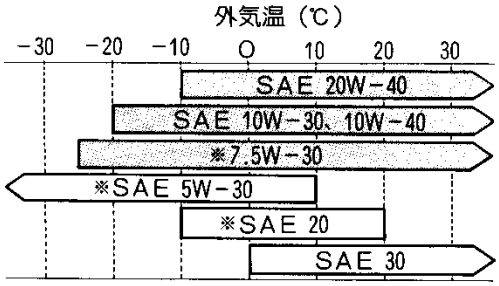
スノー・タイヤに取り替えるときは、4輪とも交換します。

3.冷却水の濃度を点検してください。(寒冷時は、キヤッスル・ロング・ライフ・クーラントの濃度を50%にします。)

4.ウォッシャー液の濃度を50%以上にあげます。

使用地域・季節	希釈割合	凍結温度
通常	原液1に水2	−10℃
寒冷地の冬期	原液1に水1	−20℃
極寒冷地の冬期	原液のまま	−50℃以下

5.エンジン・オイルの粘度は、外気温によって下表を参考にして使いわけてください。



※印のオイルはターボ車には使用できません。


ちょっと一言

SAE20、30は使用できる温度範囲が狭いので注意してください。
7.5W-30、10W-30、10W-40、20W-40の使用をおすすめします。

6.寒冷地では冬がくる前に燃料タンクの水分を排出することをおすすめします。

また、水分除去剤にはトヨタ純正キヤッスル・エース・ウォーターカットを使用してください。

7.凍結防止用ワイパー・ブレードの装着

必ずトヨタ純正品を使用してください。

走行前の点検(運行前点検)

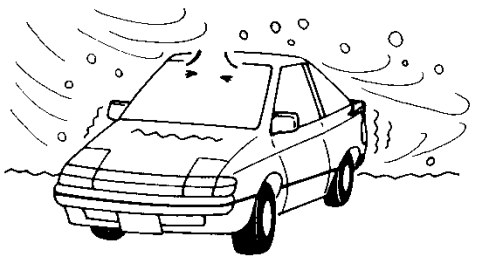
寒冷時には、次の項目を運行前点検のときに実施してください。

1.車の下をのぞいて、足回りに付着した氷塊を部品に傷をつけないように注意して取り除いてください。

2.エンジン始動時にアクセル・ペダルの作動が円滑かどうか確認してください。

3.フロント・ウインドウの氷雪を除去する際には、ワイパー・ゴムがガラスに凍結していないか確認してください。

エンジンの冷えすぎを防ぐには



1.気温に応じてラジエーター前面にカバーをつけるとエンジンを適温に保つのに効果があります。

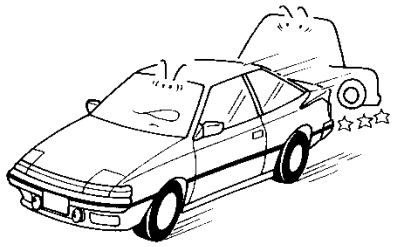
2.駐車するときは、ボンネット側を風下にしてください。

ドアの凍結時の処置

ドアが凍結した場合は無理に開けようとするとドア回りのゴムがはがれたり、き裂するおそれがありますので、湯をかけて氷を溶かしてください。なお、後で水分を十分ふき取ってください。また、トヨタ純正アイスガード（凍結防止剤）を使用すればゴムの凍結を防ぎ、ドアを楽に開けることができます。

無断複製禁止

ターボ車はエンジン始動直後に、エンジンの急激な空ふかし、または急加速をしないでください。



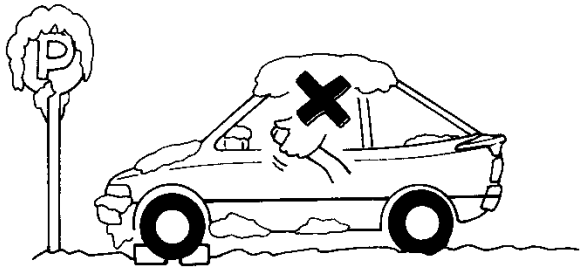
アクセル・ペダル凍結防止のため、靴に付着した雪を乗車時、よく落としてください。



凍結するおそれのある場合の駐車は…

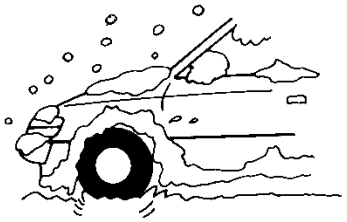
寒冷時はパーキング(駐車)・ブレーキをかけておくとブレーキ装置が凍結するおそれがありますので、パーキング(駐車)・ブレーキはかけないでください。

1. チェンジ・レバーの位置をマニュアル(ギヤ式)・トランスミッション車はロー（1速）またはリバース(後退)、オートマチック・トランスミッション車は(P)(駐車)にします。
2. 車が絶対に動くことのないように輪止めをしてください。



雪道走行時、フェンダー裏側に付着した雪が氷結し次第にたい積して、ハンドルのきれが悪くなることがあります。

ときどき異常のないことを確認してください。



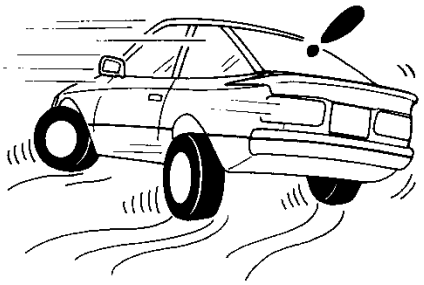
寒冷地では雪道走行時あるいは駐車時にブレーキ装置に着氷し、ブレーキの効きが悪くなる場合があります。

走行中は前後の車や道路状況に注意し、ときどき軽くブレーキ・ペダルを踏んでブレーキの効き具合を確認してください。

また、駐車後走行を開始する場合も、できるだけ早くブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪い場合は低速で走行しながら、効きが回復するまで数回ブレーキ・ペダルを軽く踏んでください。

ぬれた路面、氷雪路面、凍結路面ではスリップに注意



ひかえめな速度で走り、氷雪路面、凍結路面では、スノー・タイヤ、タイヤ・チェーンを装着してください。地域によっては、条例などで使用が義務づけられていますので、冬がくる前に準備しておいてください。

無断複製禁止

タイヤ・チェーン

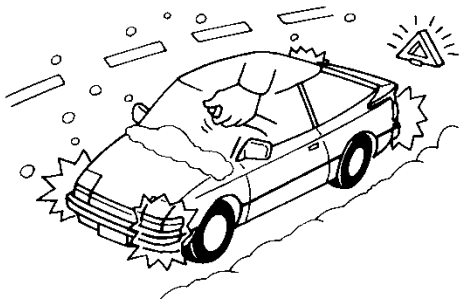


1.タイヤ・チェーンは前2輪に取りつけます。うしろ2輪には取りつけないでください。
2.作業をするとき車体端部などでケガをしないように注意してください。
3.タイヤ・チェーンはタイヤ・サイズにあったトヨタ純正品（下表指定サイズのもの）を使用してください。

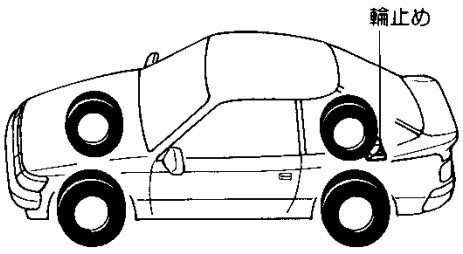
タイヤ・サイズ	指定サイズ(JIS表示)
165SR13	45181A
185/70SR13 (185/70R13 85S)	45191A
195/60R14 85H	

■取りつけ方

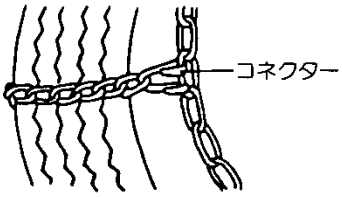
1.交通のじゃまにならず、安全に作業できる平らな場所に車を止めます。
2.非常点滅灯を点滅させ、人や荷物をおろし、停止表示板を使用します。
3.パーキング(駐車)・ブレーキをかけます。



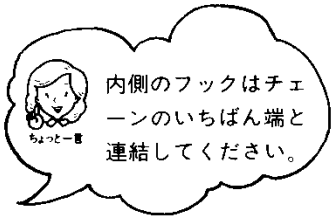
4.工具、ジャッキを取り出します。
5.左側チェーン取りつけ時には右側後輪、右側チェーン取りつけ時には左側後輪のうしろ側に、輪止め(搭載工具に含まれています)をします。

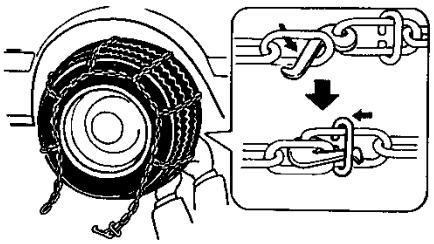


6.前輪をジャッキ・アップします。⇨104ページの「ジャッキ」を参照してください。
7.コネクターの折り曲げが外になるようにチェーンをかぶせます。

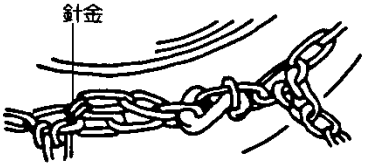


8.チェーンの両端をいっぱい引っ張って内側のフックを、次に外側を連結します。

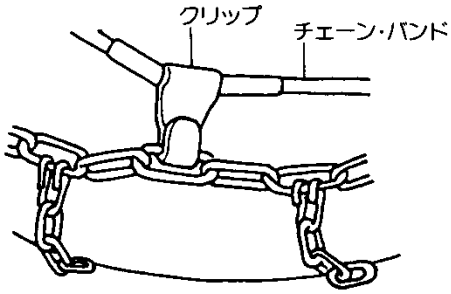




9.余ったチェーンは車体に当たるのを防止するため下図のように針金で結びます。



10.チェーン・バンドはクリップの爪を外向きにし、チェーンにかけます。



11.ジャッキをおろし、輪止めをはずします。

無断複製禁止

12.2～3分走行後、チェーンのゆるみ、はずれなどがないことを確認してください。


ちょっと一言

1.走行中タイヤ・チェーンが切れたり、一部はずれたりした場合は、車体側に当たり悪影響をおよぼしますので、ただちに処置してください。
2.ホイール・キャップ付き車の場合、ホイール・キャップに傷がつくおそれがありますので、タイヤ・チェーンを装着する場合にはホイール・キャップをはずしてください。
3.アルミ・ホイール装着車はホイールに傷をつけるおそれがあります。

■取りはずし方

1.チェーン・バンドをはずし、針金を取り、フックは内側から先にはずします。
2.車を少し動かし、チェーンを取り出します。


注意！

1.タイヤ・チェーン購入時に一度装着して、長すぎる場合は、タイヤ・サイズにあうよう切ってください。
2.タイヤ・チェーンを装着した場合、雪道、凍結路は30km/h以下で走行してください。
3.雪道、凍結路以外でのタイヤ・チェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので、できるだけさけてください。
4.後輪にはタイヤ・チェーンを装着することはできません。

無断複製禁止

ア

アルミ・ホイール
取り扱い…… 109
手入れ…… 119
アンテナ……74

イ

ＥＣＴ－Ｓ(電子制御式２ウェイ・オーバードライブ付き４速フル・オートマチック・トランスミッション) ……42
インストルメント・パネル
(計器盤)…… 2
インナー・ミラー……35
イグニッション・スイッチ
(エンジン・スイッチ)……37

ウ

ウインドゥ・ガラス
パワー(電動)・ウインドゥ…22
手入れ…… 119
ウォッシャー・スイッチ…52,53,54
ウレタン・バンパーの手入れ… 118
運行前点検……4, 123

エ

液晶デジタル式メーター……62
エレクトロニック・ディスプレイ・メーター
(デジタルメーター)……62
エンジン・オイル……59, 64, 123
エンジン回転計……57, 63
エンジン・キー……37
エンジン・キーが回らないとき…37
エンジンのかけ方……38
エンジンの止め方……38
エンジン・スイッチ……37
エンストしたら…… 110
エンジン・フード(ボンネット)…23
エンジン・ルーム……14
エンジン・ブレーキ……11
エンジン警告灯……59, 64

オ

オイル…… 123
オイル・プレッシャー・ゲージ
(油圧計)……59
(油圧警告灯)……59, 64
応急用タイヤ
(タイヤ参照)
オートマチック・トランスミッション
運転方法……39, 42
けん引…… 112
オート・ドライブ
(自動定速走行装置)
働き……99
使い方……99
オドメーター
(積算距離計)……57, 63
オーバーヒートの処置…… 111
オーバーラン
(限界回転数超過)…… 121
オーバードライブ
(４速フル・オートマチック・トランスミッション) の
使い方……41, 46

カ

カセット・ステレオの使い方……88
カセット・テープの取り扱い……93
寒冷地での取り扱い…… 123
カラード(車体同色)・ウレタン・バンパーの手入れ…… 118
外装の手入れ…… 117
ガソリン(燃料)…… 8
ガソリン・タンク
(燃料タンク)……24, 57, 63

キ

キー……20
緊急時の取り扱い
(万一のときの処置参照)

ク

区間距離計……57, 63
クラッチ…… 14, 122
グローブ・ボックス(小物入れ)の施錠・解錠……96
グローブ・ボックス・ランプ……96

ケ

計器照度調整……55
計器盤…… 2
化粧ミラー……97
けん引
ロープをかける位置…… 112
注意事項…… 112
オートマチック・トランスミッション車
…… 112

コ

高速運転…… 11, 122
工具の格納場所…… 104
故障したら
エンスト…… 110
オーバーヒート…… 111
連絡先…… 109
バッテリーあがり…… 111
パンク…… 105
コンソール・ボックス
(小物入れ)……96

サ

サイド・サポート・アジャスター
(シート参照)
サン・ルーフ
電動での開閉…… 102
手動での開閉…… 103
サン・バイザー(日よけ)……97
サーキット・ブレーカー…… 114

無断複製禁止

シ

シート
前後位置調整……27，29，30
リクライニング調整
……27，29，30
シート上下アジャスター
……27，29，30
サイド・サポート・
アジャスター……28
ランバー・サポート……28，29
ヘッド・レスト……28，29，30
取りはずし方…… 121
シート・ベルト
装着方法……32，33
取りはずし……32，33
手入れ……33
室内灯……96
シガレット・ライター……95
指針式メーター……56
シフト・レバー
(チェンジ・レバー)……39
触媒装置……10，60，65
充電警告灯……58，64
ジャッキ
格納場所…… 104
ジャッキ・セット位置…… 104
純正部品，製品…… 14，118
樹脂ホイール・キャップ
取りはずし…… 108
手入れ…… 119
チェーン装着時…… 126

ス

水温計……58，64
ステレオ
(ラジオ、カセット・ステレオ)
……74
ステアリング・ホイール
(ハンドル参照)
スピードメーター
(速度計)……57，63
スペア・タイヤ
格納場所…… 105
交換方法…… 106
スポイラー…… 119
スポーツ・シート……27

セ

整備手帳…… 4
積算距離計……57，63
積雪時…… 123
洗車…… 117
前照灯(ヘッドランプ参照)
前照灯の上向き表示灯……61，66

ソ

速度計……57，63

タ

タイヤ
位置交換…… 120
空気圧……105，107
指定サイズ…… 107
スペア・タイヤ…… 105
応急用タイヤ…… 105
交換方法…… 106
タイヤ・チェーン
装着方法…… 125
取りはずし…… 126
タコメーター
(エンジン回転計)……57，63
ターボ
作動表示灯……61
運転方法…… 18,38,124
エンジン・オイル……18
ターン・シグナル・
インジケーター・ランプ
(方向指示灯表示灯)……61，66
ターン・シグナル・レバー
(方向指示レバー)……52
暖機運転……9，122
断線警告灯……61，66

チ

チェンジ・レバー
マニュアル(ギヤ式)・
トランスミッション……39
オートマチック・
トランスミッション……39
チャージ・ウォーニング・ランプ
(充電警告灯)……58，64
駐車ブレーキの使い方……49
駐車灯スイッチ……55
駐車灯…… 42，46，124
チルト・ステアリング
(上下調整式ハンドル)…34，35

ツ

ツール(工具)…… 104
2ウェイ・オーバードライブ付き
4速フル・オートマチック・
トランスミッション……39

テ

手入れ
洗車…… 117
ワックスがけ…… 118
補修…… 120
定期点検…… 4
デフ・ロック……47
デフ・ロック・スイッチ……47
テンパラチャ・ゲージ(水温計)
……58，64
デジタル式メーター……62
デッキ・ルーム灯……25
電球…… 116
電圧計……58
電磁式ドア施錠装置……21
電磁式ドア・ロック……21
電動リモコン・ミラー……36
電動ウインドウ……22
電動サイド・サポート……28
電動サン・ルーフ…… 102
電動ランバー・サポート……28

無断複製禁止

ト

凍結時の処置……123
時計……94
トリップ・メーター
(区間距離計)……57, 63
トルコン
(オートマチック・トランスミッション参照)
ドア
施錠・解錠……20
電磁式ドア・ロック……21
ドア・ミラー……35
ドア・ガラス
(ウインドウ・ガラス参照)

ナ

ナンバー・プレート・ランプ
(番号灯)……116

ネ

燃料……8
燃料計……57, 63
燃料タンク
容量……57, 63
補給……8, 24
燃料タンク・キャップ……24
燃料残量警告灯……57, 63

ノ

ノーマル・シート……29

ハ

排気ガス……9, 12
排気温警告灯……10, 60, 65
灰皿……95
ハイ・ビーム・インジケーター・ランプ(ヘッドランプの上向き表示灯)……61, 66
発炎筒
取りつけ場所……110
取り扱い……110
ハロゲン・ランプ……116
半ドア警告灯……61, 66
ハンドル
前後位置調整……34
上下位置調整……34, 35
ハンドル・ロック……37
ハザード・ウォーニング・スイッチ
(非常点滅灯スイッチ)……55
バッテリーあがり……111
バニティ・ミラー(化粧ミラー)…97
バーチカル・アジャスター
(シート参照)
パーキング・スイッチ
(駐車灯スイッチ)……55
パーキング(駐車)・ブレーキの使い方……49
パワー(電動)・ウインドウ……22
パワー(電動)・サイド・サポート……28
パワー(電動)・ランバー・サポート……28
パワー・ステアリングの操作……10,14,109
パンク……105
バンパーの手入れ……118
バック・ドア……24
バック・ミラー(ミラー参照)
パッケージ・トレイ
(ロック機構付き)……97

ヒ

ヒーターの使い方
プッシュ式……68
レバー式……71
ヒート・ゲージ
(水温計)……58, 64
ヒューズ
取りつけ位置……113
容量・受け持ち回路……115
予備ヒューズ……115
交換方法……114
非常点滅灯スイッチ……55
非常点滅灯表示灯……61, 66

フ

フォグ・ランプ・スイッチ……55
フタ付きコンソール・ボックス
(小物入れ)……96
プッシュ式ヒーター……68
不凍液(冷却水参照)
フューエル(燃料参照)
フューエル・ウォーニング・ランプ
(燃料残量警告灯)……57, 63
フューエル・ゲージ(燃料計)…57, 63
フューエル・タンク
(燃料タンク参照)
フューエル・リッド(燃料補給口)・オープナー……3, 24
フロア・シフト
(チェンジ・レバー参照)
フロント・シート
前後位置調整……27, 29, 30
リクライニング調整……27, 29, 30
シート上下アジャスター……27, 29, 30
サイド・サポート・アジャスター……28
ランバー・サポート……28, 29
ヘッド・レスト……28, 29, 30
ブレーキ
効き……11, 124
液……14
ブレーキ・ウォーニング・ランプ
(ブレーキ警告灯)……60, 65
ブレーキ警告灯……60, 65
冬(寒冷地での取り扱い, タイヤ・チェーン参照)

無断複製禁止

へ

ヘッド・ライト
(ヘッドランプ参照)
ヘッドランプ
点灯・消灯……50
上下切り替え……52
追いこし合図……52
ハロゲン・ランプ…… 116
ヘッドランプの上向き表示灯
……61, 66
ヘッド・レスト……28, 29, 30

ホ

保安炎筒(発炎筒)…… 110
ホイール・キャップ…… 108,119
方向指示灯表示灯……61, 66
方向指示レバー……52
防眩ミラー……35
ボンネット……23

マ

マニュアル(ギヤ式)・
トランスミッション……39
マップ・ランプ……96

ミ

水たまり走行後……11
ミラー
防眩ミラー……35
電動リモコン・ミラー……36

ム

無線装置……14

メ

メーター
スピードメーター
(速度計)……57, 63
タコメーター
(エンジン回転計)…57, 63
水温計……58, 64
電圧計……58
燃料計……57, 63
油圧計……59
メーター照度コントロール
(レオスタット)……55
メモリー付きチルト・ステアリング(記憶装置付き上下調整式ハンドル) ……35
メモリー付きチルト&テレスコピック・ステアリング(記憶装置付き上下・前後調整式ハンドル) ……34

ユ

油圧計……59
油圧警告灯……59, 64
雪道走行
(寒冷地での取り扱い, タイヤ・チェーン参照)

ラ

ライト・スイッチ
点灯・消灯……50
ヘッドランプの上下切り替え
……52
追いこし合図……52
ランバー・サポート(背もたれ腰部硬さ調整) ……28, 29
ランプ(電球)…… 116
ラジオ……74
ラジエーター(冷却水参照)
ラジエーター・キャップ……15,111

リ

リクライニング
(背もたれ角度)調整…27,29,30
リモート・コントロール・ミラー
(電動リモコン・ミラー)……36
リヤ・ウインドウ・ガラス
曇り取り装置……54
手入れ…… 54, 119
リヤ・ウインドウ・デフォッガー
(リヤ・ウインドウ・ガラス曇り取り装置) ……54
リヤ・シート
倒し方……31
ロックのしかた……31
取りはずし方…… 121

ル

ルーム・ランプ(室内灯)……96
ルーム・ミラー……35

レ

冷却水
点検…… 123
補給…… 123
レオスタット(計器照度調整)……55
レバー式ヒーター……71

ロ

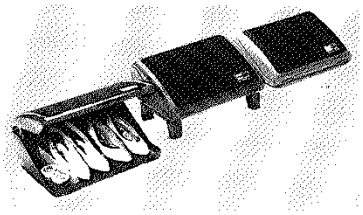
ロープをかける位置…… 112

ワ

ワイパー
フロント・ガラス用スイッチ
……52
リヤ・ガラス用スイッチ……54
ウォッシャー液… 53, 54, 123
ワイパー・ゴムの交換
……119, 123
積雪時の処置…… 123
ワックスがけ…… 118
ワンタッチ・メモリー付きシート・リクライニング……27

無断複製禁止

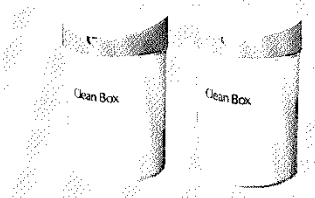
快適なクォリティーカーライフを演出する
トヨタ純正——アクセサリーグッズ



シューズ&フットケース ¥6,500
（アジャスタブルブロック付）
- 25cmまでの靴なら2足収納可能。
- 上部に足をのせてくつろぐこともできる便利ボックス。
- 色／マルーン、ブルー、ブラウン



ステップ&ボックス ¥3,900
- ルーフなどを洗車する際の踏み台になるとともに、小物用品の収納も可能。
- 色／ブルー、ピンク



クリーンボックス ¥2,800
- 連続式ビニール袋を内蔵したファッショナブルで機能的なゴミ箱。
- 色／ブルー、ピンク

おすすめしますトヨタ純正——オイル&ケミカル

手軽なお手入れで威力を発揮するトヨタ純正ケミカル用品



〈固形〉ゴールド……300g ¥3,500
シルバー……300g ¥2,000
〈液体〉ニューコート……350mℓ ¥2,000



ガラスクリーナーコンパウンド 200g ¥800
タイヤクリーナー……480mℓ ¥1,700
カーシャンプー……300mℓ ¥450
ウインドウオッシャーフルード…500mℓ ¥500

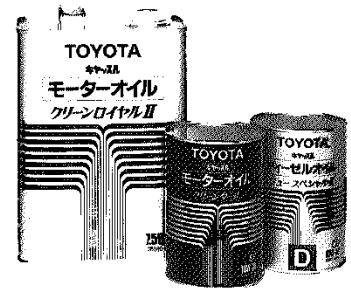


〈液体〉ホワイト&クリーン……500mℓ ¥850
〈スプレー〉スプレーワックス…420mℓ ¥1,600
バンパーワックス(ブラック)……¥1,300
バンパーワックス(クリアー)……¥1,300



タッチアップペイント ……¥600
ポリテクター……200mℓ ¥1,300
ハイフレヤー ……¥650
LLC……2.5ℓ ¥3,500 2ℓ ¥2,800

トヨタの技術が開発した高性能・高品質オイル。



トヨタ車にはトヨタ純正オイルをご使用ください。
- キャッスル・クリーンロイヤルII（ガソリン車用）
- キャッスル・クリーンターボ（ガソリンターボ車用）
- キャッスル・ディーゼルオイルニュースペシャルII（ディーゼル車用）

※上記のほかにトヨタでは数々のトヨタ純正品をとり揃えくより快適なカーライフ〉をお届けしています。詳しくはお近くのトヨタの販売店におたずねください。
※価格は昭和61年9月現在のものであり、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

万一にそなえて

安心のために自賠責保険(強制保険)のほかに任意自動車保険にも加入しましょう。

ご加入の際はトヨタ販売店にご相談ください。

あわてずに次の処置をしましょう。

①続発事故防止
②負傷者の救護
③警察への届け出
以上道交法第72条
④相手方の確認とメモ（氏名、住所、電話番号）
⑤ご購入された販売店と保険会社への連絡

不幸にして事故が起きたら！

無断複製禁止

こんなときは、このページをご覧ください。

●朝エンジンがかからないときは……111
●走行中エンジンが止まったときは……109
●バッテリーがあがったときは……111
●オーバーヒートしたときは……111
●警告灯が点灯したときは……56，62
●ランプ類が点灯しないときは(ヒューズ切れ、電球切れ) ……113，116
●踏切で故障したときは……110
●高速道路で故障したときは……109
●一般道路で故障したときは……109
●床下に強い衝撃を受けたときは……110
●パンクしたときは……105

●こまったときの修理連絡先

①お買いあげいただいたトヨタ販売店

②整備手帳巻末のサービス網をご覧ください。

運行前点検や他の整備に関する記載は整備手帳をご覧ください。

お問い合わせ、ご相談は
右記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社　お客様相談センター
●名古屋(本部) 052(952)3333
●札幌 011(852)3333　●大阪 06 (252)2255
●仙台 022(267)3333　●広島 082(231)5333
●東京 03 (817)7333　●福岡 092(938)3333
本部所在地　〒461 名古屋市東区泉1丁目23-22

トヨタ自動車株式会社

●車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承ください。
●印刷　ＮＡ－昭和62年４月１日　●発行－昭和61年10月１日(非売品)

M20048
01999－20048
無断複製禁止